



Life

オーナーズマニュアル

クイックガイド

安全なドライブ

計器の見かた

各部の操作

オーディオ

運転

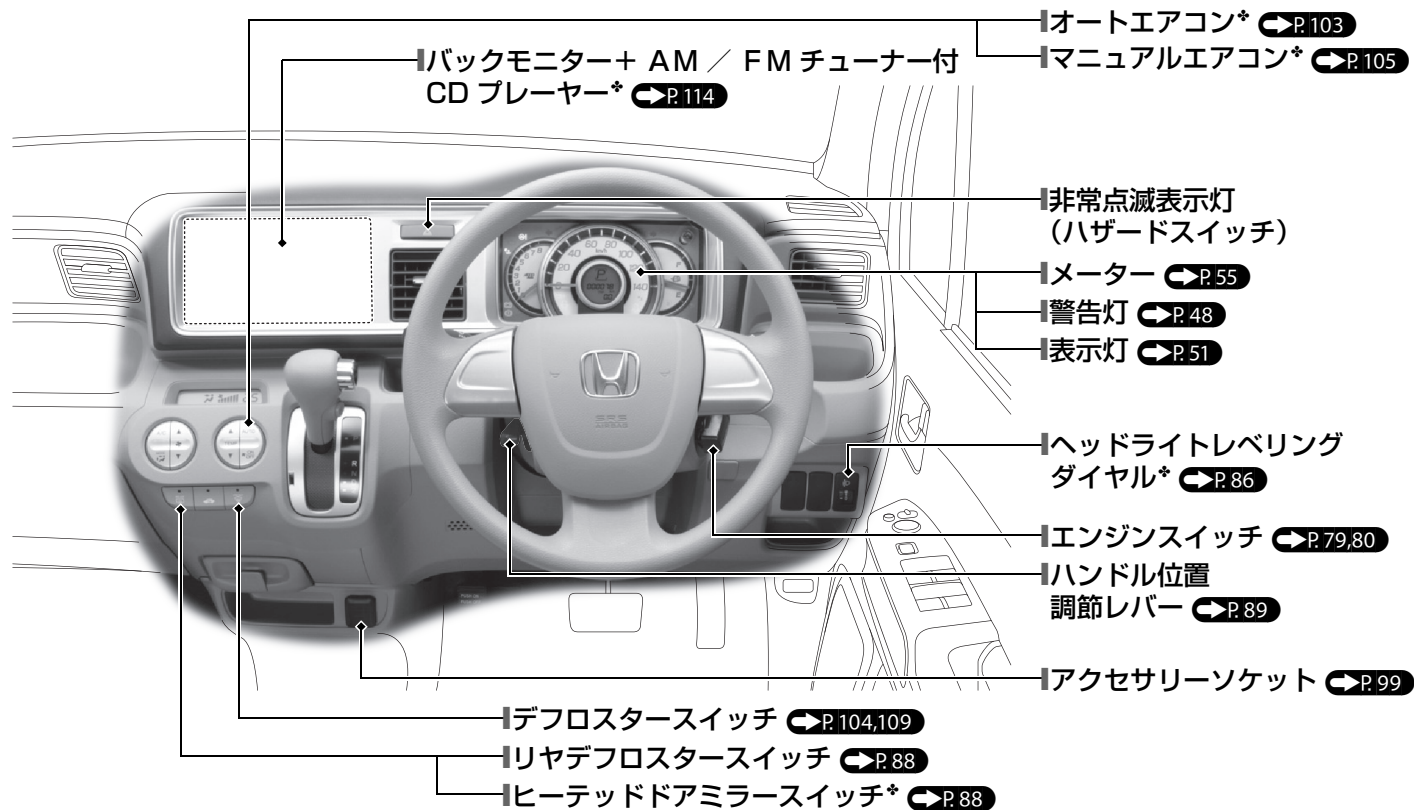
メンテナンス

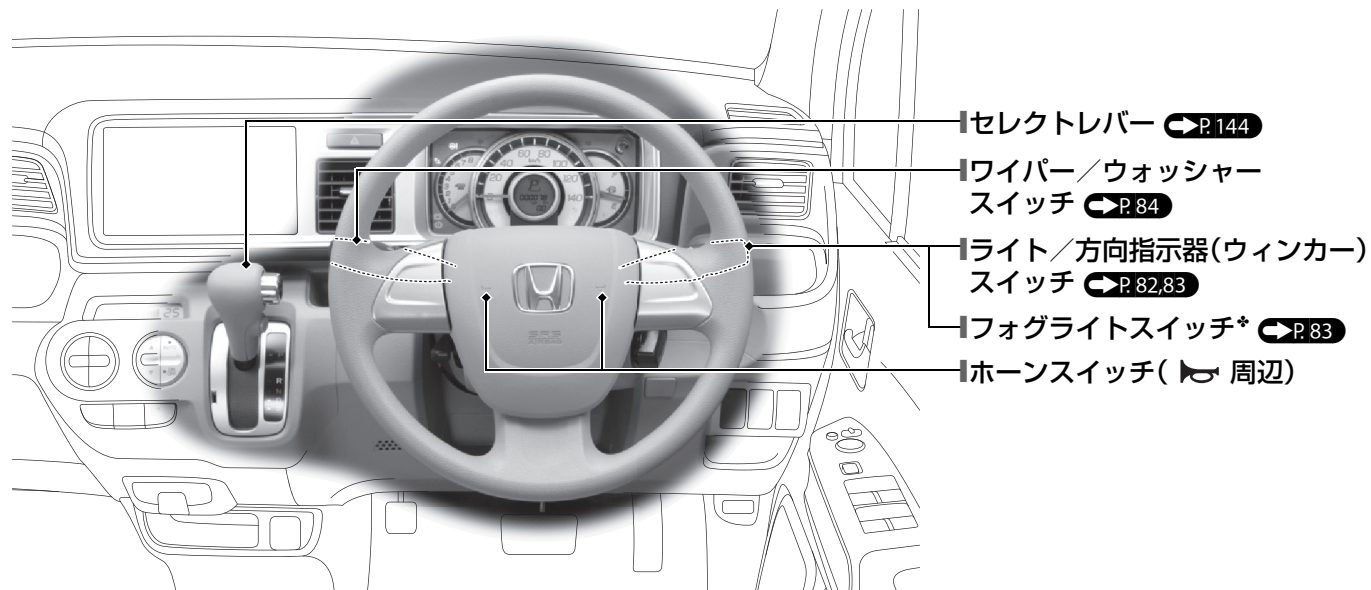
万一の場合には

資料

索引

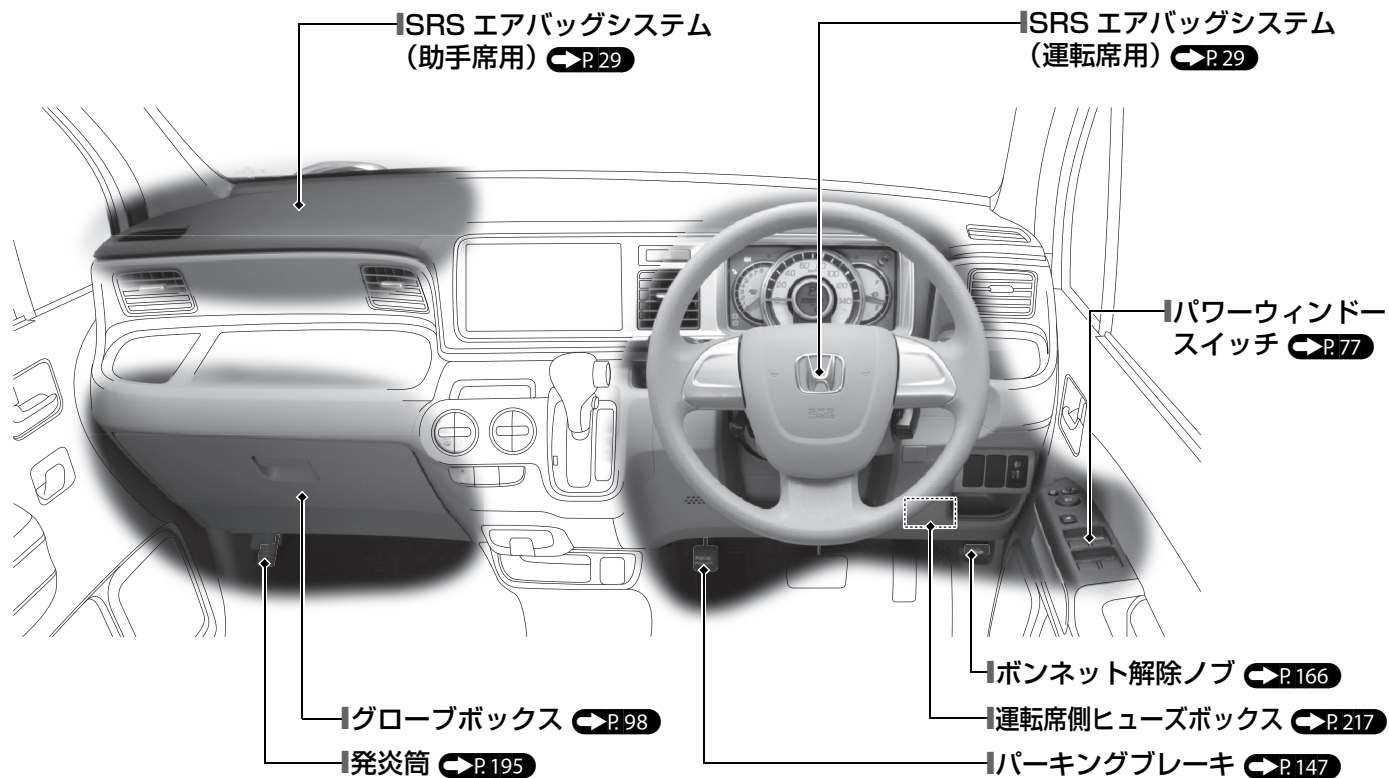
ビジュアル目次

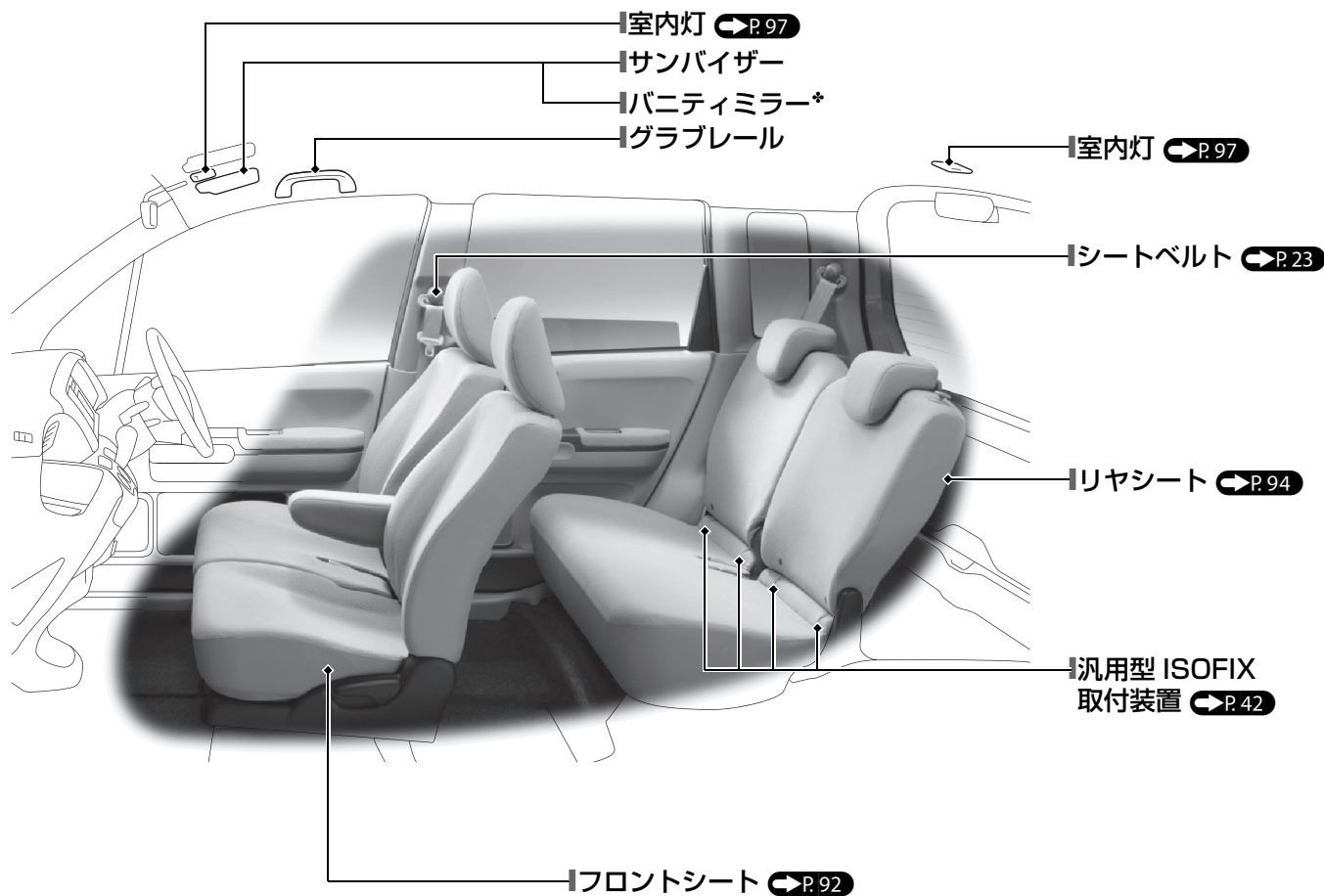




この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

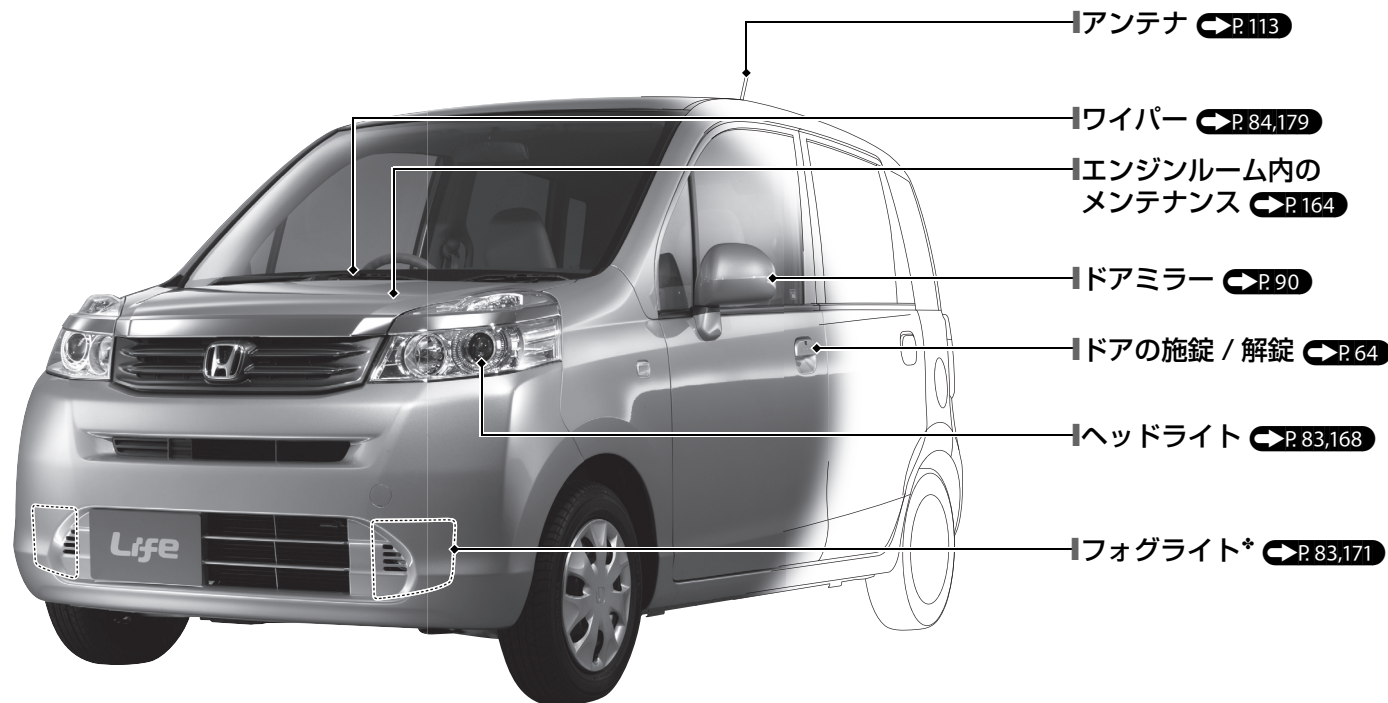
ビジュアル目次

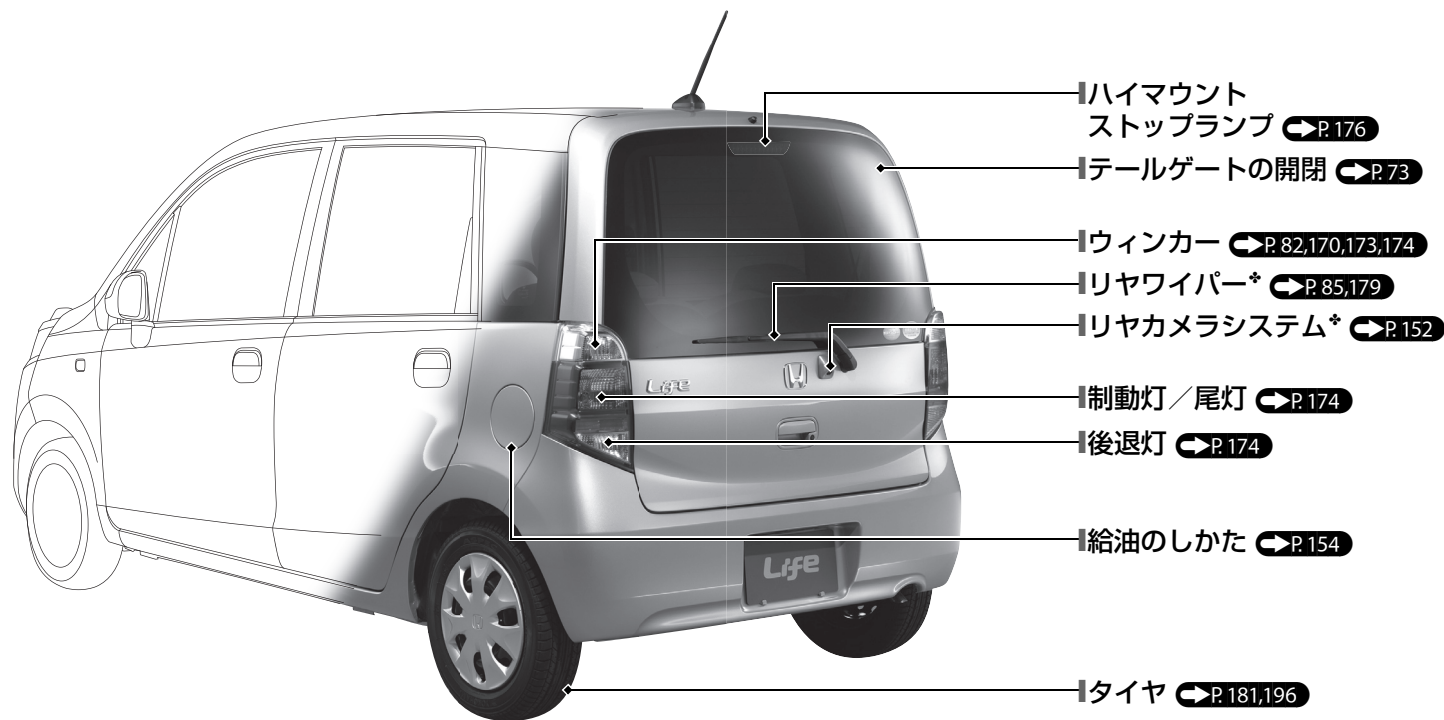




この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

ビジュアル目次





この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

安全なドライブ

➡P.20

運転を始める前の確認 ➡P.21

- 運転前にフロントシートの位置、ヘッドレスト、ハンドルの位置*、バックミラーの角度を調節します。

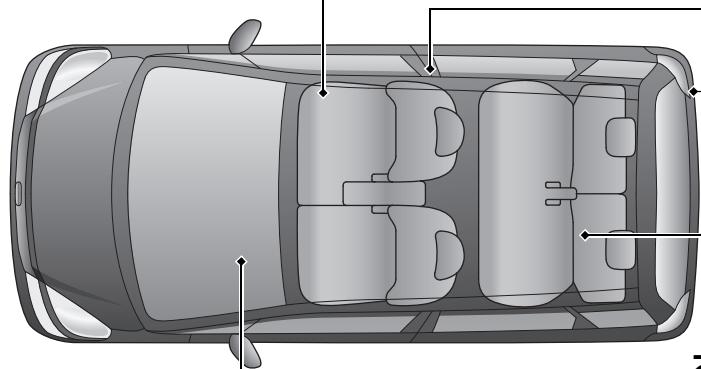


- 正しい運転姿勢でシートベルトを着用してください。
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
- 妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

シートベルト ➡P.23

排気ガスについて ➡P.46

- 車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではエンジンをかけないでください。

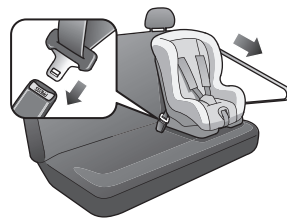


エアバッグ ➡P.29

- 万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。

お子さまの安全 ➡P.34

- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。
- 正しいチャイルドシートを使用してください。



計器の見かた ➡ P.47

警告灯 ➡ P.48 表示灯 ➡ P.51 メーター ➡ P.55

警告灯 / 表示灯

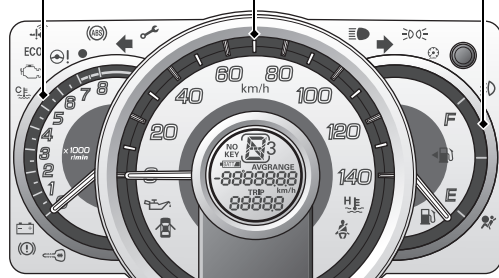
-  Honda スマートキーシステム警告灯*
-  ABS 警告灯
-  方向指示器表示灯
-  エンジンオイルメンテナンス表示灯*
-  ECO (エコ) 表示灯
-  EPS 警告灯
-  セキュリティアラームシステム作動表示灯*
-  PGM-FI 警告灯
-  低水温表示灯
-  充電警告灯
-  ブレーキ警告灯
-  イモビライザーシステム表示灯*

DIVA、G

タコメーター

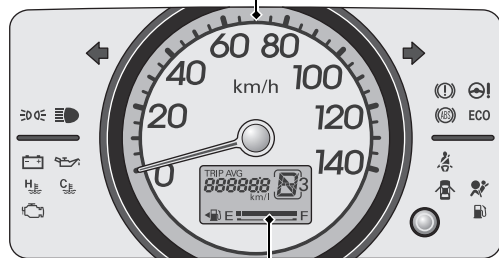
スピードメーター

燃料計



C

スピードメーター



警告灯 / 表示灯

-  油圧警告灯
-  ドア／テールゲート開閉警告灯

警告灯 / 表示灯

-  ハイビーム表示灯
-  ライト点灯表示灯
-  フォグライト点灯表示灯*
-  燃料残量警告灯
-  エアバッグシステム警告灯
-  高水温警告灯
-  シートベルト非着用警告灯
-  トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯)

この「*」はタイプやオプションなどにより、装備が異なる場合に付きます。

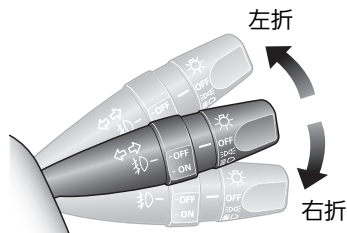
各部の操作 ➡P.62

時刻を合わせる ➡P.63

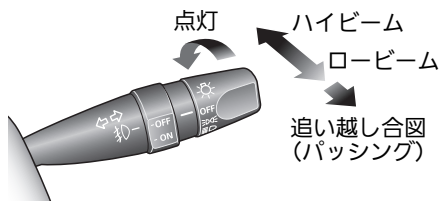
バックモニター+ AM/FM チューナー付
CD プレーヤー 装備車



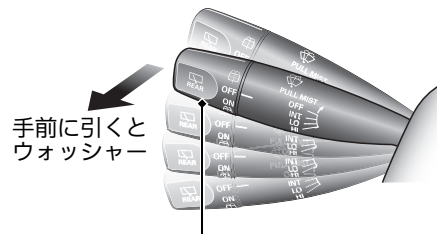
ウィンカー ➡P.82



ライト ➡P.83



ワイパー ➡P.84

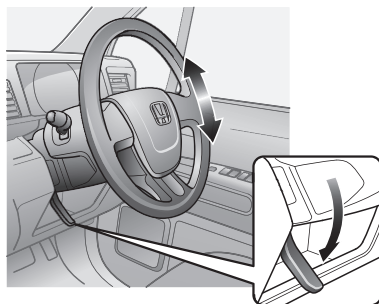


- OFF 停止
- INT 間欠(雨量が少ないとき)
- LO 低速(普通の雨量のとき)
- HI 高速(雨量の多いとき)

ハンドル位置の調節*

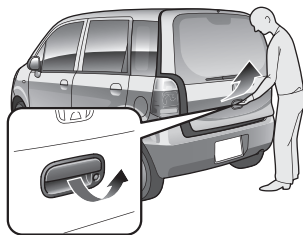
➡P.89

- ハンドル位置調節レバーを押し下げ、ハンドルの位置を調節します。



テールゲート ➡P.73

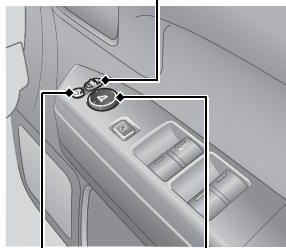
- テールゲートは、テールゲートハンドルを引いて開きます。



ドアミラー ➡P.90

- エンジンスイッチがIIのとき、ドアミラーの格納*または角度*の調節ができます。

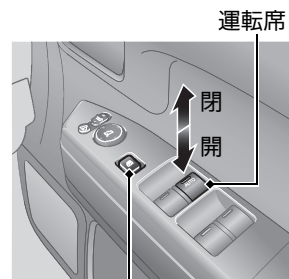
左右切り換えスイッチ



格納スイッチ 角度調節スイッチ

パワーウィンドー ➡P.77

- エンジンスイッチがIIのとき、ウィンドーの開閉ができます。



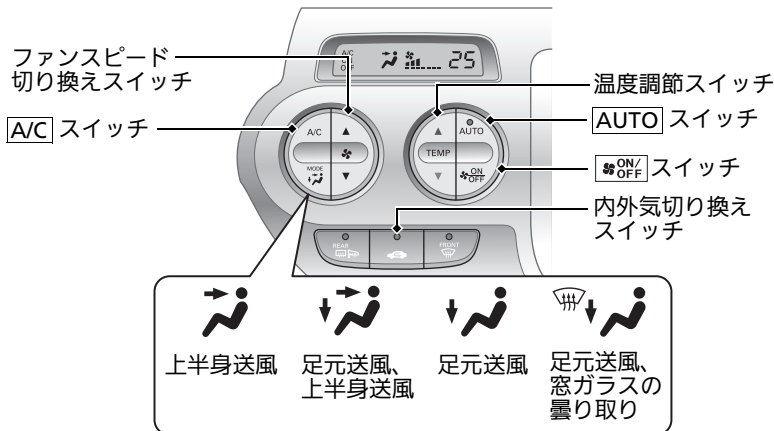
メインスイッチ

- ・ON 運転席以外のウィンドーが非作動
- ・OFF 全てのウィンドーが作動

エアコン ➡ P.102

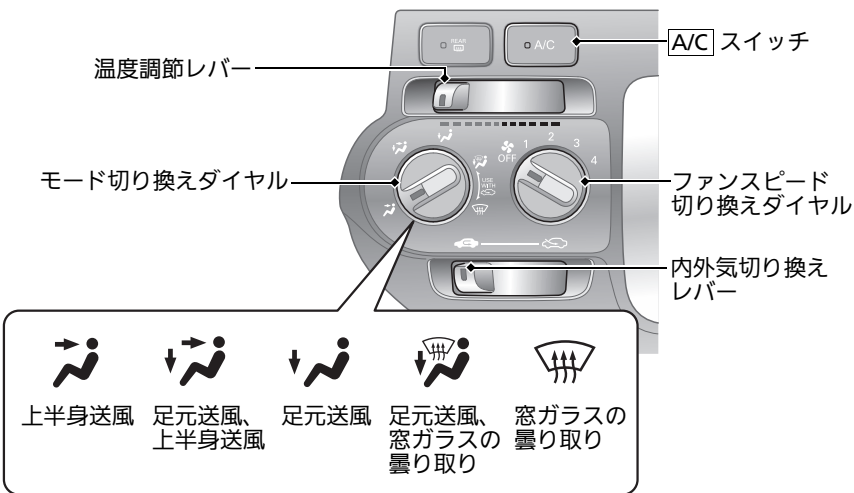
オートエアコン装備車

- **AUTO** を押すと、オートエアコンが作動します。
- **ON/OFF** を押すと、止まります。
- 前面ガラスの曇りを取るには、**FRONT** を押します。



マニュアルエアコン装備車

- ファンスピード切り換えダイヤルで風量を調節します。
- モード切り換えダイヤルで吹き出し口を選びます。
- 温度調節レバーで吹き出し風の温度を調節します。
- ファンスピード切り換えダイヤルを OFF にすると、止まります。
- 前面ガラスの曇りを取るには、モード切り換えダイヤルを **FRONT** にします。



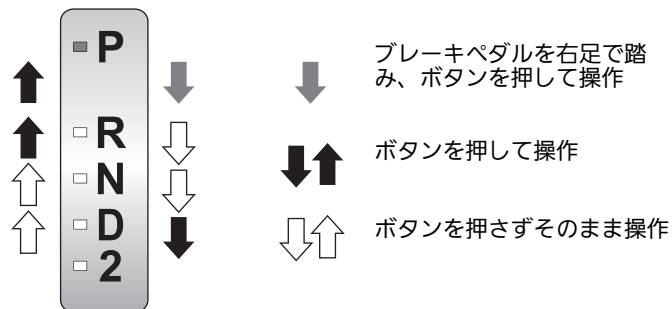
運転 ➡ P 137

オートマチック車 ➡ P 143

- セレクトレバーを **[P]** に入れ、ブレーキを踏みながらエンジンを始動します。

セレクトレバー

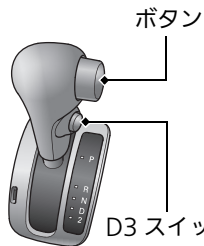
セレクトレバーの操作



ブレーキペダルを右足で踏み、ボタンを押して操作

ボタンを押して操作

ボタンを押さずそのまま操作



P パーキング
駐車またはエンジンの始動

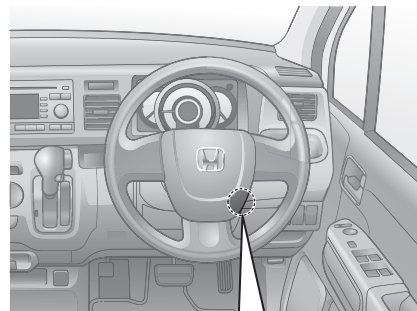
R リバース
車を後退

N ニュートラル
アイドリング状態

D ドライブ
通常走行

2 セカンド
2 速固定

D₃ **D** のときに D3 スイッチを押す
(1 速から 3 速まで自動変速)



エンジンスイッチ

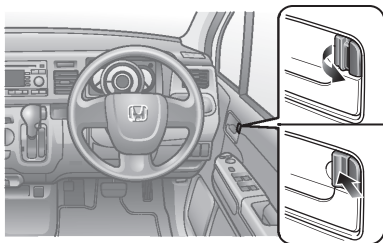


Honda
スマートキーシステム
装備車

ガソリンを入れる

➡ P.154

- ① 運転席のノブで解錠する。

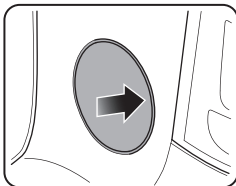


指定燃料： 無鉛レギュラーガソリン
タンク容量：

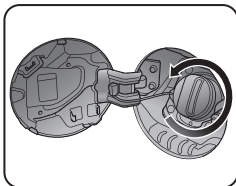
2WD 車 30 リットル

4WD 車 31 リットル

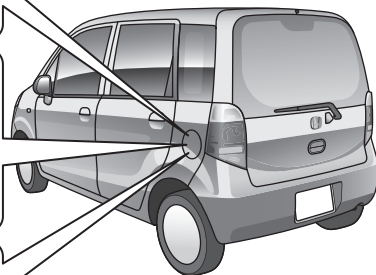
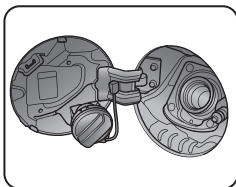
- ② フューエルリッドを押して浮かせる。



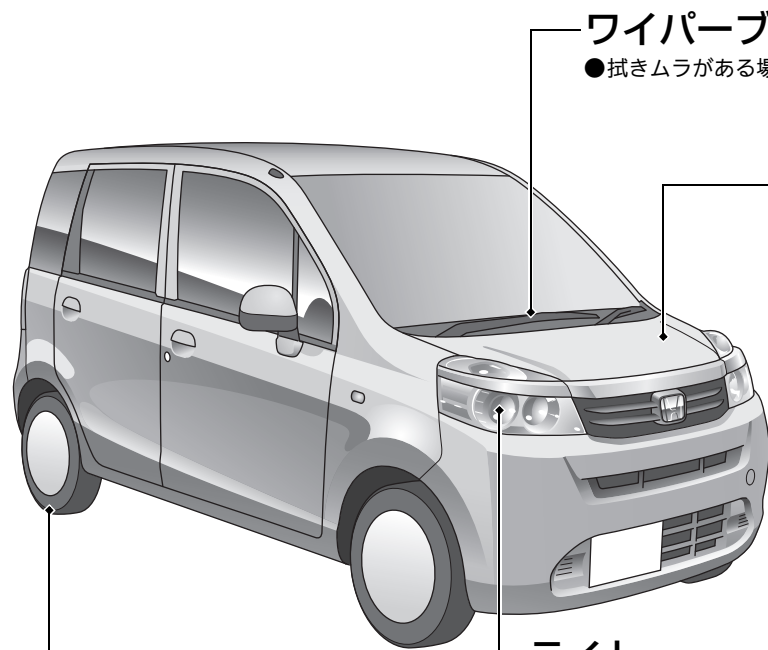
- ③ ツマミをゆっくり回してキャップを開ける。



- ④ キャップをホルダーにかける。



メンテナンス ➡P.161



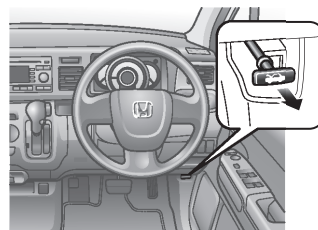
ワイパーブレード ➡P.179

- 拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。

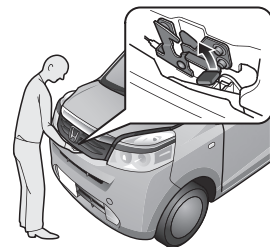
エンジンルーム ➡P.164

- 冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
- バッテリーを点検します。

- 1 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。



- 2 レバーを上げボンネットを開ける。



ライト ➡P.168

- ヘッドライト、フォグライト電球*、テールライト電球などの点検または交換を行います。
- 電球の交換については、「メンテナンス」を参照してください。
- ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

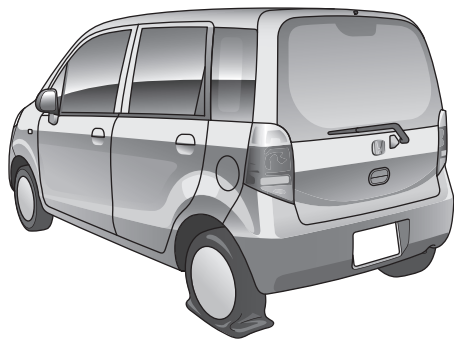
タイヤ ➡P.181

- タイヤ、ホイールを点検します。
- 降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

万一の場合には ➡P.193

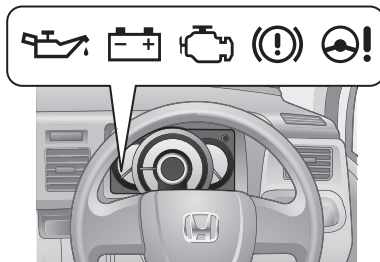
パンクした ➡P.196

- 安全な場所に停車し、パンク修理キットで応急修理します。



警告灯が点灯した ➡P.213

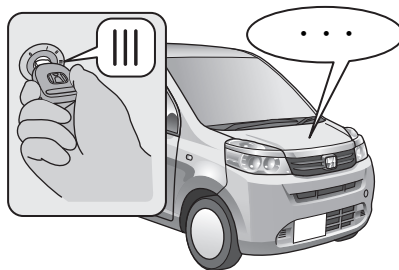
- 詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。



エンジンが始動しない

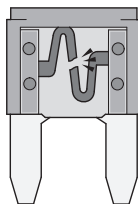
➡P.206

- バッテリーあがり考えられます。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動します。



ヒューズが切れた ➡P.216

- 運転席の足元とエンジンルーム内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



オーバーヒートした ➡P.212

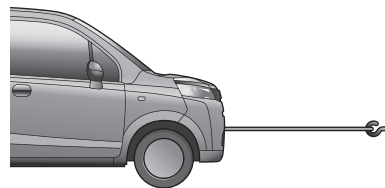
- 安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。



けん引してもらいたい

➡P.220

- 必ず専門業者に依頼してください。やむをえず4輪を接地したままけん引される場合は、取扱説明書にしたがってください。



こんなときは

Q キーが **0** から **1** に回らない

A

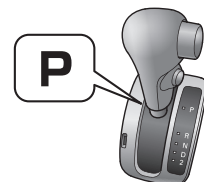
- ・ ハンドルがロックされていませんか？
- ・ ハンドルを左右に回しながら、キーを回してください。Honda スマートキー* を使用しているときは、エンジンスイッチノブを回してください。



Q キーが **1** から **0** に回らない
(キーが抜けない)

A

- ・ セレクトレバーが **P** 以外の位置になっていませんか？



Q ブレーキペダルを踏んだら
ガタガタと振動した

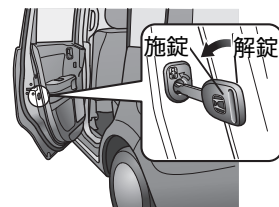
A

- ・ ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS が作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

Q 後席ドアが車内から開けられない

A

- ・ チャイルドブローフが施錠の位置になっていませんか？
後席ドアを外から開け、チャイルドブローフのシリンダーにキーを差し込み、解錠の位置にしてください。



Q

キーレスエントリーでドアを解錠したはずなのに施錠されている

A

- キーレスエントリー、Honda スマートキー*で解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。



Q

運転席ドアを開けるとブザーが鳴る

A

- 「ピピピピ」と鳴るときはキーをエンジンスイッチに差し込んでいませんか？ Honda スマートキー*を使用しているときは、エンジンスイッチノブを **0** (プッシュオフ)以外にしていますか？
- 「ピー」と鳴るときはライトを消し忘れていませんか？



Q

走行するとブザーが鳴る

A

- 運転席シートベルトを着用していますか？
- パーキングブレーキを完全に戻していますか？

Q

走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする

A

- ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。

Q

レギュラーガソリン仕様車にプレミアム(ハイオク)ガソリンを使用しても大丈夫ですか？

A

- プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車が故障・破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- エアバッグシステムの故障診断情報
- エアバッグの作動に関する情報
- 動力伝達機構の状態
- 運転状態

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断や Honda の車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。

なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

Honda および Honda が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示、提供することはありません。

- お車の所有者または使用者の同意がある場合
- 裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

安全なドライブ P.20

安全なドライブのために 21 シートベルト 23 エアバッグ 29 お子さまの安全 34
排気ガスの危険性 46

計器の見かた P.47

警告灯と表示灯 48 メーターとインフォメーションディスプレイ 55

各部の操作 P.62

時刻の設定 63 ドアロック 64 テールゲート 73 セキュリティシステム 75
ウィンドー 77 ハンドルまわりのスイッチ 79 ミラー類 90
シート 92 室内灯 / 室内装備品 97 エアコン 102

オーディオ P.111

オーディオ装置 112

運転 P.137

運転の前に 138 運転 140 ブレーキ 147 駐停車 150
リヤカメラシステム 152 給油 154 ターボ車について 157 アクセサリーと改造 160

メンテナンス P.161

メンテナンスの前に 162 エンジンルーム内 164 電球 168 ワイパー 179
タイヤ 181 キーレスエントリー/Honda スマートキー 185 エアコンのお手入れ 187
清掃 189

万ーの場合には P.193

工具、発炎筒 194 パンク 196 ジャッキ 204 エンジンが始動しない 206
ジャンプスタート 209 セレクトレバーが動かない 211 オーバーヒート 212
警告灯が点灯 / 点滅した 213 ヒューズ 216 けん引 220
フューエルリッドが解錠できない 223 テールゲートが開かない 224

資料 P.225

仕様 : C 226 仕様 : G 227 仕様 : DIVA 228 仕様 : DIVA(ターボ) 229

安全なドライブ P.20

計器の見かた P.47

各部の操作 P.62

オーディオ P.111

運転 P.137

メンテナンス P.161

万ーの場合には P.193

資料 P.225

索引 P.230

安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前によくお読みいただき、運転者と同乗者の安全を
確保してください。

安全なドライブのために	21
シートベルト	
シートベルトについて	23
シートベルトの着用	26
シートベルトの点検	28
エアバッグ	
エアバッグの種類	29
SRS エアバッグ	29
エアバッグシステム警告灯 / 表示灯	32
エアバッグのお手入れ	33

お子さまの安全	34
お子さまの安全を守るために	34
乳幼児の安全	35
大きなお子さまの安全	44
排気ガスの危険性	
一酸化炭素について	46

安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか？
 - ▶すべてのドア、テールゲートが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
❏ 車内での施錠 / 解錠 P.72
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
 - ▶正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
❏ フロントシート P.92
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
 - ▶ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
❏ フロントシート P.92
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
 - ▶運転者と乗員全員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
❏ シートベルトの着用 P.26
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
 - ▶エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
❏ エアバッグ P.29
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
 - ▶お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
❏ お子さまの安全 P.34

❏安全のための確認事項

ドア / テールゲート開閉警告灯が点灯している場合は、完全に閉まっていないドア、テールゲートがあります。

ドア、テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。「ドア / テールゲート開閉警告灯」は消灯し、正常な状態に戻ります。



❏ドア / テールゲート 開閉警告灯
P.50

- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを **P** にしているか？

▶ さらにタイヤに輪留めをすると効果があります。

🔲 シフト操作 P.144

シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

すべての席に三点式シートベルトが装備されています。

■シートベルトの着用

シートベルトの装着にあたっては、以下の点に注意してください。

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

※シートベルトについて



警告

シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。

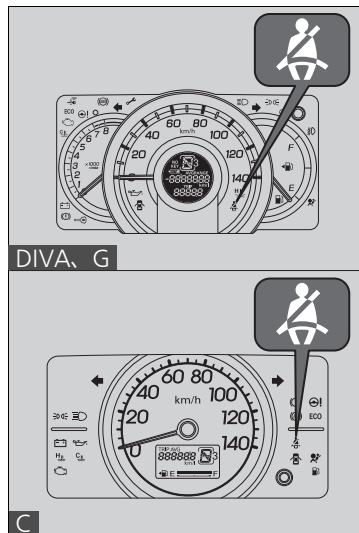
シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

乗車中は正しい姿勢を保つ。

正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

シートベルトを着用した状態で事故にあったときは、Honda 販売店で点検を受け、ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

■シートベルトリマインダー



エンジンスイッチを **II** にしたときや走行したとき、運転席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

■シートベルトリマインダー

- 運転席シートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーを **R** に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

■シートベルトプリテンショナー

安全性をより高めるために、フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。

シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束効果を高めるための装置です。



■シートベルトプリテンショナー



注意

シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。

誤作動や故障の原因となります。

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。

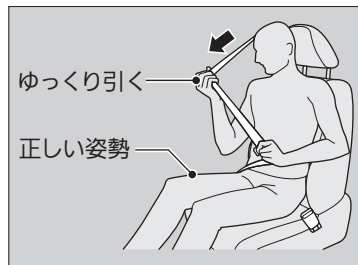
衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動するとエアバッグシステム警告灯が点灯します。

衝突したときは、Honda 販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

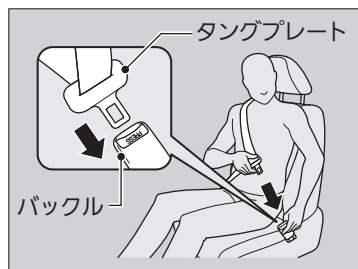
SRS エアバッグとシートベルトプリテンショナーはかならずしも同時に作動しません。

シートベルトの着用

■ 三点式シートベルト



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. シートベルトをゆっくり引き出す。



3. タングプレートをバックルに差し込む。
▶このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないように注意します。



4. ベルトを、腰骨のできるだけ低い位置にかかるように合わせる。
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

※シートベルトの着用

⚠ 注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。

シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをすることがあります。

シートベルトを外すには、バックルの赤色の **[PRESS]** を押してください。

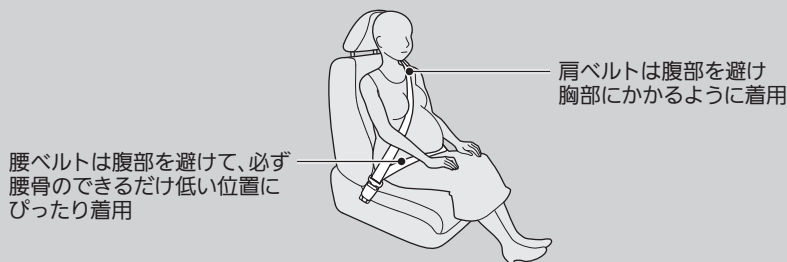
そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

シートベルトの分解、改造はしないでください。正常に作動しないおそれがあります。

妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。



妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた



妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点に注意してください。

万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

シートベルトの点検

シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。

点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

※シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。

ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

エアバッグの種類

エアバッグは、エンジンスイッチが **II** のときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。

エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- SRS エアバッグ：フロントシートの前方向エアバッグ

SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。

このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

エアバッグの種類

⚠ 警告

エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。

エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

⚠ 注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。

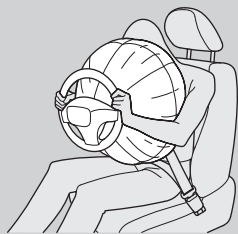
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。

エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

SRS エアバッグの作動

作動時



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRS エアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRS エアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
 - 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

■SRS エアバッグの作動

⚠ 警告

インストルメントパネルに手をついたり顔や胸を近づけた状態で乗車しない。

SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。

SRS エアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。

この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認後、ただちに車外に出てください。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

▶SRS エアバッグの作動



注意

SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。

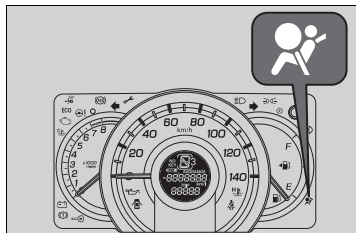
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

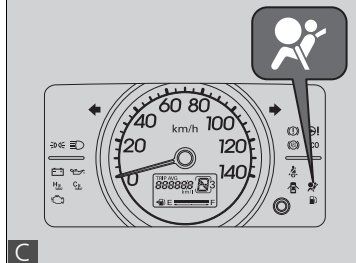
エアバッグシステム警告灯 / 表示灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯や表示灯で知らせます。

■エアバッグシステム警告灯



DIVA, G



C

■エンジンスイッチを **II** にしたとき

エンジンスイッチを **II** にすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■異常が発生したとき

エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるとき点灯します。

⚠エアバッグシステム警告灯

⚠警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。

エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

エンジンスイッチを **II** にしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。

ただし、以下の場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

■エアバッグが作動し、膨らんだとき

一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。

また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはリヤシートに乗せる
 - ▶ お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
- また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があるため危険です。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
 - ▶ お子さまを抱えたり、ひざの上に乗せないでください。衝突したときに支えることができず危険です。
 - 正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
 - ▶ 乳幼児に乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 窓から手や顔、ものを出さない
 - ▶ 走行中や一時停止時などに、お子さまが窓から手や顔、ものなどを出さないように注意してください。思わぬ障害物により事故のおそれがあり危険です。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
 - ▶ 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
 - ▶ お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になり危険です。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

❖ お子さまの安全を守るために

⚠ 警告

チャイルドシートはリヤシートに設置する。

助手席に設置すると SRS エアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

⚠ 警告



シート前部のエアバッグで保護されたシートには、後向きの幼児拘束装置を使わないでください。

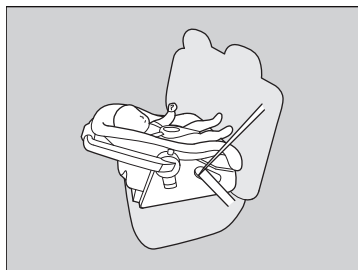
お子さまを助手席に乗せないほうが良い理由は下記の通りです。

- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRS エアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

乳幼児の安全

乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートに設置することができます。
推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

※乳児のチャイルドシート



警告

後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。

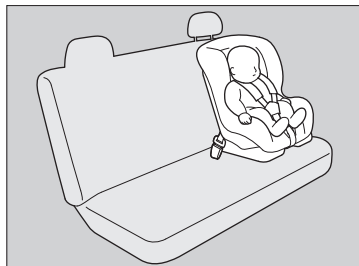
前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。

助手席の SRS エアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

■ 幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■ 前向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートへの設置を推奨します。

※ 幼児のチャイルドシート

⚠ 警告

助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎたり、衝突したときに乳幼児の頭が前に投げ出されると SRS エアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

■チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは汎用型 ISOFIX チャイルドシートをお選びください。

シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシートに付属しているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定するため取り付けが簡単です。

■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の3つの条件を満たしている必要があります。

- 一覧表に案内されているチャイルドシートであること

■ **選択の目安** P.38、40

- チャイルドシートがお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること

■チャイルドシートの選びかた

汎用型ISOFIX チャイルドシートは取り付けが簡単です。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

Honda 純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。

■シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。

次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

重量区分	前席 助手席	座席位置	
		右席	後席 左席
グループ 0 ～ 10kg	X	U	U
グループ 0 + ～ 13kg	X	U	U
グループ I 9kg ～ 18kg	UF	U	U
グループ II 15kg ～ 25kg	UF	U	U
グループ III 22kg ～ 36kg	UF	U	U

記号の説明

U : 汎用(ユニバーサル)チャイルドシートを備えることができることを示す。

UF : 汎用(ユニバーサル)チャイルドシートを前向きに備えることができることを示す。

X : チャイルドシートを装備できないことを示す。

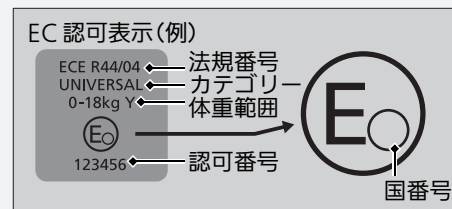
■シートベルトで固定するチャイルドシートについて

チャイルドシートに関する国連の安全基準である ECE R44 に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

チャイルドシートをご購入する際は、重量グループに一致したものをお選びください。

U と UF のチャイルドシートには、ECE R44 認可表示と取扱説明書に UNIVERSAL(汎用)と案内されているものもあります。



汎用型 ISOFIX チャイルドシート以外のチャイルドシートを使用するときは、シートの種類や取り付けの向きにより固定金具(ロッキングクリップ)が必要になる場合があります。

助手席リフトアップシート車

重量区分	前席 助手席	座席位置	
		右席	左席
グループ 0 ～ 10kg	X	U	U
グループ 0 + ～ 13kg	X	U	U
グループ I 9kg ～ 18kg	X	U	U
グループ II 15kg ～ 25kg	X	U	U
グループ III 22kg ～ 36kg	X	U	U

記号の説明

U : 汎用(ユニバーサル)チャイルドシートを備えることができることを示す。

X : チャイルドシートを装備できないことを示す。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

この車のリヤシートには、汎用型 ISOFIX チャイルドシートを取り付けるための
ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。

次ページの表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

Honda 純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。

■選択の目安

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

重量区分	サイズ 等級	固定具	座席位置		
			前席 助手席	後席 左席	後席 右席
キャリコット	F	ISO/L1	—	X	X
	G	ISO/L2	—	X	X
0	～ 10kg 以下	E	ISO/R1	—	IL
0 +	～ 13kg 以下	E	ISO/R1	—	IL
		D	ISO/R2	—	X
		C	ISO/R3	—	X
I	9kg ～ 18kg	D	ISO/R2	—	X
		C	ISO/R3	—	X
		B	ISO/F2	—	IUF
		B1	ISO/F2X	—	IUF
II	15kg ～ 25kg	A	ISO/F3	—	IUF
		—	—	X	X
III	22kg ～ 36kg	—	—	X	X

記号の説明

IUF : 汎用(ユニバーサル)ISOFIX チャイルドシートを前向きに備えることができることを示す。

IL : Honda Baby ISOFIX チャイルドシートまたは Honda ISOFIX Neo チャイルドシートを備えることができることを示す。

X : ISOFIX チャイルドシートを装備できないことを示す。

■汎用型 ISOFIX チャイルドシートについて

チャイルドシートをご購入する際は、ISOFIX サイズ等級に一致したものをお選びください。

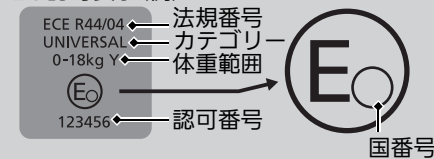
固定具	お子さま の大きさ	使用の 向き	形状、 大きさ
ISO/L1	乳児	左	寝台式
ISO/L2	乳児	右	寝台式
ISO/R1	乳児	後ろ	—
ISO/R2	幼児	後ろ	小型
ISO/R3	幼児	後ろ	大型
ISO/F2	幼児	前	低型
ISO/F2X	幼児	前	低型
ISO/F3	幼児	前	全高

ILはECE R44に適合した、Honda純正Honda Baby ISOFIX または Honda ISOFIX Neo のみ取り付けことができます。

ご購入は Honda 販売店にご相談ください。

IUF のチャイルドシートには、ECE R44 認可表示と取扱説明書に UNIVERSAL ISOFIX (汎用)と案内があります。

EC 認可表示(例)



■ シートベルトでの取り付け



1. チャイルドシートを座席に置く。
2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレートをバックルに差し込む。
▶このとき、バックルが「カチリ」という音がするまできちんと差し込んでください。
3. チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。
4. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

■ チャイルドシートの取り外し

バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

❏ シートベルトでの取り付け

⚠ 注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

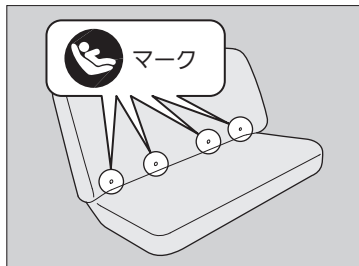
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

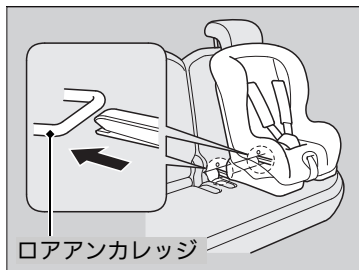
チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具(ロッキングクリップ)が必要になります。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、リヤシートに設置できます。チャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。



1. マークの下にあるシートの切れ目からロアアンカレッジを確認する。



2. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがってロアアンカレッジに取り付ける。
▶取り付けの際に、異物やシートベルトなどがロアアンカレッジにかみ込まないようにしてください。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け



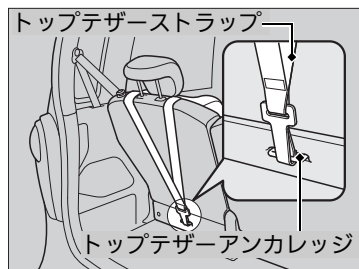
注意

ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。

異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。



3. ヘッドレストを持ち上げ、トップテザーストラップをヘッドレストの外側に通す。
▶このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。
4. トップテザーストラップをトップテザーアンカレッジに引っ掛け、ストラップを締める。
5. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

汎用型 ISOFIX チャイルドシートの取り付け

⚠ 注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

大きなお子さまの安全

■シートの使用について

幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、リヤシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



■確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

※大きなお子さまの安全



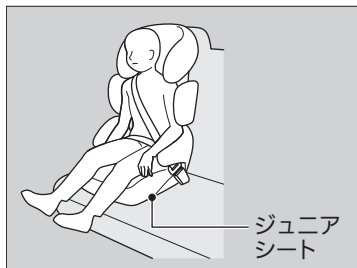
お子さまは助手席に乗せない。

お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。

やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

■ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをリヤシートに設置して使用してください。

安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

※ジュニアシートについて

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

■やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- この取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけ、足をフロアーにつけるよう指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する
- お子さまの行動を見守る

一酸化炭素について

車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。

以下の場合、排気ガスのもれがないか Honda 販売店で点検を受けてください。

■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

⚠一酸化炭素について



警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。

一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。

密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、エンジンをかけたままにしない。

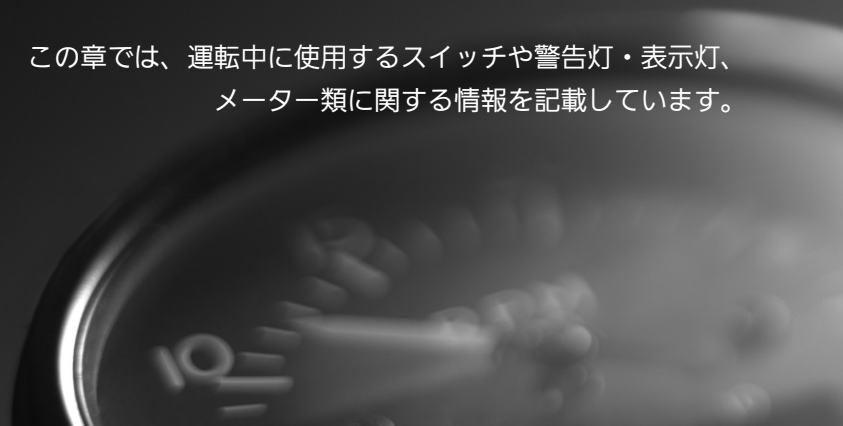
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。

ガレージのドアを閉めたままエンジンを始動しないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンを始動するようにしてください。

計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、
メーター類に関する情報を記載しています。



警告灯と表示灯	
警告灯	48
表示灯	51
メーターとインフォメーションディスプレイ	
メーター	55
インフォメーションディスプレイ	56
カスタマイズ機能	60

警告灯

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	ブレーキ警告灯	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯(パーキングブレーキをかけているときは点灯) - ブレーキフルード量が低下したときに点灯	- 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ブレーキフルードを点検し、下限より減っている場合はただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 - ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 🔍 ブレーキ警告灯が点灯した P.214
	油圧警告灯	- エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 - エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯	走行中に点灯= ただちに安全な場所に車を停車し、対処してください。 🔍 油圧警告灯が点灯した P.213
	PGM-FI 警告灯	- エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 エンジンを始動していないときは数十秒後消灯 - エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯 - エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅	走行中に点灯= 高速走行を避けてただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 走行中に点滅= 枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを止めて冷えるのを待ちください。 🔍 PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した P.214
	充電警告灯	- エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 - バッテリーが充電されていないと点灯	走行中に点灯= 電気の消費量を減らすため、エアコンやリヤデフロスターなどを OFF にし、対処してください。 🔍 充電警告灯が点灯した P.213

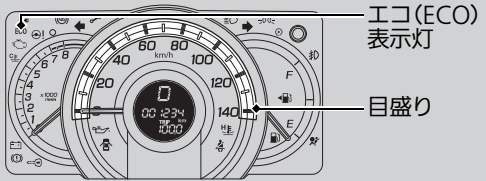
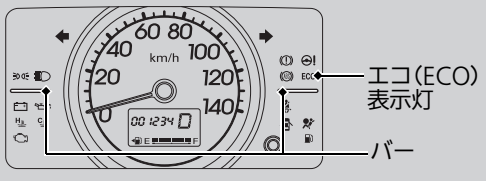
警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	トランスミッション警告表示 (セレクトポジション表示)	トランスミッションが異常のときに点滅	運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	シートベルト非着用警告灯	- 運転者がシートベルトをしないと点灯 - エンジンスイッチを II にしたときや走行中、運転者がシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅	- シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 - シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 🔍 シートベルトリマインダー P.24
	Honda スマートキーシステム警告灯*	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - Honda スマートキーシステムが異常のときに点灯	- 下記のような場合、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 - 運転中に点灯した - エンジン始動後も消灯しない - エンジンスイッチが 0 のときに数秒間点灯した
	燃料残量警告灯	- 燃料の残量が少なくなると点灯 点灯するのは、タンクに残っている残量がおよそ 4 リットルになったときです。 - 燃料計に異常があるときは点滅	- 点灯したら早めに給油してください。 - 点滅したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - ABS が異常のときに点灯	点灯したときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 🔍 ABS(アンチロックブレーキシステム) P.149

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	エアバッグシステム警告灯	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - 下記のとき点灯 - エアバッグシステムの異常 - プリテンショナーシステムの異常	常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	ドア / テールゲート開閉警告灯	ドア、テールゲートが完全に閉まっていないとき点灯	ドア、テールゲートを完全に閉めると、警告灯が消灯します。
	EPS(エレクトリックパワーステアリング)警告灯	- エンジンスイッチを II にすると点灯し、エンジン始動で消灯 - EPS(エレクトリックパワーステアリング)システムの機能に異常があると点灯	常時点灯、あるいは全く点灯しない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ☑ EPS 警告灯が点灯した P.215
	高水温警告灯	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - エンジンの冷却水の温度が上がると点滅し、さらに上がると点灯	走行中に点滅= ゆっくり走行してください。 走行中に点灯= ただちに安全な場所に車を停車し、エンジンを冷やしてください。 ☑ オーバーヒート P.212
	Honda スマートキー電池消耗警告灯*	Honda スマートキーの電池残量が少なくなったときに、ブザーと同時に点灯	☑ 電池交換のしかた P.186

表示灯

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	方向指示器表示灯	- 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅 - 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅	- 点滅しない / 点滅の周期が速いときは、方向指示器の電球が切れています。ただちに電球を交換してください。  電球の交換 P.170、173、174
	ハイビーム表示灯	ヘッドライトを上向きにしたときに点灯	—
	ライト点灯表示灯	ライトスイッチが OFF 以外のときに点灯	ライトを点灯したままキーを抜く / プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。
	フォグライト点灯表示灯*	フォグライトを点灯させると点灯	—
	低水温表示灯	エンジン冷却水の温度が低いときに点灯	暖機を十分にした状態で、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーなどの異常が考えられます。Honda 販売店で点検を受けてください。

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	イモビライザーシステム表示灯*	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅 - エンジンスイッチを II から I または 0 にしたときも数回点滅 - Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチノブを II から 0 (プッシュオフ) にすると数回点滅	- 点滅しているときは、エンジンを始動することはできません。Honda スマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ) にしてから、もう一度 II にしてください。 - エンジンスイッチを II にしても点灯しない場合や、頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので Honda 販売店で点検を受けてください。 - エンジンスイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。
	セキュリティアラームシステム作動表示灯*	セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅	❏ セキュリティアラームシステム P.75

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
ECO	ECO(エコ)表示灯	定速走行時や減速運転時のエンジンの燃費の状態が良いときに点灯	- 停車中や低車速走行中は点灯しません。 - 表示灯の点灯に連動して、メーター内のバーまたは目盛りがオレンジまたは白からグリーンに変わります。  エコ(ECO)表示灯 目盛り DIVA、G  エコ(ECO)表示灯 バー C - バーまたは目盛りの色を表示灯の点灯と連動しないように設定できます。 ■ カスタマイズ機能 P.60

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	エンジンオイル メンテナンス表示灯*	- エンジンスイッチを II にすると数秒点灯したあと、消灯 - エンジンオイルの交換時期が近づくと点滅 - エンジンオイルの交換時期が過ぎると点灯	- 約 10 秒間点滅した後に消灯 = 表示灯 を リセットしてから 4,500km 以上走行したことを示します。 - 消灯しない = 表示灯 を リセットしてから 5,000km 以上走行したことを示します。すみやかにエンジンオイルを交換してください。エンジンオイルを交換した後は、表示灯をリセットしてください。 ■ 表示灯のリセット P.158 - この表示灯は、走行距離を積算してエンジンオイルの交換時期をお知らせします。前回エンジンオイル交換後、リセットしてからの走行距離が 5,000km 未満であっても、6ヶ月が経過した場合はエンジンオイルを交換してください。 ■ エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期 P.157

メーターとインフォメーションディスプレイ

メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計などの種類があります。

スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。

エンジンスイッチが **II** のとき表示されます。

タコメーター*

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

燃料計

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

アドバイス

燃料計が **E** に近づいたら、早めに給油してください。

燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

タコメーター

エンジンの限界回転数は、下表の通りです。

タイプ	限界回転数
ライフ	7,500rpm
ライフ(ターボ車)	7,000rpm

アドバイス

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないよう運転してください。

特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

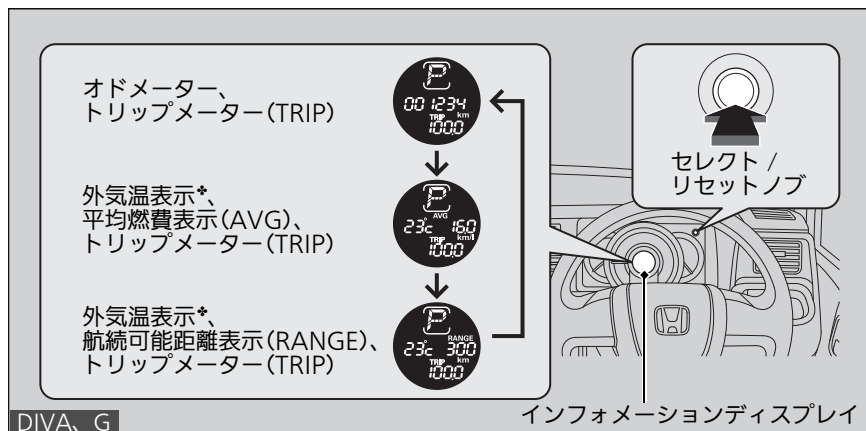
セレクトレバーが **R** のときや、空ぶかしをしたときは、エンジンの限界回転数より低い回転数でも、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。

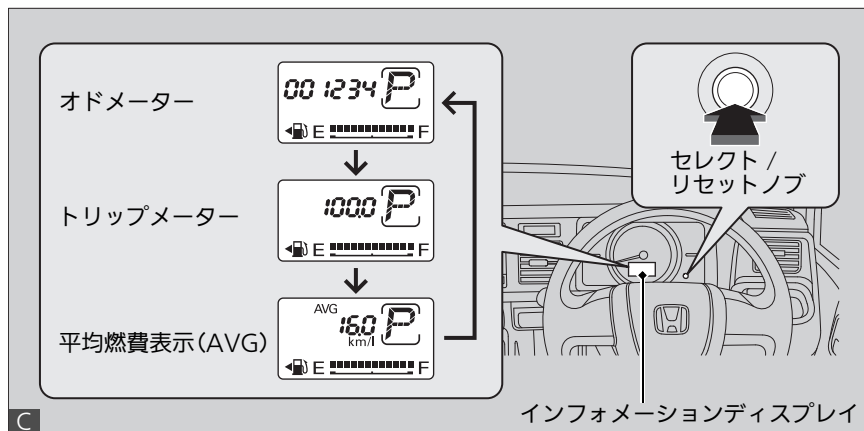
インフォメーションディスプレイ

インフォメーションディスプレイには、オドメーター、トリップメーター、外気温表示*などが表示されます。

表示の切り換えかた

セレクト / リセットノブを押すごとに、表示が下記のように切り換わります。





■オドメーター

走行距離の累計を km で表示します。

■トリップメーター

リセットしてからの走行距離を km で表示します。

■トリップメーターをリセットするには

トリップメーターが表示されている状態で、セレクト/リセットノブを押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

■平均燃費表示(AVG)

トリップメーターと連動し、平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。

■平均燃費表示のリセット

トリップメーターをリセットすると、平均燃費表示も同時にリセットされます。

■航続可能距離表示(RANGE)*

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離を km で表示します。

※トリップメーター

トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります

※平均燃費表示(AVG)

表示される平均燃費は、実際に走行した燃費とは異なる場合があります。

停車時または低速走行中にリセットした場合は、走行を始めてから燃費の計算を開始します。

※航続可能距離表示(RANGE)

表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

■ 外気温表示*

外気温を測定し表示します。

■ 外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、 $\pm 3^{\circ}\text{C}$ の範囲で補正することができます。

❑ カスタマイズ機能 P.60

❑ 外気温表示

温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。

速度がおよそ 30km/h 以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。

また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

エンジンスイッチを **II** にしたとき、外気温が 3°C 以下の場合、外気温表示が数秒点滅します。

カスタマイズ機能

下表の機能をお好みに合わせてカスタマイズ(設定変更)することができます。

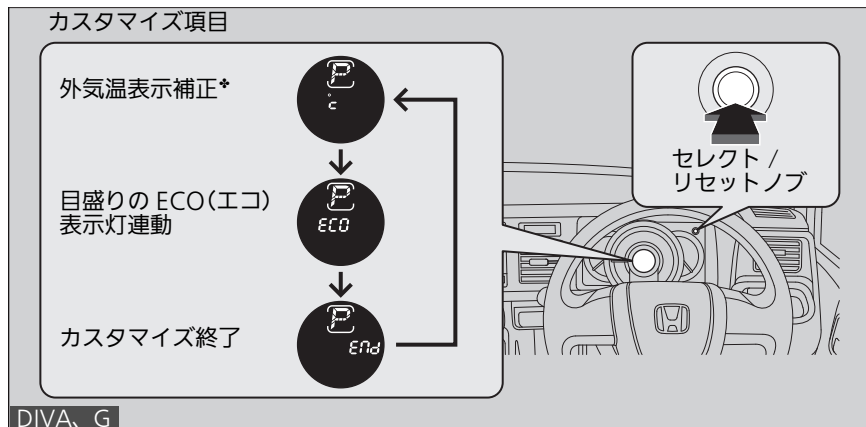
カスタマイズメニュー	選択できる設定内容	工場出荷時の設定
外気温表示補正*	+3℃～-3℃	±0℃
バーまたは目盛りの色の ECO(エコ)表示灯連動	ON(連動) OFF(非連動)	ON(連動)

■ カスタマイズのしかた

エンジンスイッチが **[II]** でセレクトレバーが **[P]** のときに、カスタマイズを行うことができます。

1. セレクト/リセットノブを押し続けると、カスタマイズモードに切り換わる。
2. セレクト/リセットノブを押すごとに、カスタマイズ項目が下記のように切り換わる。

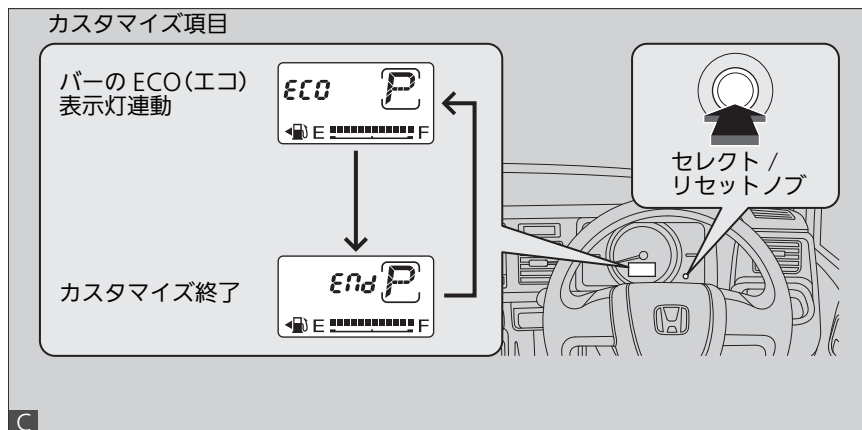
▶ カスタマイズ項目と現在の設定内容が交互に表示されます。



※ カスタマイズのしかた

トリップメーターが表示されているときにセレクト / リセットノブを押し、カスタマイズモードに切り換わる前にノブを離すと、トリップメーターがリセットされます。

セレクト/リセットノブを操作せずに約 30 秒が経過すると、自動的にカスタマイズモードは解除されます。



■外気温表示補正

1. 「℃」が表示されているときにセレクト / リセットノブを押し続け、設定したい補正値が表示されたらセレクト / リセットノブを離す。
2. セレクト / リセットノブを離したときの補正値が設定される。

■バーまたは目盛りの ECO (エコ) 表示灯連動 / 非連動

1. 「ECO」が表示されているときにセレクト / リセットノブを押し続けると「ON」(連動)と「OFF」(非連動)が交互に切り換わる。
2. 連動 / 非連動はセレクト / リセットノブを離したときの表示に設定される。

■カスタマイズモードの終了

1. 「End」が表示されているときにセレクト / リセットノブを押し続ける。
2. カスタマイズモードが終了し、通常表示に戻る。

■外気温表示補正

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

各部の操作

この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。

時刻の設定

- バックモニター+ AM/FM チューナー付
CD プレーヤー* 63

ドアの施錠と解錠

- キーの種類と機能 64
- 車外でのドアの施錠 / 解錠 68
- 車内での施錠 / 解錠 72
- チャイルドブローフ 72

テールゲートの開閉 73

セキュリティシステム

- イモビライザーシステム* 75
- セキュリティアラームシステム* 75
- ウィンドーの開閉 77

※：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

ハンドルまわりのスイッチ操作

Honda スマートキーシステム非装備車

- エンジンスイッチ 79

Honda スマートキーシステム装備車

- エンジンスイッチ 80
- 方向指示器(ウィンカースイッチ) 82
- ライトスイッチ 83
- フォグライトスイッチ* 83
- ワイパー/ ウォッシャー 84
- ヘッドライトレベリングダイヤル* 86
- イルミネーションコントロール* 87
- リヤデフロスタースイッチ / ヒーテッドドア
ミラー* スイッチ 88

- ハンドルの調節* 89

- ミラー類の調節 90

- シートの調節 92

- ヘッドレスト 95

- アームレスト* 96

- 室内灯 / 室内装備品 97

エアコン

- エアコンの吹き出し口 102

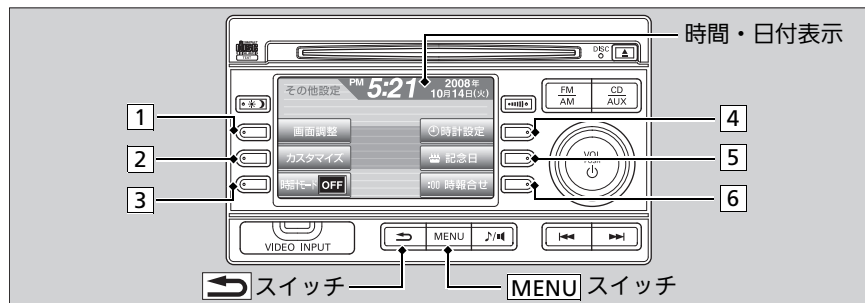
- オートエアコン* の使いかた 103

- マニュアルエアコン* の使いかた 105

時刻の設定

バックモニター+ AM/FM チューナー付 CD プレーヤー*

時計はオーディオ装置に表示されます。



1. **[MENU]** を押す。
▶ 現在選択中のモードのメニュー画面が表示されます。
2. **[6]** を押して「その他設定」画面を表示させる。
3. **[4]** を押して「時計設定」画面を表示させる。
4. 時刻を合わせる。
時: **[1]**、**[2]** を押す。
分: **[4]**、**[5]** を押す。
5. 時刻設定が完了し、「その他設定」画面に戻るときは **[6]** を押す。
▶ **[6]** を押す前に続けて日付の設定を行うときは、**[3]** を押して「日付設定」画面を表示させます。
6. **[4]**、**[5]** を押して、「年」を合わせる。
7. **[3]** を押して、「月日」を設定する。
月: **[1]**、**[2]** を押す。
日: **[4]**、**[5]** を押す。
8. 設定が完了したら **[6]** を押す。(「その他設定」画面に戻る)

※: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

▶バックモニター+ AM/FM チューナー付 CD プレーヤー

時報に合わせて正時に設定するには

左記の操作で、「その他設定」画面で **[6]** を押し、「時報合せ」画面が表示されているときに、時報と同時に **[6]** を押しします。

下記のように表示されている時間に応じた正時に設定されます。

1:00 ~ 1:29 の場合 → 1:00 に設定

1:30 ~ 1:59 の場合 → 2:00 に設定

時計表示の ON/OFF や時制の切り換え、時計のデザインを変更することができます。

▶ 時計表示 ON/OFF の設定 P.131

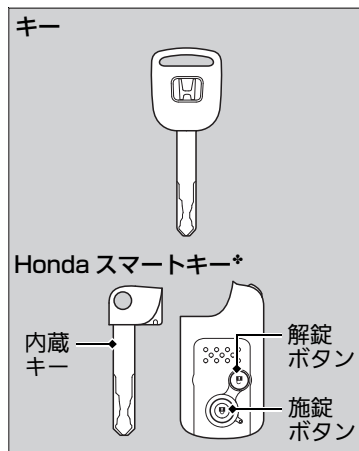
▶ 時制の切り換え P.136

▶ 時計のデザインを変更する P.136

- 安全上の配慮から、走行中は日付の設定操作はできません。
- 時刻および日付の設定操作中に **[スイッチ]** を押すと、前の画面に戻ります。このとき、時刻および日付の設定内容は反映されません。
- 「その他設定」画面が表示されているときや設定操作中に **[MENU]** を押すと、設定モードが解除され、メニュー画面に戻ります。

キーの種類と機能

この車には、以下のキーが付いています。キーの組合せは、車両のタイプにより異なります。



エンジンの始動 / 停止のほかに、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠に使用できます。

また、キーについているボタンで、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠の操作ができます。

■キーの種類と機能

Honda スマートキーシステム装備車

イモビライザーシステムがついています。

イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。

■イモビライザーシステム P.75

キーには、精密な電子部品が組み込まれています。

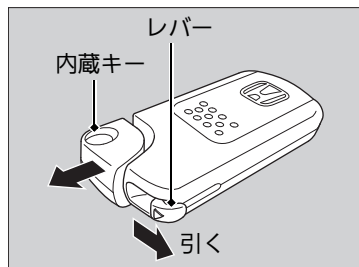
故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

キーの電子部品が故障すると、エンジンの始動やリモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

■ Honda スマートキー*



Honda スマートキーの電池が切れたときや車のバッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。

内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、カチッと音がするまで差し込みます。

Honda スマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーはHonda スマートキーに収納しておいてください。

▣ Honda スマートキー

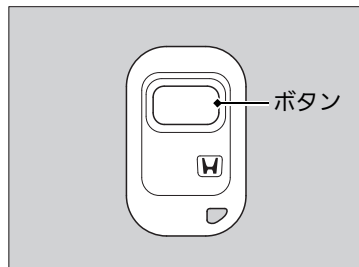
Honda スマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
- 電池交換時以外は分解しない
- 改造しない
- キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

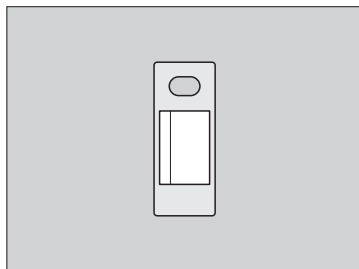
▣ 内蔵キーの差し込みかた P.207

■キーレスエントリー発信器*



ボタンで、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠の操作ができます。

■キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

※キーレスエントリー発信器

キーレスエントリー発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。

故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、高湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 分解をしない

キーレスエントリー発信器の電子部品が故障すると、リモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

※キーナンバータグ

キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。

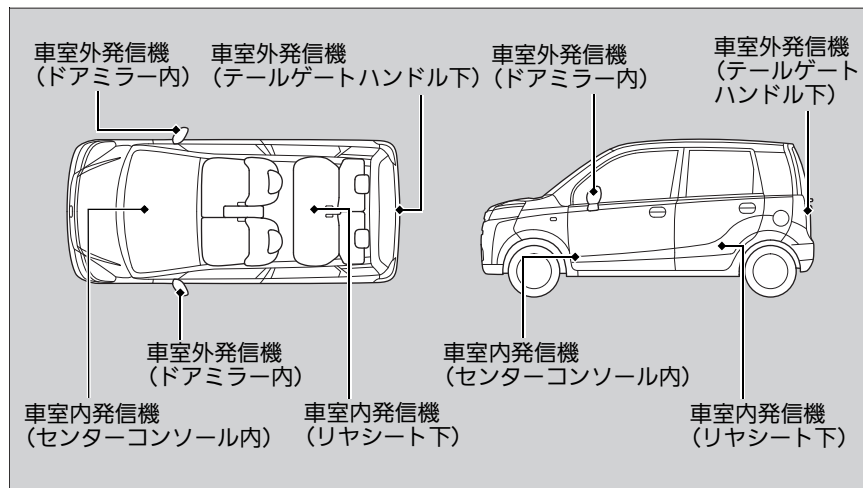
キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda 販売店に依頼してください。

Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠 / 解錠操作をするときやエンジンをかけるとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。

そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



⚠ Honda スマートキーの微弱電波

⚠ 注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用しているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。

Honda スマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約 2 年間です。

また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないください。

車外でのドアの施錠 / 解錠

■キーレスエントリーでの施錠 / 解錠

■ Honda スマートキー

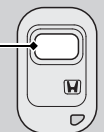
 施錠ボタン

 解錠ボタン



■キーレスエントリー発信器

施錠 / 解錠ボタン



■施錠

施錠ボタンまたは施錠 / 解錠ボタンを押します。

▶非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

■解錠

解錠ボタンまたは施錠 / 解錠ボタンを押します。

▶非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

■キーレスエントリーでの施錠 / 解錠

30 秒以内にドア、テールゲートを開けてください。
キーレスエントリーで解錠操作をした場合、30 秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

解錠すると、室内灯が点灯します。

室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠すると室内灯が点灯します。約30秒点灯し、徐々に暗くなります。30秒以内にキーレスエントリーで施錠すると、室内灯はただちに消灯します。

■室内灯 P.97

キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

次の場合、キーレスエントリーは作動しません。

- エンジンスイッチが **0** 以外のとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき

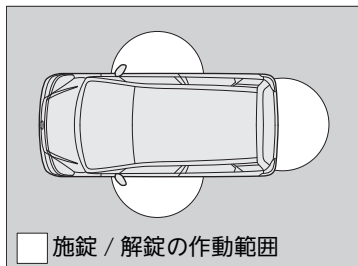
ドア、テールゲートが開いているときは、キーレスエントリーで施錠できません。

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

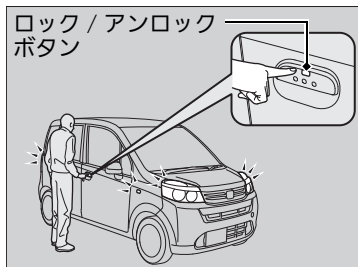
Honda スマートキーは、ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

■電池交換のしかた P.185

■ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠



□ 施錠 / 解錠の作動範囲



ロック / アンロック
ボタン

Honda スマートキーを携帯し、ロック / アンロックボタンを操作することでドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠や解錠を操作します。

ドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠 / 解錠が作動するのは、運転席ドアハンドル、助手席ドアハンドル、テールゲートハンドルから周囲約 80cm 以内です。

■ 施錠するには

運転席ドア、助手席ドアまたはテールゲートハンドルのロック / アンロックボタンを押します。

▶「ピッ」というアンサーバック音が鳴り、非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

■ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠

30 秒以内にドア、テールゲートを開けてください。

Honda スマートキーで解錠操作をした場合、30 秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠されます。

- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもロック / アンロックボタンで施錠 / 解錠操作ができます。
- ロック / アンロックボタンを押した直後にドアハンドルまたはテールゲートハンドルを引くと、ドアが開かないことがあります。ボタンをもう一度押し直して、解錠されていることを確認してからドアハンドルまたはテールゲートハンドルを引いてください。
- ドアハンドルまたはテールゲートハンドルより約 80cm 以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎていると作動しないことがあります。



■解錠するには

運転席ドア、助手席ドアまたはテールゲートハンドルのロック / アンロックボタンを押します。

- ▶「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

※Honda スマートキーでの施錠 / 解錠

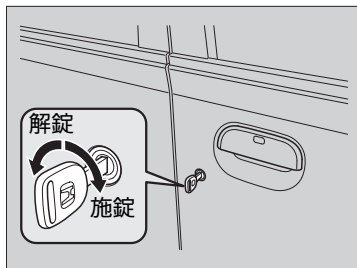
カスタマイズ機能について

施錠 / 解錠時に鳴るアンサーバックブザーの設定は、変更することができます。カスタマイズ機能の詳細は Honda 販売店にご相談ください。

カスタマイズ機能	選択できる設定内容
アンサーバックブザー音量	大※、小
アンサーバックブザー作動	作動※、非作動

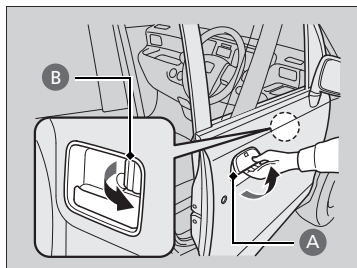
※：工場出荷時の設定

■キーを差し込んでの施錠 / 解錠



キーを確実に差し込んで回します。
Honda スマートキーの場合は、内蔵キーを
取り出して操作してください。

■キーを使わないでの施錠



■運転席のドアの施錠

外側のドアハンドル **A** を引いたまま、ノブ
B を引き出し、ドアハンドルを離してドア
を閉めます。

■運転席以外のドアの施錠

ノブを引き出し、ドアを閉めます。

■キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれていると施錠できません。
Honda スマートキー装備車は、Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置いて
あると、施錠できません。

■キーを差し込んでの施錠 / 解錠

運転席ドアでのキー操作

運転席ドアにキーを差し込んで施錠 / 解錠する
と、ほかのすべてのドア、テールゲート、
フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されま
す。

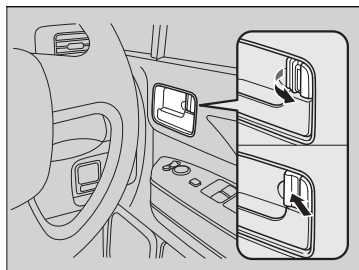
■キーを使わないでの施錠 / 解錠

運転席ドアで施錠すると、

ほかのすべてのドア、テールゲート、フュー
エルリッドも同時に施錠されます。

キー閉じ込み防止のため、キーを持っている
ことを確認してから施錠しましょう。

車内での施錠 / 解錠



■施錠するには

ノブを引きます。

■解錠するには

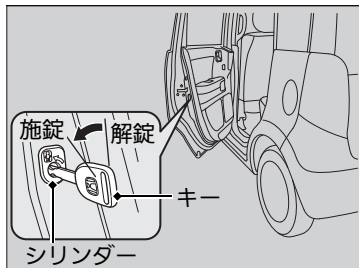
ノブを押し込みます。

チャイルドブーフ

チャイルドブーフとは、走行中などにお子さまが車外に放り出されることを防止するため、ノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けることができないようにする機能です。

お子さまをリヤシートに乗せるときなどにお使いください。

■チャイルドブーフのセット



後席ドアに付いているシリンダーにキーを差し込み、施錠の位置に回してドアを閉めます。

■ドアを開ける場合

外側のハンドルで開けます。

※車内での施錠 / 解錠

運転席ドアのノブで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠 / 解錠されます。

※チャイルドブーフ

チャイルドブーフセット時に車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

テールゲート開閉時の注意

テールゲート開閉をするときは、下記の点に注意してください。

■テールゲートを開けているとき

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
▶途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあります。
- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- テールゲートを開けたまま走行しない。
▶車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

■テールゲート閉めるとき

- キー、キーレスエントリー発信器またはHondaスマートキーを、カーゴスペース内に置き忘れないように注意する。

※テールゲート開閉時の注意



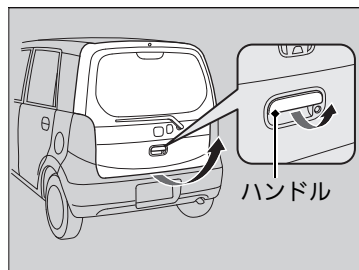
注意

テールゲートを閉めるときは、頭をぶついたり手をはさまないように注意する。

エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。

やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

テールゲートを開ける



解錠されているときに、ハンドルを引き上げます。

❏ テールゲートを開ける

施錠されているときに Honda スマートキーを携帯してテールゲートハンドルのロック / アンロックボタン押すと、解錠します。

❏ Honda スマートキーでの施錠 / 解錠 P.69

運転席ドアを施錠したあとに、テールゲートを閉めると施錠されます。

イモビライザーシステム*

イモビライザーシステムとは、キーに信号を発信する電子部品が組み込まれてあり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用します。エンジンスイッチにキーを差し込むときは、下記の点に注意してください。

- エンジンスイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどをキーと一緒に取り付けない

セキュリティアラームシステム*

セキュリティアラームシステムは、キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーを使わずにドア、テールゲート、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。

■作動すると

ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

■停止させるには

キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠してください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

❖イモビライザーシステム

システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

❖セキュリティアラームシステム

警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、最大 5 分間作動します。
ホーンおよび非常点滅表示灯は、1 回の作動につき約 30 秒間作動し、その警報作動が最大 10 回行われます。

■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- エンジンスイッチを[0]にして、キーを抜く(Hondaスマートキーの場合はプッシュオフにする)
- すべてのドア、ボンネット、テールゲートが閉まっている
- キー、キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで、すべてのドアとテールゲートが施錠されている

■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が長くなります。

■セットを解除するには

キー、キーレスエントリーまたは Honda スマートキーで解錠します。同時に作動表示灯が消灯します。

※セキュリティアラームシステム

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

セキュリティアラームシステムをセットした後にはバッテリーがあがり、バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。

そのときは、キーレスエントリー、Honda スマートキーまたはキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

ウィンドーの開閉

パワーウィンドーの開閉

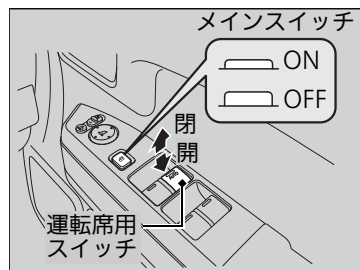
エンジンスイッチが **II** のときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。

開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。運転席のスイッチでは、すべてのウィンドーの開閉操作を行うことができます。

運転席以外のウィンドーの開閉は、運転席のパワーウィンドーロックボタンを OFF にしてから行います。

パワーウィンドーロックボタンを ON にしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、パワーウィンドーロックボタンを ON にしておいてください。

自動開閉機能付きのウィンドーの開閉



■手動開閉

開けるとき：スイッチを軽く押す

閉めるとき：スイッチを軽く引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■自動開閉

開けるとき：スイッチを強く押す

閉めるとき：スイッチを強く引き上げる
自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを軽く上げ / 下げします。

▶パワーウィンドーの開閉

⚠警告

パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。

手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

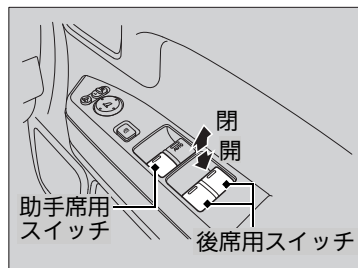
⚠注意

指などをはさみ込まないように注意する。

確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

■ 自動開閉機能なしのウィンドーの開閉



開けるとき：スイッチを押す
閉めるとき：スイッチを引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

▣ パワーウィンドーの開閉

故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。

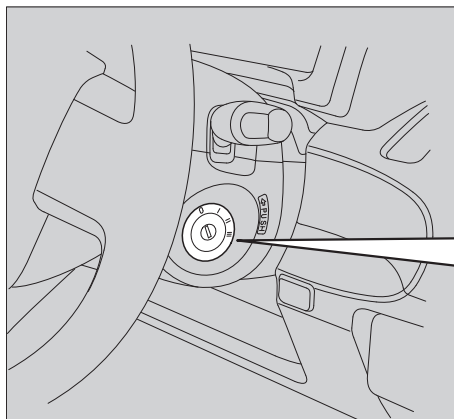
路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

後席(左、右)のウィンドーは、全開しませ
ん。

ハンドルまわりのスイッチ操作

Honda スマートキーシステム非装備車

エンジンスイッチ



- 0 ロック**
キーを抜き差しする位置
- I アクセサリー**
エンジンを始動させずに、オーディオシステムなどのアクセサリを使用するときの位置
- II ON**
運転するときの位置
- III 始動**
エンジン始動位置
始動したら手を離すと、自動的に II に戻ります。

エンジンスイッチ

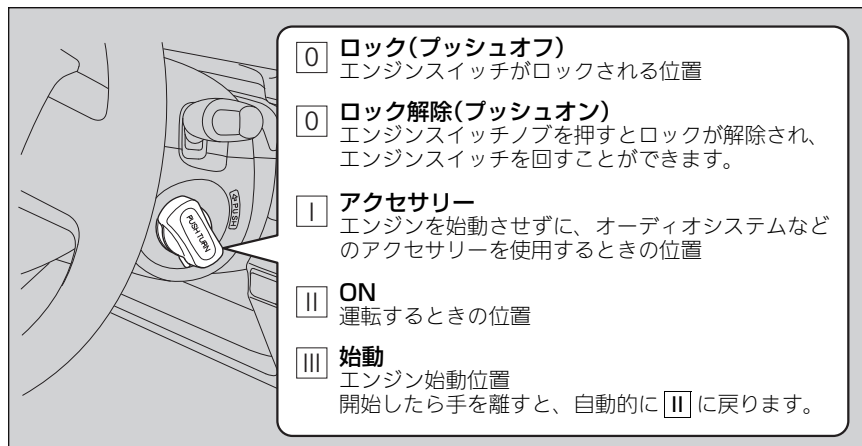
エンジンスイッチが **0** または **I** のときにキーを差し込んだまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警告ブザーが鳴ります。キーを抜いてください。ブザー音が止まります。

エンジンスイッチが **0** から **I** に回らないときは、ハンドルロックを解除します。ハンドルを左右に回しながらキーを回してください。ハンドルロックが解除され、キーが回ります。

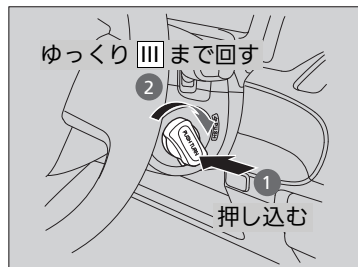
セレクトレバーを **P** に入れないとキーを抜くことができません。

Honda スマートキーシステム装備車

エンジンスイッチ



始動方法

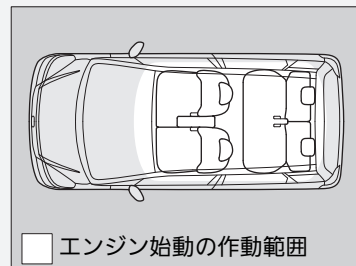


Honda スマートキーの携帯を確認します。

1. エンジンスイッチノブを押す。
▶ エンジンスイッチのロックが解除されると、「ピッ」とブザーが鳴ります。
2. エンジンスイッチを、ゆっくりと III の位置まで回す。

エンジンスイッチ

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れを除く車内です。



Honda スマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチが 0 から I に回らないときは、ハンドルロックを解除します。
ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチノブを押して回してください。ハンドルロックが解除され、エンジンスイッチノブが回ります。

Honda スマートキーが作動不良の場合は、内蔵キーを使って始動します。

❖ キー・内蔵キーの差し込みかた P.207

エンジン停止操作の方法

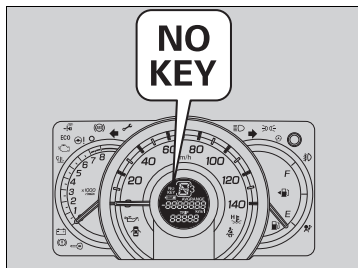
1. セレクトレバーを **[P]** に入れる。
2. エンジンスイッチノブを、ゆっくりと **[0]** まで回す。
▶ エンジンスイッチを **[0]** (プッシュオフ) にすると、ハンドルがロックされます。

エンジンスイッチ警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- エンジンスイッチが **[1]** のとき
- エンジンスイッチが **[0]** で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるとき

Honda スマートキー持ち去り警告



警告ブザーには、車内警告ブザー(ピーッピーッピーッピーッ)と車外警告ブザー(ピピピピピピ)の2種類があります。警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

■エンジンスイッチが **[II]** のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、メーター内に警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

■エンジンスイッチが **[I]** または **[0]** (プッシュオン) のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

■エンジン停止操作の方法

車から離れるときは、エンジンスイッチを **[0]** にしてください。

■Honda スマートキー持ち去り警告

エンジン始動の作動範囲内に Honda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

Honda スマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを **[0] にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。**

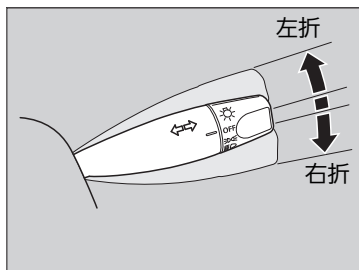
エンジンスイッチを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

Honda スマートキーがエンジン始動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態により Honda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。

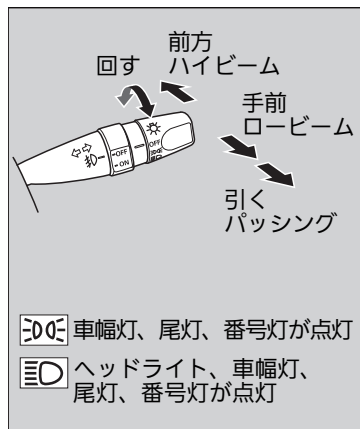
故障ではありませんので、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

方向指示器（ウィンカースイッチ）



エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

ライトスイッチ



スイッチを回すとエンジンスイッチの位置に関係なく、点灯 / 消灯します。

■ハイビーム

カチッと音がするまでレバーを前方に押しします。

■ロービーム

ハイビームのときは、レバーを手前に引きします。

■追越合図(パッシング)

レバーを手前に引き、離します。

※ライトスイッチ

ライトを点灯したままキーを抜く / プッシュオフにすると、運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

メーターにライト点灯の表示マークが出ます。

■表示灯 P.51

ディスチャージヘッドライト* の電球は、点灯 / 消灯を繰り返すと電球の寿命が短くなる特性があります。

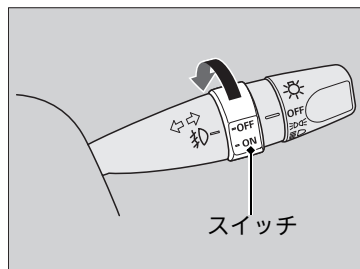
エンジンが停止しているときにライト類を点灯したままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。

※フォグライトスイッチ

フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

■表示灯 P.51

フォグライトスイッチ*

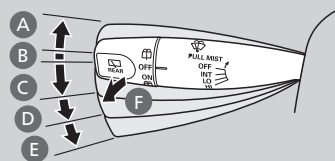


ライトスイッチがOFF以外のときに、フォグライトスイッチを回して点灯することができます。

ワイパー/ウォッシャー

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

■フロントワイパー/ウォッシャー



- A** MIST : (レバーを操作している間作動)
- B** OFF : 停止
- C** INT : 間欠(雨量が少ないとき)
- D** LO : 低速(普通の雨量のとき)
- E** HI : 高速(雨量が多いとき)
- F** ウォッシャー

■MIST

レバーを押し上げている間、作動します。
霧や小雨のときに使用します。

■ワイパースイッチ(OFF、INT、LO、HI)

雨量に応じてワイパースイッチを切り換えて使用します。

■ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

※ワイパー/ウォッシャー



注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。

ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。
ポンプ故障の原因となります。

アドバイス

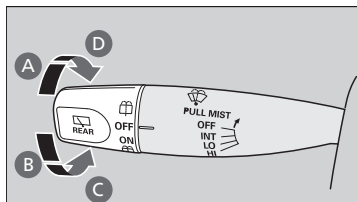
寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。

ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターでフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

ワイパーを乾拭きさせないでください。

ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めます。

■ リヤワイパー / ウォッシャー*



- A ON : 作動
- B OFF : 停止
- C : ウォッシャーのみ作動
- D : ワイパーとウォッシャーが作動

■ リヤワイパースイッチ

エンジンスイッチが **II** のときに使用できます。

■ ウォッシャースイッチ

スイッチを まで回すと、ウォッシャー液が噴射します。

C まで回している間はウォッシャーのみが作動します。

D まで回している間はワイパーとウォッシャーが作動し、スイッチを離すとそのままワイパーが連続作動します。

※ ワイパー / ウォッシャー

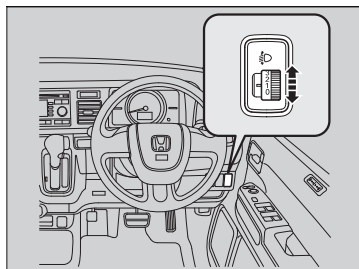
ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。

ワイパースイッチを OFF、エンジンスイッチを **I** または **0** にしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。

ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

ヘッドライトレベリングダイヤル*



エンジンスイッチがⅡのとき、ヘッドライトの照らす方向(光軸)を下向きに調節することができます。

ダイヤルの数字が大きいほど光軸は下向きになります。

■ダイヤル位置の目安

乗員の人数や荷物の量に応じて、下表を目安にダイヤル位置を選択してください。

乗員やカーゴスペースの積載状況	ダイヤル位置
運転席のみ乗車時	0
運転席と助手席に乗車時	0
4名乗車時	1
4名乗車時でカーゴスペース満載時	2
運転席のみ乗車でカーゴスペース満載時	3

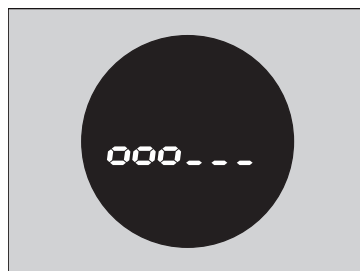
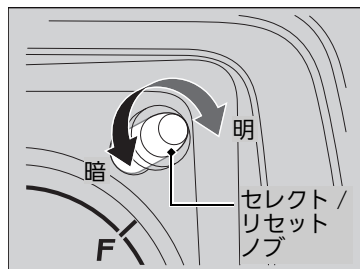
※ヘッドライトレベリングダイヤル

ディスチャージヘッドライト装備車

重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調整するオートレベリング機能が付いています。

ヘッドライト光軸の異常を感じたときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

イルミネーションコントロール*



エンジンスイッチが **II** で、ライトスイッチが **OFF** 以外のおとき、セレクト / リセットノブでメーターの明るさを調節することができます。

明るくする：ノブを右に回す

暗くする：ノブを左に回す

明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。また、明るさの調節後、数秒経過するとディスプレイが元の表示に戻ります。

■明るさ調節表示

セレクト / リセットノブを回すとディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。

000 が右に増えていくほど、メーター照明が明るくなります。

※イルミネーションコントロール

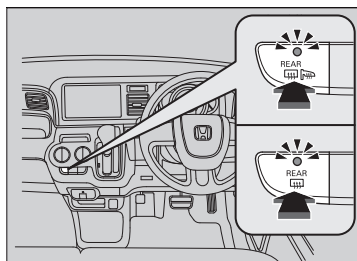
車幅灯が点灯しているおときと消灯しているおときでは、インストルメントパネル照明の明るさは異なります。

ライトスイッチを **30** または **1D** にすると、まぶしさを軽減するためにインストルメントパネル照明が暗くなります。

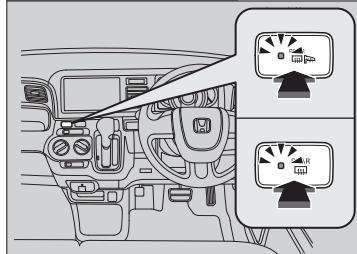
明るさ調節中にセレクト / リセットノブを押すと、ディスプレイは元の表示になります。

車幅灯点灯時に **000** が全て表示されるまでセレクト / リセットノブを回すと、「ピッ」という音がして車幅灯消灯時の設定になります。

リヤデフロスタースイッチ / ヒーテッドドアミラー*スイッチ



オートエアコン装備車



マニュアルエアコン装備車

エンジンスイッチが **II** のときに、リヤガラスとドアミラーを暖め、曇りをとりたいたときに使用します。

スイッチを押すと、システムがONになります。

リヤデフロスタースイッチ / ヒーテッドドアミラースイッチ

アドバイス

リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷付けないよう注意してください。

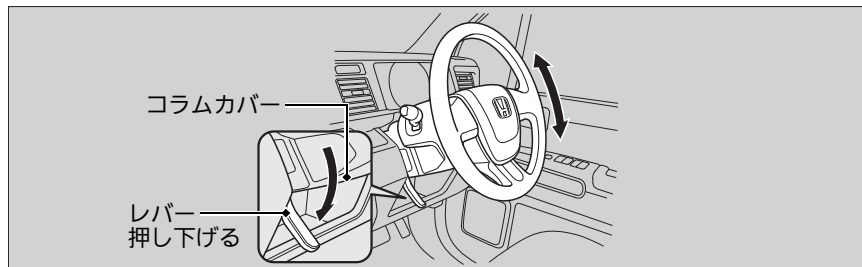
必ず、デフロスターの電熱線とアンテナ線に沿って左右方向に拭いてください。

この装置は消費電力が大きいので、曇りが取れたら OFF にしてください。

また、エンジンの回転数が低いときに長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

ハンドルの調節*

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



1. ハンドル位置調節レバーを押し下げる。
▶ ハンドル位置調節レバーは、ステアリングコラムの左側にあります。
2. ハンドルの高さを調節する。
▶ 調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。
3. ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルを固定する。

▶▶ ハンドルの調節

⚠ 注意

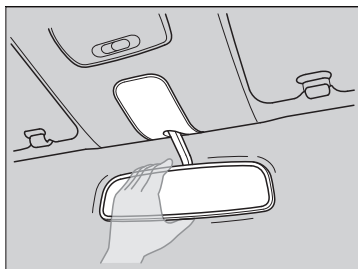
走行中にハンドル位置を調節しない。

走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあります。衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

位置調節後、ハンドルに上下方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

ミラー類の調節

ルームミラー

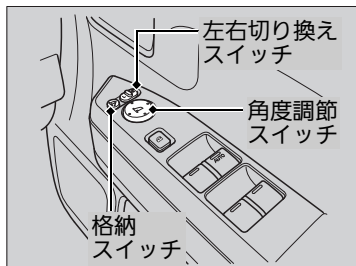


ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢で
すわった位置でミラーを調節してくださ
い。

※ミラー類の調節

ミラー類の調節は走行前に行ってください。

ドアミラー



電動格納ドアミラー装備車

ドアミラーの操作は、エンジンスイッチ
が **II** のときに行います。

■角度調節

左右切り換えスイッチ：右か左を選択する
スイッチです。角度調節後、中央の位置に
戻します。

角度調節スイッチ：上下左右に鏡面を動か
すスイッチです。

■格納

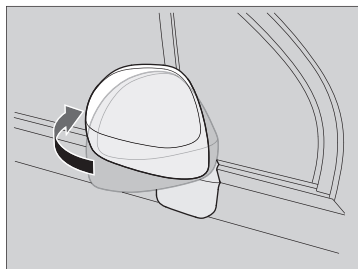
格納スイッチを押すごとに ON と OFF が切
り換わります。

※ドアミラー

エンジンスイッチが **0** または **I** のときは、
手動で格納、開放をすることもできます。

	格納スイ チの状態	ミラーの 状態
ON		
OFF		





電動格納ドアミラー非装備車

■角度調節

鏡面は、手で直接調節します。

■格納

ミラーを車両後方に折りたたみます。
走行するときは必ず元に戻してください。

■アクアクリンミラー*

雨天時の視認性向上のため、ミラー表面に付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングを施しています。

■親水効果の回復

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、以下の手順を行うことにより効果が回復します。

1. ミラー表面を水洗いし、汚れを落とす。
2. 水を含ませたきれいな布で拭き取る。

▶汚れが落ちない場合は純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤を使用して洗淨後、十分な水で洗い流してください。

3. 5～9 時間ほどミラー表面に太陽光を当てる。

▶▶ アクアクリンミラー

アドバイス

ミラーの親水効果が失われますので、以下の点にご注意ください。

- ミラー表面に撥水剤やワックスを付着させない
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらない

シートの調節

フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

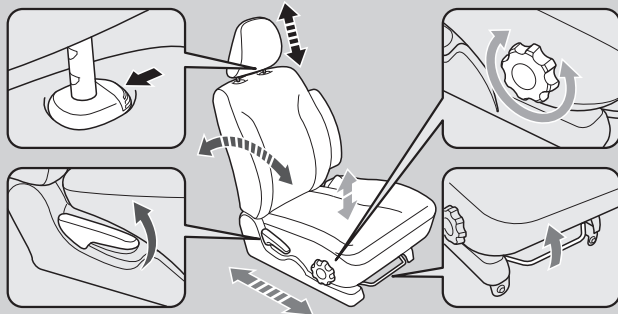
■フロントシート / ヘッドレストの動かし方

■ヘッドレストの調節

- 高くするときは、引き上げる
- 低くするときは、ノブを押しながら下げる

■高さの調節*

ダイヤルを回し、高さを調節



■背もたれの調節

レバーを引き上げながら調節

■前後位置の調節

レバーを引き上げながら、前後位置を調節

※フロントシート / ヘッドレストの動かし方

⚠ 注意

走行中にシートの調節はしない。

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

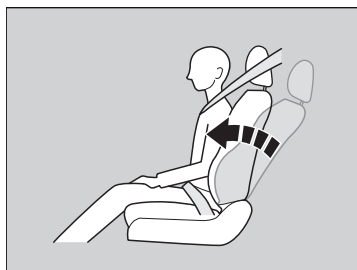
フロントシートの下にもものを置かない。

ものがはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

■ フロントシートの調節



■ シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。

助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードのSRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。

シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。

■ 背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。

助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

▶▶ フロントシートの調節

⚠ 警告

SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。

ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

背もたれを必要以上に倒さない。

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

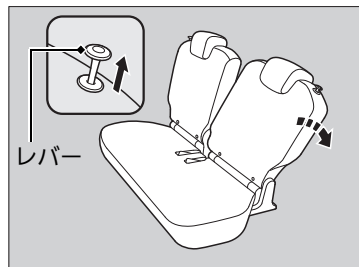
⚠ 注意

背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

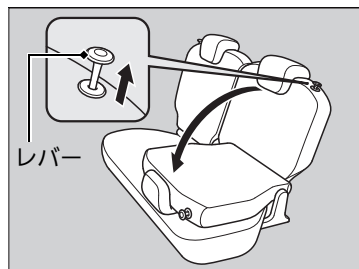
リヤシート

■ 背もたれの調節



背もたれは、左右別々に調節することができます。
レバーを引いて、背もたれの角度を調節します。

■ 背もたれの倒しかた



背もたれは、左右別々に倒すことができます。
レバーを引いて、背もたれを前に倒します。

シートを元に戻したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。

※リヤシート

⚠ 警告

背もたれを必要以上に倒さない。

背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

⚠ 注意

走行中にシートの調節はしない。

走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

ヘッドレスト

■ フロントシートヘッドレストの調節

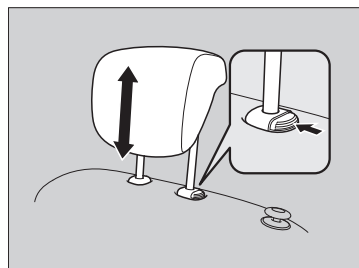


後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

■ リヤシートヘッドレストの位置変更



乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

▶ フロントシートヘッドレストの調節



警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。

ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

▶ リヤシートヘッドレストの位置変更



警告

ヘッドレストを下げた状態で走行しない。

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

■ヘッドレストの取り外しと取り付け

ヘッドレストは、掃除や修理のために取り外すことができます。

ヘッドレストの取り外し：

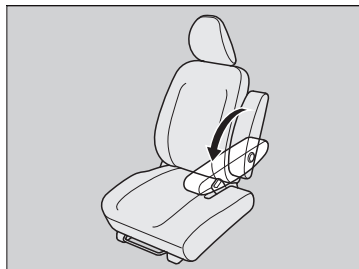
ヘッドレストを引き上げ、ノブを押して取り外します。

ヘッドレストの取り付け：

ヘッドレストの脚を元の位置に差し込んでください。ノブを押しながらヘッドレストの位置を適切な位置に合わせてください。ヘッドレストを軽く上下させ、確実に固定します。

アームレスト*

■フロントシートアームレストの操作



前に倒して使います。

※アームレスト

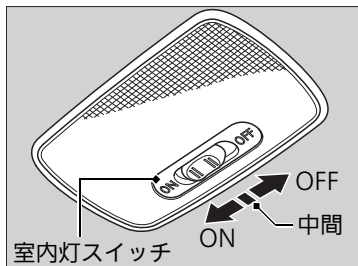
⚠ 注意

シートベルト着用時にアームレストに引っ掛けない。

万一のときにシートベルトの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

室内灯

室内灯スイッチ



室内灯の点灯と消灯の切り換えは、以下のようになります。

ON	ドア、テールゲートの開閉に関係なく室内灯を点灯
中間 (ドア連動)	以下のときに室内灯を点灯 • いずれかのドアまたはテールゲートを開けたとき • エンジンスイッチからキーを抜いたとき • Hondaスマートキー装備車は、エンジンスイッチを 0 (プッシュオフ)にしたとき • キー、キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで運転席ドアを解錠したとき
OFF	ドア、テールゲートの開閉に関係なく室内灯を消灯

室内灯

室内灯は、ドアを閉めると約 30 秒後に消灯します。

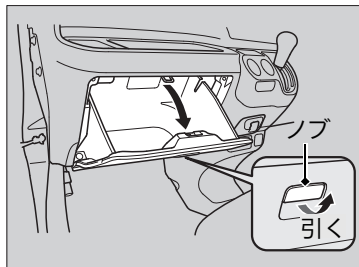
以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。

- 運転席ドアを施錠したとき
- エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態でドア、テールゲートを閉めたとき
- Honda スマートキーを使っているときは、エンジンスイッチが **0** (プッシュオフ)以外の状態でドア、テールゲートを閉めたとき
- エンジンスイッチを **II** にしたとき

キーが差し込まれていない状態、Honda スマートキーシステム装備車の場合はエンジンスイッチが **0** (プッシュオフ)のときにいずれかのドアを開けたままにすると、約 15 分後に消灯します。

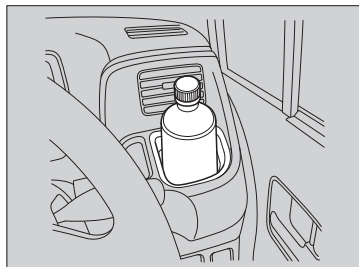
室内装備品

■グローブボックス



ノブを引くと開きます。

■カップホルダー



■フロントシート用カップホルダー

※グローブボックス

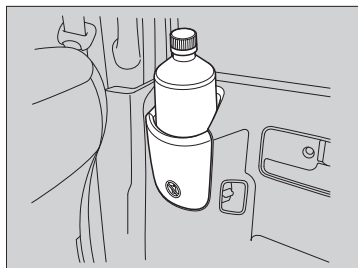
⚠ 警告

走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

※カップホルダー

⚠ 注意

飲みものなどを電装品にこぼさないように注意する。
スイッチなどの電装品に飲みものがかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

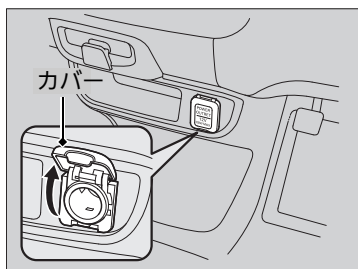


■リヤシート用カップホルダー

※カップホルダー

お手入れはやわらかい布で拭き取ります。

■アクセサリソケット



エンジンスイッチが **I** また **II** はのときに使用できます。

カバーを開けて使います。

※アクセサリソケット

アドバイス

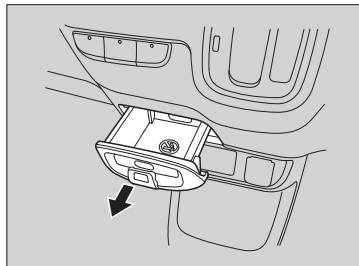
シガレットライターは差し込まないでください。

発熱するおそれがあります。

消費電力 120W(10A)以下のアクセサリに、直流 12V の電源を供給します。

バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。

■ユーティリティボックス*



引き出して使います。

※ユーティリティボックス



注意

灰皿として使用しない。

灰皿として使用すると、タバコなどの火により、車両火災につながるおそれがあります。

■ コンビニフック

■ センターパネル



■ 助手席ドア



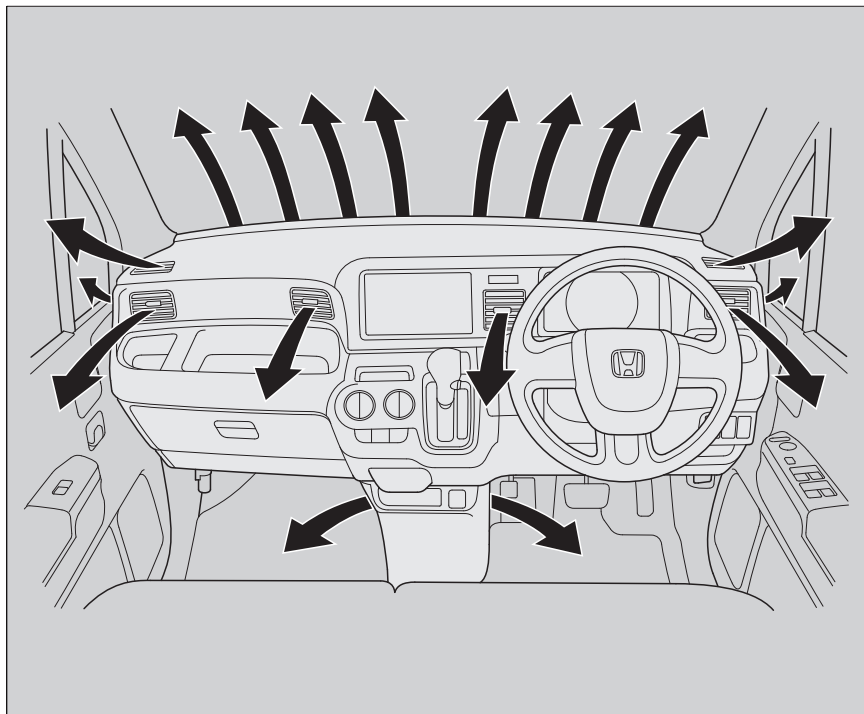
軽い荷物をかけることができます。

※ コンビニフック

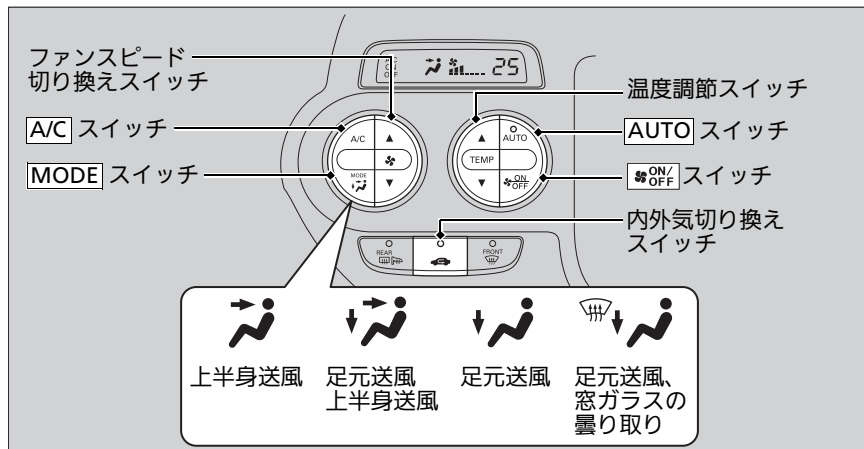
■ アドバイス

コンビニフックが破損するおそれがありますので、重いもの(約 3kg 以上)や大きなものをかけないでください。

エアコンの吹き出し口



オートエアコン*の使いかた



エンジンを始動してから使用します。

1. **AUTO** を押す。
2. 温度調節スイッチで温度を調節する。
3. 停止するときは、**ON/OFF** を押す。

■内気 / 外気の切り換え

状況に合わせて  を押して、内気 / 外気を切り換えてください。

- ・ 内気(表示灯点灯)：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- ・ 外気(表示灯消灯)：換気を行う場合

※オートエアコンの使いかた

オート(AUTO)で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。

このとき **AUTO** の表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、**AUTO** を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

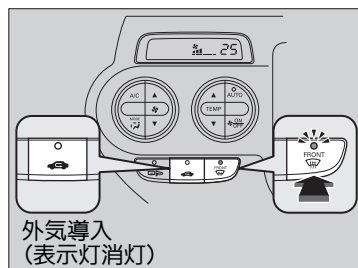
設定温度表示で「LO」は最大冷房を、「HI」は最大暖房を示します。

ON/OFF を押すたびに ON や OFF に切り換わりません。ON すると OFF する前の状態に戻ります。

■除湿暖房

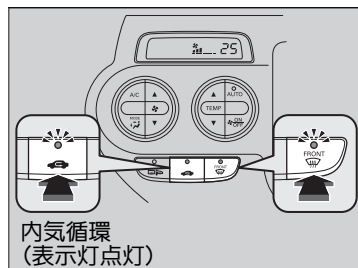
暖房中に **A/C** を押すと、除湿暖房となります。

■前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた



FRONT を押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。

FRONT をもう一度押すと曇り止めが停止し、前の状態に戻ります。



■急速に霜を取りたいとき

1. **FRONT** を押す。
2. **内気循環** を押す。

▶▶ 前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

設定温度を最大冷房付近にしないでください。

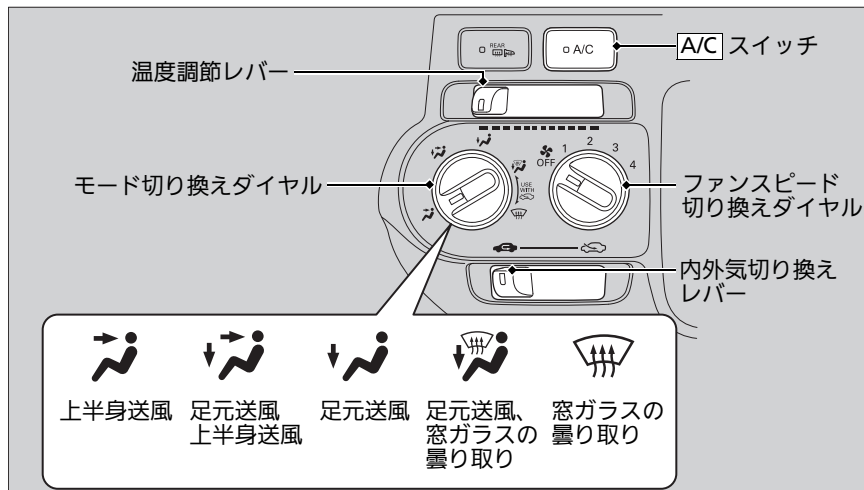
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。

内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

マニュアルエアコン* の使いかた



エンジンを始動してから使用します。

1. ファンスピード切り換えダイヤルで風量を調節する。
2. モード切り換えダイヤルで吹き出し口を選ぶ。
3. 温度調節レバーで吹き出し風の温度を調節する。
4. 冷房や除湿暖房をするときは、**A/C** を押す。
5. 停止するときは、ファンスピード切り換えダイヤルを **OFF** にする。

■内気 / 外気の切り換え

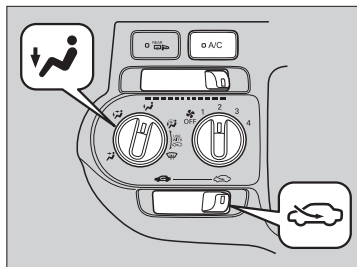
状況に合わせて、内外気切り換えレバーを操作して内気 / 外気を切り換えてください。

- ・ 内気 : トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
- ・ 外気 : 換気を行う場合

❖ : タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

次ページに続く

■暖房のしかた



暖房はエンジンの熱を利用して、車内の空気を暖めます。

1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. に切り換える。

■急速に車内を暖めたいとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルを最強()にする。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーを最大温風にする。
4. に切り換える。

■曇り止め暖房をしたいとき

エアコンをONにすると除湿暖房ができます。外気が除湿され、乾燥した空気で車内を暖めるので、曇り止めに役立ちます。

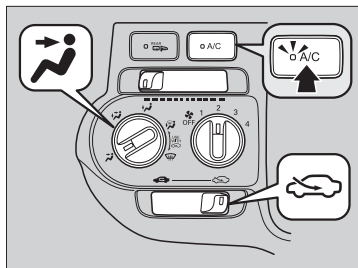
1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. を押す。(表示灯点灯)
5. に切り換える。

▶暖房のしかた

急速暖房で車内が暖まったら、ただちに外気導入に切り換えてください。

内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

■冷房のしかた



1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. を押す。(表示灯点灯)
5. に切り換える。

■急速に車内を冷やしたいとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルを最強()にする。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーを最大冷風にする。
4. を押す。(表示灯点灯)
5. に切り換える。

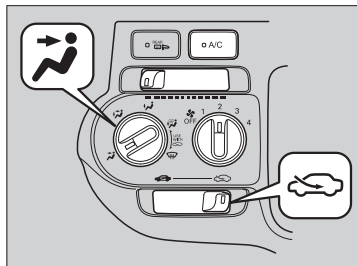
■冷房のしかた

急な上り坂などでは、走行性能を優先するため、エアコンが作動しないことがあります。

炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

急速冷房で車内が冷えたら、ただちに外気導入に切り換えてください。
内気循環で使い続けると車内の空気が汚れます。

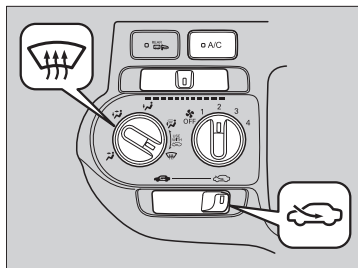
■換気のしかた



空気取り入れ口から外気を取り込み、車内の空気を循環させて後部のサイドパネル付近の排出口から排出し、換気します。

1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーを最大冷風付近にする。
4. に切り換える。

■ 前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた



1. ファンスピード切り換えダイヤルを回し、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. に切り換える。

■ 急速に霜を取りたいとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルを最強()にする。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーを最大温風にする。
4. に切り換える。

■ 湿度の高いとき

1. ファンスピード切り換えダイヤルで、希望の風量に調節する。
2. モード切り換えダイヤルをにする。
3. 温度調節レバーで希望の温度に調節する。
4. を押す。(表示灯点灯)
5. に切り換える。

■ 前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。

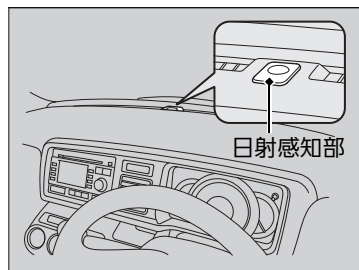
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

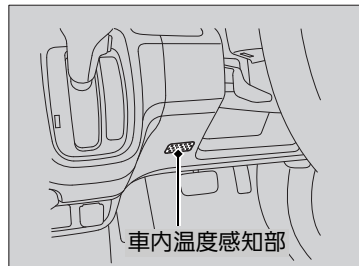
エアコンをONにしているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。

冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

オートエアコンのセンサー*



オートエアコンには、センサー(日射感知部、車内温度感知部)が付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。



オーディオ

この章では、ラジオや CD プレーヤーなどの操作方法について記載しています。



オーディオ装置

取り扱いについて 112

アンテナ 113

バックモニター+AM/FMチューナー付CDプレーヤー*

各部の名称 114

基本操作 116

ラジオの使いかた 119

CD プレーヤーの使いかた 123

ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続 128

その他の設定 131

取り扱いについて

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全の妨げとなります。
- 運転中のオーディオ操作は、安全に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うと、オーディオに雑音が入ることがあります。

■ラジオの受信状態について

ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

■ディスクについて



ディスクの取り扱いにあたっては、以下の点にご注意ください。

- 左記マークのついているディスクを使用してください。
- ディスクは円形のものを使用してください。
- ディスクの信号面(記録面)を、直接手で触れないでください。
- 直射日光の当たるところを避けて保管してください。

※ディスクについて

CD-R/CD-RWをご使用の場合、以下の点にご注意ください。

- CD-R/CD-RWは、録音に使用したレコーダーやディスクの状態により、再生できない場合があります。
- ビデオCDやDVDのディスクには対応していないため、再生できません。

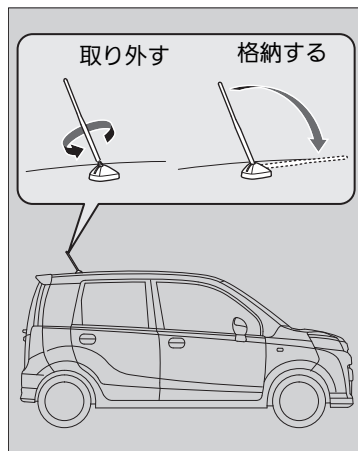
寒いときや雨天のときにプレーヤーの内部が結露して、正しく作動しないことがあります。

その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿してからお使いください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

アンテナ

■ マイクロアンテナ*



マイクロアンテナは格納、取り外しができます。
ラジオやテレビを受信するときは、アンテナを節度感のあるところまで立ててください。

※ アンテナ

アンテナの破損を防ぐために、次のような場合は、アンテナを格納してください。

- 駐車場の天井などにアンテナが当たるとき
- ボディーカバーをかけるとき
- 自動洗車機を使用するとき(マニュアルアンテナのみ)

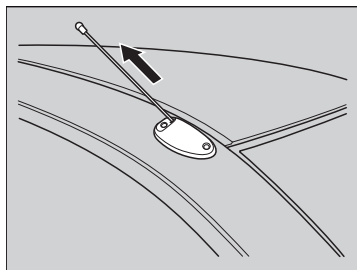
※ マイクロアンテナ

アドバイス

自動洗車機を使用するときは、アンテナを取り外してください。

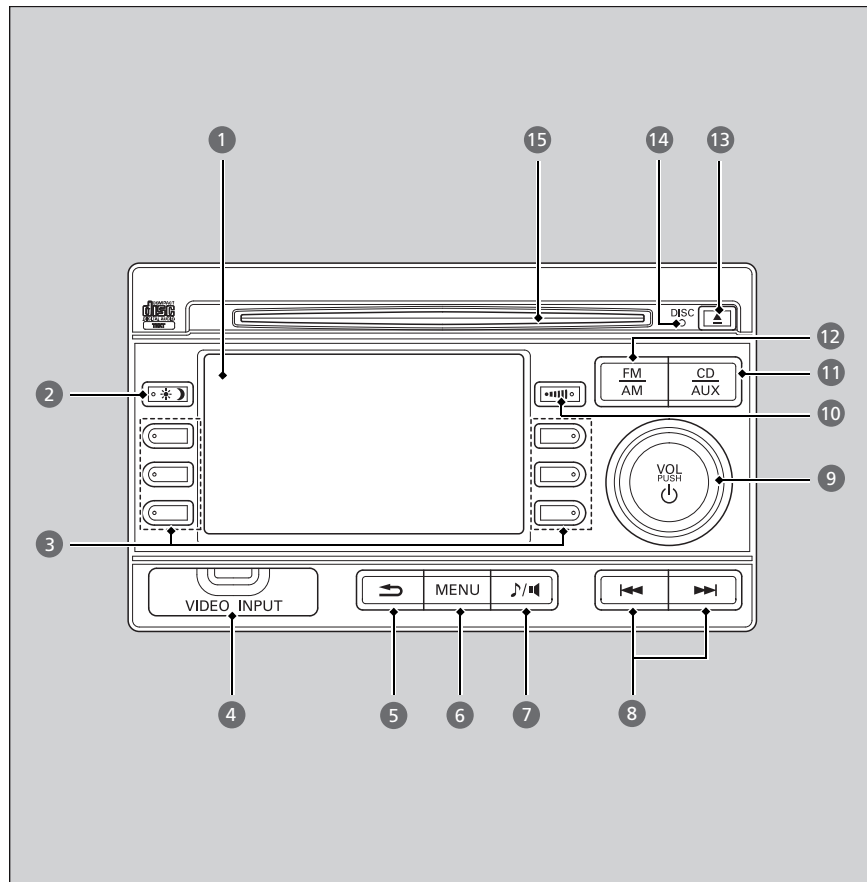
アンテナを格納した状態で自動洗車機を使用すると、アンテナが破損することがあります。また、取り外したアンテナは紛失しないようにしてください。

■ マニュアルアンテナ*



ラジオを聞くときは、アンテナをいっぱいまで伸ばしてください。

各部の名称



① 画面

選択中のラジオ局、演奏中の CD などの情報と、時計が表示される画面です。

② スイッチ

バックライトの昼間 / 夜間の切り換えや、画面表示を消すときに押します。

③ スイッチ

各項目や画面によって、割り当てられるはたらきが変わるスイッチです。
画面と対応しているので、画面内の選択したい項目を選ぶときに押します。

④ AV 入力端子

ビデオ機器などを接続します。

⑤ スイッチ

前の画面に戻るときに押します。

⑥ スイッチ

メニュー画面を表示させるときに押します。

⑦ スイッチ

音質、バランスの調整、車速連動音量の設定をするときに押します。

⑧ スイッチ

ラジオ局を探すときや、CD の聞きたい曲を探すときなどに押します。

⑨ 電源 / 音量ダイヤル

電源：オーディオ装置の電源を入れるときに押します。

音量：音量を調整するときに回します。

⑩ スイッチ

交通情報を聞くとともに押します。

⑪ スイッチ

CD：CD を聞くとともに押します。

AUX：ビデオを見るとときや、Honda 純正の USB アダプターを装着しているときに押します。

⑫ スイッチ

ラジオを聞くとともに押します。

⑬ スイッチ

CD を取り出すときに押します。

⑭ ディスクインジケータ

CD を挿入すると点灯します。

⑮ CD 挿入口

CD のレーベル面を上にして挿入します。

※各部の名称

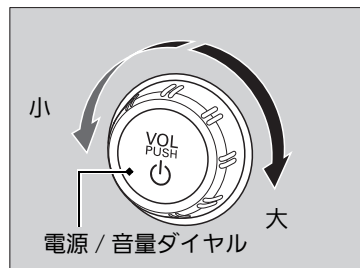
画面は、傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすらないでください。

画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

Honda 純正オプションの取り扱いについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

基本操作

オーディオ装置はエンジンスイッチが **I** または **II** のときに使用できます。



■オーディオ装置の ON/OFF

電源 / 音量ダイヤルを押すと電源が ON になり、もう一度押すと OFF になります。

■音量の調節

電源 / 音量ダイヤルを回して、音量を調節します。

▶▶ 基本操作

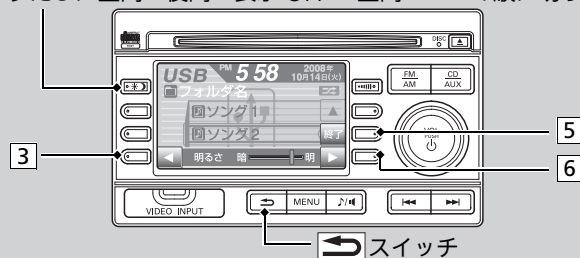
FM/AM、**CD/AUX** を押しても電源が ON になります。

画面の明るさの調節

画面の明るさを昼間(車幅灯消灯時)と夜間(車幅灯点灯時)にわけて、別々に調節できます。また、画面の表示を全て消すことができます。

☀️/🌙 スイッチ

スイッチを押すたびに昼間→夜間→表示 OFF→昼間・・・の順に切り換わります。



- ☀️/🌙 を押す。
▶スイッチを押して、昼間時設定、夜間時設定、表示 OFF を切り換えます。
▶昼間時設定または夜間時設定のとき、明るさ調節画面が表示されます。
- 3、6 を押して調節する。
明るくする：6 を押す
暗くする：3 を押す
▶明るさが最大 / 最小になると電子音が鳴ります。
- 調節終了後は、5 または 5 を押す。

画面の明るさの調節

オーディオの電源が OFF のときにも、調節できます。

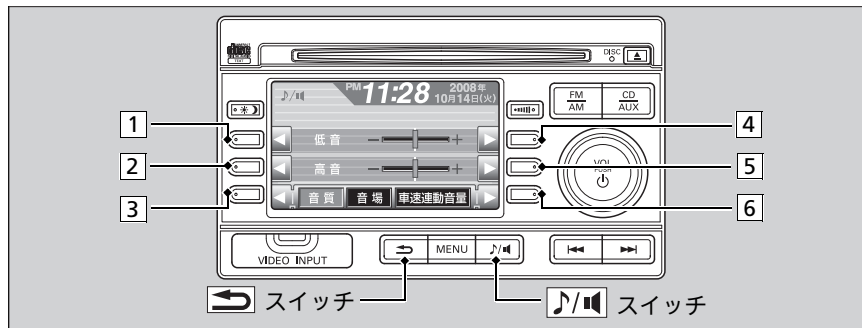
ヘッドライトが点灯しているときと消灯しているときでは、画面の明るさは異なります。ライトスイッチを ☀️ または 🌙 にすると、まぶしさを軽減するために画面が暗くなります。

スイッチ操作をせずに約5秒が経過すると、自動的に明るさ調節モードが終了します。

消えた画面を再び表示させるときは、再度 ☀️/🌙 を押します。

調節終了後は、ライトスイッチの位置に関係なく、調節を終了したときの画面(昼間 / 夜間)が表示されます。その後、ライトスイッチを操作すると、通常のライトスイッチに連動した表示に戻ります。

■ 音質、バランスの調節、車速連動音量の調節



1. を押す。
2. 画面に従い 、 を押して、項目を選択する。
▶ 音質、音場(バランス)調節、車速連動音量の調節ができます。
▶ 項目に応じて画面が切り換わります。
3. 画面に従い、、、、 を押して調節する。
4. 調節終了後、 または を押す。
▶ または を押すと、前の画面に戻ります。

▶▶ 音質、バランスの調節、車速連動音量の調節

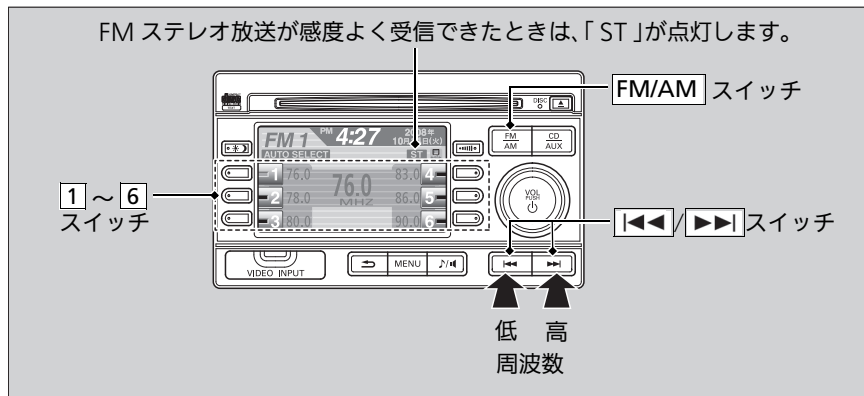
車速連動音量は、車の速度に応じて音量を自動調節する機能です。

- **HIGH** : 車速に応じた音量変化を大きくするとき
- **MID** : 工場出荷時の設定
- **LOW** : 車速に応じた音量変化を小さくするとき
- **OFF** : 機能を解除するとき

リヤ用スピーカーはタイプ別装備です。

スピーカーが装備されていない場合も、前後バランスの設定画面は表示されます。

ラジオの使いかた



1. **FM/AM** を押してバンドを選ぶ。
▶ スイッチを押すごとに、FM1 → FM2 → AM → FM1 と切り換わります。
2. 選局する。

■ワンタッチ選局

1 ~ **6** を押すと、設定されている放送局が選曲されます。

➡ 放送局の登録 P.120

■手動選局

◀◀ または ▶▶ を押すと、受信周波数が少しずつ変化します。

■自動選局

◀◀ または ▶▶ を押し続けると放送局サーチ画面に切り換わります。画面が変わったらスイッチから手を離します。自動的に電波を探し(スキャン)、放送を受信すると止まります。

次ページに続く

▶ラジオの使いかた

FM ステレオ放送が感度よく受信できたときは、画面に「ST」と表示されます。

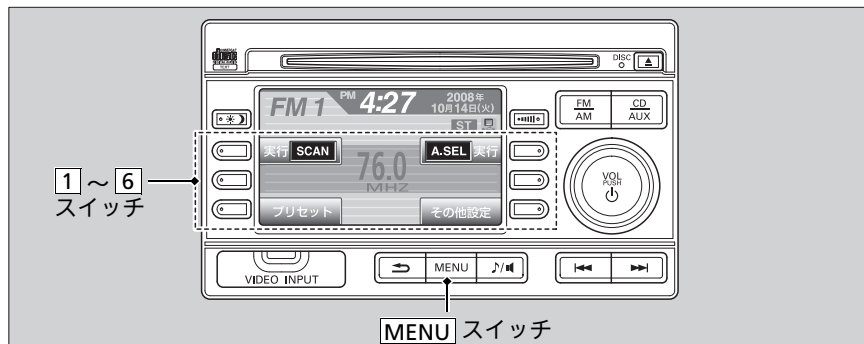
AM 放送はステレオ受信ができません。

受信電波が弱いと、自動選局では選局できないことがあります。

このようなときは、 /  の手動選局で選局してください。

■放送局の登録

AM6局、FM12局(FM1、FM2 それぞれ6局)を登録できます。



■手動で放送局を登録する(プリセット)

1. **MENU** を押して、ラジオのメニュー画面を表示させる。
2. **[3]** を押す。
▶プリセット画面が表示されます。
3. **[1<<]** または **[>>1]** で選局する。
4. **[1] ~ [6]** のいずれかを押す。
5. 続けて登録する場合は、**3、4** の操作を繰り返す。
6. メニュー画面に戻るときは、**MENU** または **[↶]** を押す。

▶▶放送局の登録

メニュー画面を表示させなくても、放送局を登録できます。

ラジオを聞いているときに **[1] ~ [6]** を「ピッ」と音が鳴るまで押すと、メニュー画面を表示させなくても放送局を登録することができます。

プリセット画面が表示されているときに **[FM/AM]** を押すと、バンドが切り換わり、プリセットモードが解除されます。

[6] を押すと、「その他設定」画面に切り換わります

▶▶ その他の設定 P.131

■自動で放送局を登録する(オートセレクト)

1. **[MENU]** を押して、ラジオのメニュー画面を表示させる。
2. **[4]** を押す。
 - ▶放送局サーチ画面に切り換わり、周波数の低い順から、AM6局、FM12局を自動的に登録します。
 - ▶登録が終了すると画面に「AUTO SELECT」が表示され、通常のラジオ画面に戻ります。
 - ▶オートセレクトを中止するときは、もう一度 **[4]** を押します。

■オートセレクトの解除

オートセレクトを解除すると、登録した放送局(周波数)はオートセレクトをする前の状態に戻ります。

1. **[MENU]** を押して、メニュー画面を表示させる。
2. **[4]** を押す。(「AUTO SELECT」が消灯)

放送局を探して受信する(スキャン)

1. **[MENU]** を押して、ラジオのメニュー画面を表示させる。
2. **[1]** を押す。
 - ▶放送局サーチ画面に切り換わり、受信可能な放送局を周波数の低い順から約 10 秒間ずつ放送します。
3. 聞きたい放送局を受信したら、もう一度 **[1]** を押す。

※放送局の登録

受信できる放送局がFM12局、AM6局より少ないとき、残りのスイッチには記憶されません。

記憶されていないスイッチを押すと、周波数が「0」と表示されます。

通常のラジオ画面のとき、オートセレクトした放送局を、個別に変更することができます。

[◀◀] または **[▶▶]** で選局し、**[1]** ~ **[6]** を押して登録します。

▶ **手動で放送局を登録する(プリセット)** P.120

■ 交通情報の受信

1.  を押す。(インジケーターが点灯)

▶ 周波数(1620kHz/1629kHz)の切り換えは、**[1]**、**[2]** または  /  で行います。

2. 解除するときは、 または  を押す。

▶ 他のモードに切り換えたときも解除されます。

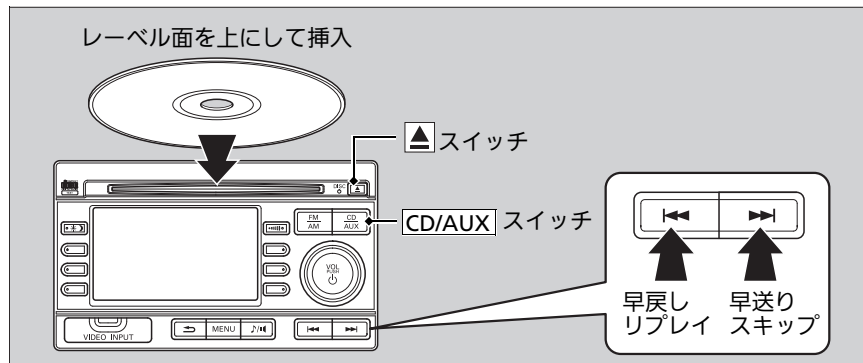
■ 交通情報の受信

 を押して交通情報を受信しているときは、**[1]**～**[6]** によるワンタッチ選局はできません。

交通情報を解除してから **[1]**～**[6]** を押してください。

CD プレーヤーの使いかた

CD を再生することができます。



※CD プレーヤーの使いかた

8cm CD を使用するときは、アダプターを使用せずそのまま挿入してください。

CD やプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、CD が押し出されたまま約 10 秒間経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

■ CD の再生

1. CD をレーベル面を上にして挿入する。CD がすでに入っているときは、**CD/AUX** を押す。
▶CD を途中まで入れると、自動的に CD が引き込まれます。

■ CD の取り出し

1. **▲**を押す。
2. CD を取り出す。

■再生中の操作

■早送り / 早戻し

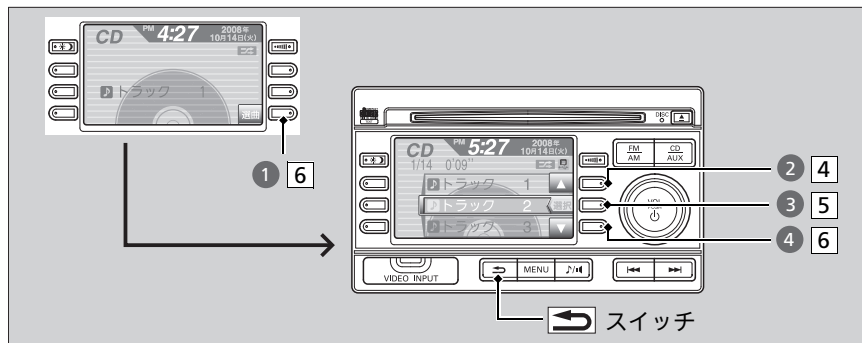
 または  を押し続ける

■スキップ / リプレイ

 または  を押す。

- ▶リプレイ (再生中の曲または前の曲の頭出し)、スキップ (次の曲の頭出し) になります。

■リストによる選曲



1. [6] を押して、選曲リストを表示させる。

2. [4]、[6] を押して選曲する。

リストアップ：[4] を押す

リストダウン：[6] を押す

3. 聞きたい曲が表示されたら、[5] を押して選択する。

▶通常の CD 再生画面に戻り、選択した曲が再生されます。

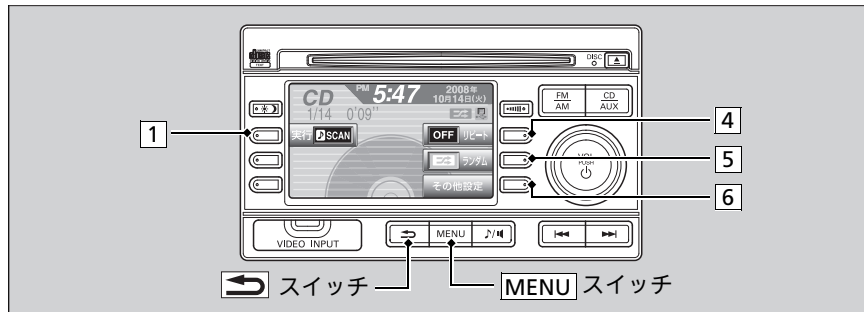
▶リスト選曲を解除し、通常のCD再生画面に戻るときは、[スイッチ] を押します。

▶再生中の操作

CD-TEXT 対応のデータが含まれる CD を再生すると、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示されます。

選曲リストは安全上の配慮から、停車時のみ表示します。走行中は [4]、[6] による操作で選択中の曲だけが表示されます。

聞きたい曲を探すとき(スキャン)



1. **[MENU]** を押して、CD のメニュー画面を表示させる。
2. **[1]** を押す。
▶スキャン画面に切り換わり、各トラックの始めを約 10 秒間ずつづつづに再生します。
3. 聞きたい曲のところで、もう一度 **[1]** を押す。

演奏中の曲を繰り返し聞くととき(リピート)

1. **[MENU]** を押して、CD のメニュー画面を表示させる。
2. **[4]** を押すたびにリピートの ON/OFF が切り換わる。
3. **[5]** または **[MENU]** を押して、通常の CD 再生画面に戻る。
▶リピート再生中は画面にリピートアイコンが表示されます。
4. リピート機能を解除するときは、**1～3** の操作を繰り返す。

聞きたい曲を探すとき(スキャン)

すべての曲のスキャン再生が終わると、スキャンを開始した曲から通常の演奏になります。

[6] を押すと、「その他設定」画面に切り換わります

▶ **その他の設定** P.131

曲順をランダムに再生するとき

1. **MENU** を押して、CD のメニュー画面を表示させる。
2. **5** を押すたびに、ランダムの ON/OFF が切り換わる。
3. **←** または **MENU** を押して、通常の CD 再生画面に戻る。
▶ランダム再生中は画面にランダムアイコンが表示されます。
4. ランダム機能を解除するときは、**1～3** の操作を繰り返す。

CD プレーヤーのエラーメッセージ

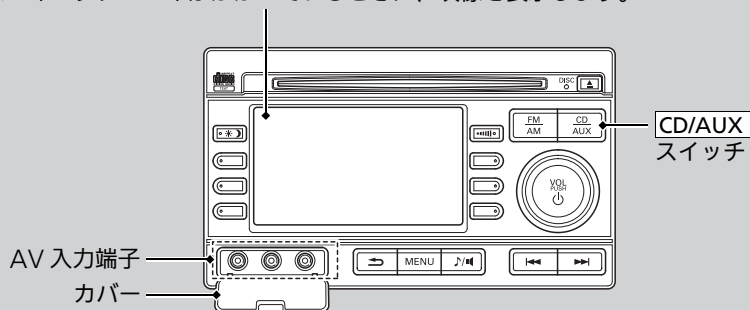
画面にエラーメッセージが表示された場合は、下表にしたがって点検してください。

画面	原因	対処のしかた
再生できないディスクです ディスクをお確かめください	ディスクの読み込みができない(露つき、傷、汚れ、ディスクが裏返し、対応していないファイル形式で記録されているなど)	• 汚れを拭き取ってください。 • ディスクを確認してください。 • ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。
異常検知で停止中です	ディスクの取り出しができない等、機械的な不具合	Honda 販売店で点検を受けてください。
高温のため停止中です	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態	ディスクを取り出し、内部の温度が下がるまでお待ちください。

ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続

AV 入力端子にポータブルオーディオやビデオ機器などを接続することができます。

パーキングブレーキがかかっているときに、映像を表示します。



■接続のしかた

1. AV 入力端子のカバーを開ける。
2. ビデオ機器などのジャックを、AV 入力端子の同色の端子に差し込む。

■AUX モードへの切り換え

1. **CD/AUX** を押す。

▶▶ ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続

ポータブルオーディオやビデオ機器などを接続する場合は別売りの VTR コードが必要になります。ポータブルオーディオやビデオ機器のご使用については、Honda 販売店にご相談ください。

AV 入力端子の音声入力、ステレオ方式です。

AUX モード中は、スイッチ操作をせずに約 5 秒が経過すると、画面上部の時計表示が自動的に消えます。

時計表示を ON に設定している場合も、時計は表示されません。

■ その他の設定 P.131

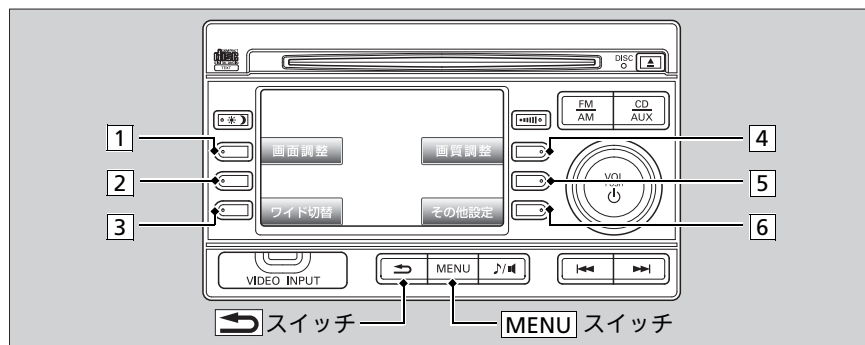
ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけ見ることができます。停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

AUX モード画面の設定

AUX モードのときに **MENU** を押すと AUX のメニュー画面が表示され、画面や画質の調整、画面表示サイズの設定ができます。

▶AUXメニューが表示されているときに **←** または **MENU** を押すと、通常の AUX 画面に戻ります。



画面表示サイズの設定

1. **3** を押して「ワイド切替」画面を表示させる。

2. **1** ～ **3** を押して選択する。

ノーマル：**1** を押す

ワイド：**2** を押す

ズーム：**3** を押す

3. 選択終了後、**6**、**←** または **MENU** を押してメニュー画面に戻る。

AUX モード画面の設定

画面や画質の調整、表示方法の設定は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけ行うことができます。

6 を押すと、「その他設定」画面に切り換わります。

▶ **その他の設定** P.131

■画面の調整

明るさとコントラストの調整ができます。

1. AUX メニュー画面で **[1]** を押して、「画面調整」画面を表示させる。
2. 画面調整画面で **[2]**、**[5]** および、**[3]**、**[6]** を押して調整する。

明るさ

明るくする：**[5]** を押す

暗くする：**[2]** を押す

コントラスト

強くする：**[6]** を押す

弱くする：**[3]** を押す

3. 調整終了後、**[4]**、 または **[MENU]** を押してメニュー画面に戻る。

■画質の調整

色合いと色の濃さの調整ができます。

1. AUX メニュー画面で **[4]** を押して、「画面調整」画面を表示させる。
2. 画面調整画面で **[2]**、**[5]** および、**[3]**、**[6]** を押して調整する。

色合い

緑よりにする：**[5]** を押す

赤よりにする：**[2]** を押す

色の濃さ

濃くする：**[6]** を押す

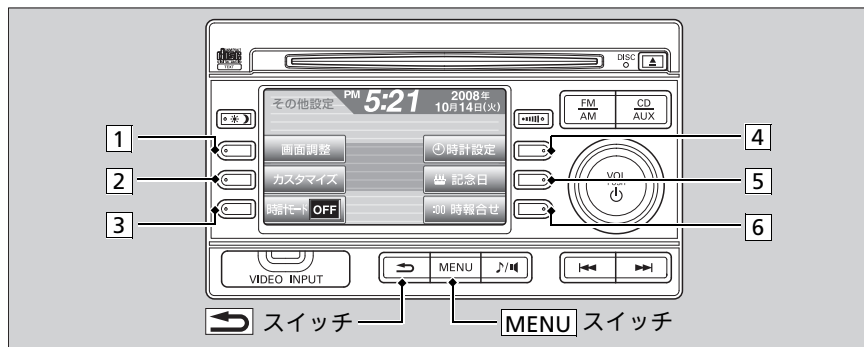
薄くする：**[3]** を押す

3. 調整終了後、**[4]** を押してメニュー画面に戻る。

その他の設定

時計、記念日の設定や画面のカスタマイズができます。
電源の ON/OFF にかかわらず操作できます。

1. **[MENU]** を押す。
▶現在選択中のモードのメニュー画面が表示されます。
2. **[6]** を押して、下記の「その他設定」画面を表示させる。
▶前の画面に戻るときは **[戻る]** を押します。



時計表示 ON/OFF の設定

オーディオの電源が ON のとき、約 10 秒間スイッチ操作がない場合に自動的に時計を表示するように設定することができます。

1. **[3]** を押すたびに時計表示の ON(する)/OFF(しない)が切り換わる。
▶**[3]** を押すと、設定した内容のメッセージが表示されます。

その他の設定

時刻、日付の設定をすることができます。

時刻の設定 P.63

「その他設定」画面が表示されているときや設定操作中に **[MENU]** を押すと、設定モードが解除され、メニュー画面に戻ります。

安全上の配慮から、走行中の各種設定機能は限定されます。走行中に操作できない項目は薄い色で表示されます。

時計表示 ON/OFF の設定

カスタマイズメニューで選択した時計が表示されます。

時計のデザインを変更する P.136

■ 画面の調整

画面の明るさとコントラストの調整ができます。

1. 「その他設定」画面で **[1]** を押して「画面調整」画面を表示させる。
2. **[2]**、**[5]** および、**[3]**、**[6]** を押して調整する。

■ 明るさ

明るくする：**[5]** を押す

暗くする：**[2]** を押す

■ コントラスト

強くする：**[6]** を押す

弱くする：**[3]** を押す

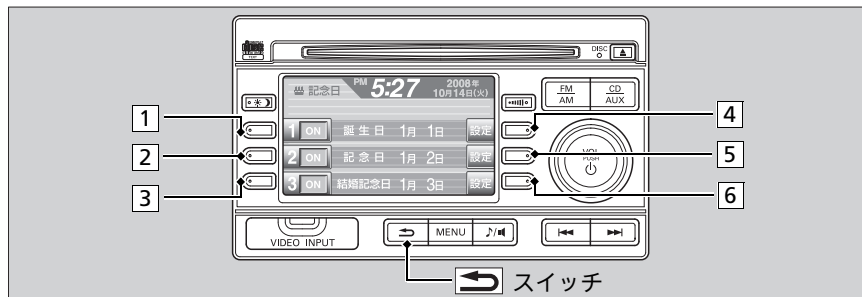
3. 調整終了後、**[4]** または  を押して「その他設定」画面に戻る。

記念日の登録

誕生日、記念日、結婚記念日の登録ができます。また、記念日の当日にメッセージを表示するように設定することができます。

1. 「その他設定」画面で [5] を押して、下記の「記念日」画面を表示させる。

▶ 記念日設定を解除し、「その他設定」画面に戻るときは [5] を押します。



■記念日の登録

記念日を3つまで登録できます。

1. [4] ~ [6] を押して記念日登録画面を表示させる。
2. [3] を押して記念日の種類を選択する。
3. 日付を設定する。
月: [1]、[2] を押す
日: [4]、[5] を押す
4. [6] を押して登録を決定する。
5. 続けて登録する場合は、1 ~ 4 の操作を繰り返す。

■記念日表示の ON/OFF の設定

それぞれの記念日について設定することができます。

1. [1] ~ [3] を押すたびに記念日表示の ON(表示する)/OFF(表示しない)が切り換わる。
▶ 記念日表示を ON に設定し、その記念日の前日と当日にエンジンスイッチを [I] または [II] にすると、画面にメッセージが表示されます。また、当日に記念日用の壁紙に自動的に切り換わります。

※記念日の登録

次のような場合、記念日を登録することができません。

- 重複する日付を設定したとき
- 日付の設定を行わなかったとき

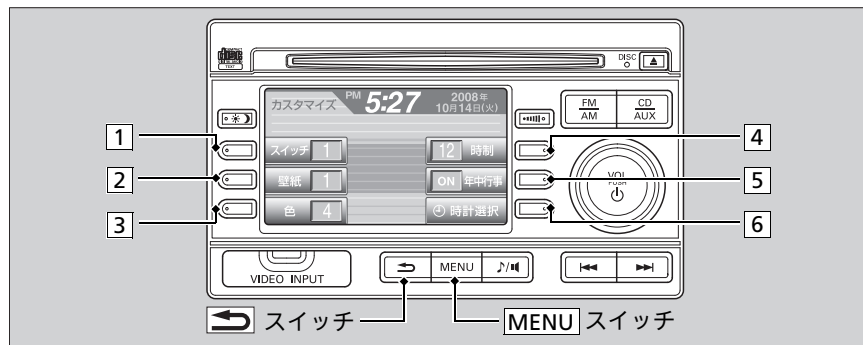
[3] を押して修正を行うか、[6] を押して登録操作を終了してください。

■ カスタマイズ機能

画面の配色や画面などの表示設定、スイッチと時計のデザイン選択、時制の切り換えや年中进行事の表示の ON/OFF の設定ができます。

1. 「その他設定」画面で **[2]** を押して、下記の「カスタマイズ」画面を表示させる。

▶ カスタマイズ機能を解除し「その他設定」画面に戻るときは、**[↩]** を押します。



■ スイッチのデザインを変更する

1. **[1]** を押すたびにスイッチのデザインが切り換わる。

▶ スイッチのデザインは 2 種類から選べます。

■ 壁紙を変更する

1. **[2]** を押すたびに壁紙のデザインが切り換わる。

▶ 壁紙は 4 種類から選べます。

■画面の配色を変更する

1. **[3]** を押すたびに画面の配色が切り換わる。

▶ 配色は 6 種類から選べます。

■時計の切り換え

1. **[4]** を押すたびに、時計の時間表示が 24 時間または 12 時間に切り換わりま
す。

■年行事の ON/OFF の設定

1. **[5]** を押すたびに年行事の ON (表示する) / OFF (表示しない) が切り換わる。

▶ 年行事を ON に設定すると、その日の前日と当日にエンジンスイッチを **[I]**
または **[II]** にしたときに、画面にメッセージを表示します。また、その当日に
は画面上部に「クリスマス」など年行事を表示し、自動的にその内容に応じた
壁紙に切り換わります。

■時計のデザインを変更する

1. 「カスタマイズ」画面で **[6]** を押して「時計選択」画面を表示させる。
2. 時計のデザインを **[1]**、**[2]**、**[4]**、**[5]** から選択する。
3. 選択終了後、**[6]** または  を押して「カスタマイズ」画面に戻る。

運転

この章では、運転操作、給油、アクセサリーなどについて記載しています。

運転の前に	138	駐停車操作	150
運転操作	140	リヤカメラシステム*	152
エンジンの始動	140	カメラ画像について	153
走行時の注意点	142	給油	
オートマチックについて	143	指定燃料について	154
シフト操作	144	給油のしかた	154
4WD(四輪駆動機構)*	146	ターボ車* について	
ブレーキ操作		取り扱い	157
ブレーキシステム	147	エンジンオイルメンテナンス表示灯 ..	158
ABS(アンチロックブレーキシステム)	149	アクセサリーと改造	160

運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
 - ▶ 霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
 - ▶ 屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
 - 氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
 - ▶ 足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
 - ▶ 走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
 - ▶ 空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
 - **タイヤの点検と整備** P.181
- 車の周囲に子供はいないか？
車の周りに障害物はないか？
 - ▶ 運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

車内での確認項目

- フロアマットが引っかかっているか？
- フロアマットが固定されているか？
- フロアマットを重ねていないか？
 - ▶ ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。

※車外での確認項目

アドバイス

ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。

無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。

凍結すると、キーが差し込めなくなります。

エンジンルーム内に可燃物の置き忘れや、燃えやすいものがないか確認してください。

車両を長期間使用しなかった場合や、メンテナンスの後、特に注意してください。火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

※車内での確認項目

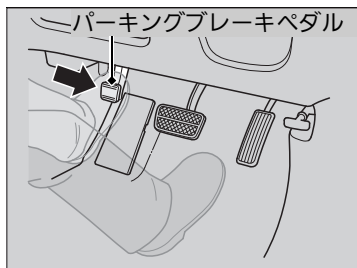
運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転者が運転中にハンズフリー以外の携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

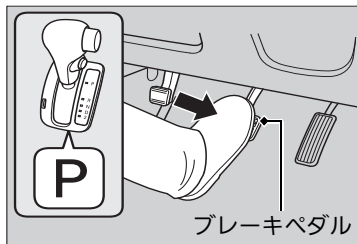
車に合ったフロアマットをお使いください。

- フロントシートの足元にものを置いていないか？
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
 - ▶ 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 荷物はシートの高さを越えていないか？
 - ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
 - ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シート位置などが適切に調節されているか？
 - ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
 - ❏ シートの調節 P.92
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
 - ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
 - ❏ ミラー類の調節 P.90
 - ❏ ハンドルの調節 P.89
- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
 - ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
 - ❏ シートベルトの着用 P.26
- ドア、テールゲートが確実に閉まっているか？
 - ▶ 走行前にすべてのドア、テールゲートが確実に閉まり、正しく施錠されていることを確認します。
 - ❏ 車内での施錠 / 解錠 P.72
- エンジンを開始したとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
 - ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
 - ❏ 警告灯 P.48

エンジンの始動



1. パーキングブレーキをかける。



2. セレクトレバーが **P** であることを確認し、右足でブレーキペダルを踏む。

▶ **N** でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される **P** で行ってください。

ⓧエンジンの始動

⚠警告

バッテリー液が不足しているときは、エンジンを始動しない。

バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

寒いときのエンジンの始動は、すべての電気アクセサリを OFF にしてから行います。

寒いときのエンジンの始動は、バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリをすべて OFF にしてから行ってください。

エンジンスイッチを 15 秒以上 **III** にしないでください。

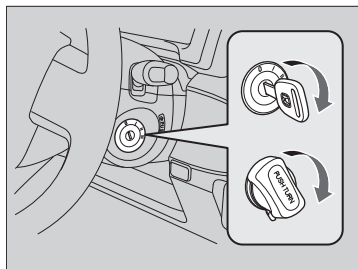
エンジンが始動したらすぐに、手を離してください。自動的に **II** に戻ります。

Honda スマートキーシステム装備車

車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。

そのため、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができません。

ⓧイモビライザーシステム P.75



3. アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを **III** に回す。
▶ エンジンが始動したら、エンジンスイッチを離します。

エンジンの停止

1. セレクトレバーを **P** に入れる。
2. エンジンスイッチノブを、ゆっくりと **0** まで回す。
▶ エンジンスイッチを **0** (プッシュオフ) にすると、ハンドルがロックされます。

発進時の操作

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを **D** にする。
▶ 後退する場合は **R** にします。
2. パーキングブレーキを解除する。
▶ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認してください。
■ パーキングブレーキ P.147
3. ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏んで発進する。

エンジンの始動

エンジンが始動しない場合は、10 秒以上待つてから操作してください。

エンジンが始動しない、始動してもすぐに止まる場合は、10 秒以上待ってからアクセルペダルを軽く踏みながら**手順3**を繰り返してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを離します。

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。

Honda 販売店で点検を受けてください。

発進時の操作

⚠ 注意

アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しない。

急発進して思わぬ事故の原因となります。

坂道での発進時は、必ずパーキングブレーキを併用してください。

車が後退しないよう、パーキングブレーキをかけたまま、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

走行時の注意点

■霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

■風が強いときは

風が強くと車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。

トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

■雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。

わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。エンジンや駆動系の破損、電装品の故障につながるおそれがあります。

■その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

※走行時の注意点

走行中はエンジンを停止しないでください。

下記のような状態になり危険です。

- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

走行中はセレクトレバーを **[N] にしないでください。**

エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

車を移動するときは、必ずエンジンを始動してください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

1,000km走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

※雨が降っているときは

ハイドロプレーニング現象に注意してください。

ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

オートマチックについて

■ クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると動力がつながった状態になり、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

❏ クリープ現象

エンジン回転が上がると、クリープ現象が強くなります。

エンジン回転が上がったときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。

ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

❏ キックダウン

上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がり、速度が出すぎてしまうことがあります。

アクセルペダルは慎重に操作してください。滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

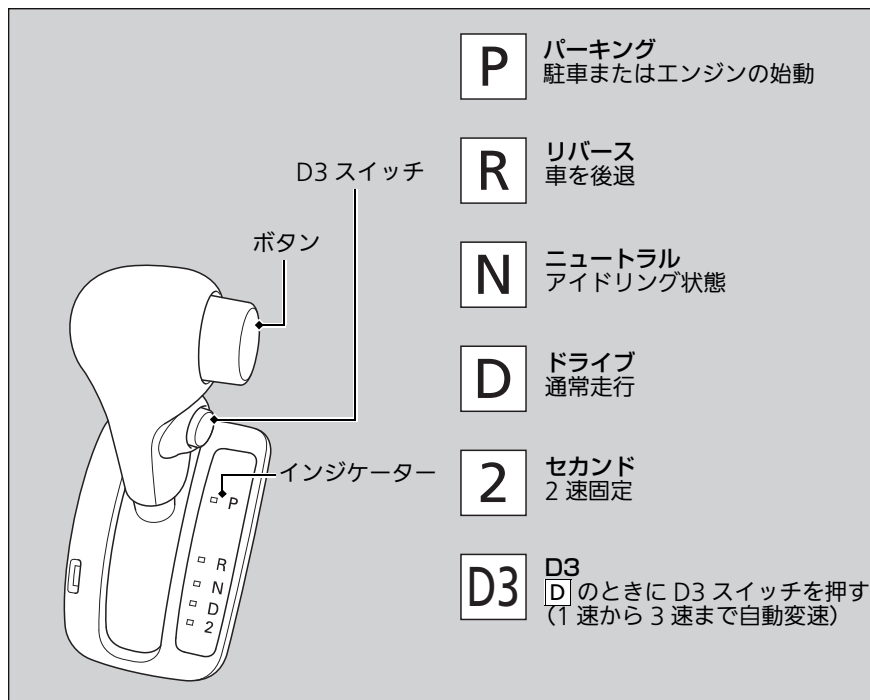
■ キックダウン

セレクトレバーが **D** **D3** で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に変速比が変わりエンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。

シフト操作

走行状態に応じてセレクトレバーで切り換えます。

■セレクトポジションの名称とはたらき



シフト操作

⚠ 注意

シフトダウンする際の車速には、十分注意する。

滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

セレクトレバーが **P** 以外のときは、エンジンスイッチが **0** まで回らないため、キーを抜くことはできません。

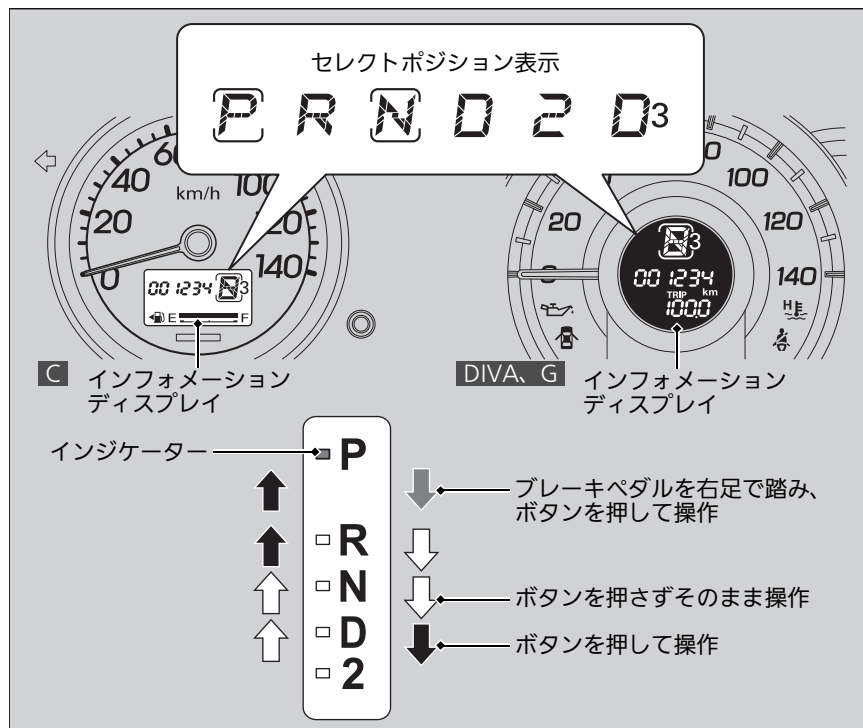
R のポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にセレクトレバーが **R** に入っていることを知らせます。

N のポジションのときでも、エンジンが冷えているときはトランスミッションフルードの粘性により、車がわずかに動き出すことがあります。

ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

セレクトレバーの操作

セレクトポジションは、セレクトレバーインジケータと連動し、現在のポジションをメーター部のインフォメーションディスプレイに表示します。



セレクトレバーの操作

アドバイス

前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まっていない状態でレバーを操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにセレクトポジション表示でもセレクトレバーの位置を確認してください。

走行中にセレクトレバーをどのポジションにしても以下の表示が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。

急加速を避け、Honda 販売店で点検を受けてください。



エンジンの回転をあやまって限界回転数以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

■ 限界回転数 P.55

セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、セレクトレバーの操作ができないことがあります。

先にブレーキペダルを踏んでください。

4WD(四輪駆動機構)*

4WD(四輪駆動機構)は、積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において、2WD 車(二輪駆動車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありませんので以下の点に注意してください。

- アクセル、ハンドル、ブレーキ操作は一般の車と同じく慎重に行う
- 砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすい場所での連続走行はしない
- 渡河などの水中走行はしない
- ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないため、滑りやすい路面では十分に車間距離をとって走行する

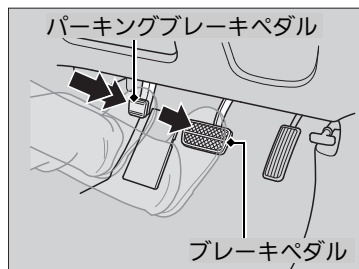
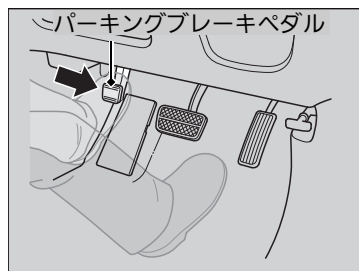
❖4WD(四輪駆動機構)

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、4WD が正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

ブレーキシステム

■パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキペダルにより操作します。



■パーキングブレーキをかける

左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。

■パーキングブレーキを解除する

1. 右足でブレーキペダルを踏む。
2. 左足でパーキングブレーキペダルを踏み、ゆっくりと戻す。

▶パーキングブレーキ

アドバイス

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、リヤブレーキと車軸が損傷するおそれがあります。

パーキングブレーキは完全に解除した状態で、走行してください。

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行すると、「パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー」が鳴ります。

完全に解除すると、ブザーは止まります。停車したときも、ブザーは止まります。

駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

■フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。

ブレーキのロックを防止する ABS(アンチロックブレーキシステム)で、安全性の向上を図っています。

❏ ABS(アンチロックブレーキシステム) P.149

❏フットブレーキ

水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。

Honda 販売店で点検を受けてください。

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。

そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

ABS(アンチロックブレーキシステム)

■ ABS とは

ABS(アンチロックブレーキシステム)とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

■ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS の正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

なお、低速(車速約 10km/h 以下)では ABS は作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。



ABS 警告灯

エンジンスイッチを  にすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

※ABS(アンチロックブレーキシステム)

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABSが正常に機能しないことがあります。
タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

ABS 警告灯が運転中に点灯するときは、システムの異常が考えられます。

通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABS が作動していない可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

ABS は、制動距離を短くするためのものではありません。

ABS を装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。ABS が作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、過信せず安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABS の装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

エンジン始動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

駐車する

1. セレクトレバーは **[D]** のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
3. セレクトレバーを **[P]** に入れる。
4. エンジン进行停止する。

▶車から離れるときは必ず施錠してください。

坂道に駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。

駐停車操作



注意

停車中の空ぶかしはしない。

万一、セレクトレバーが **[P]** **[N]** 以外に入っていた場合、思わぬ急発進のもとになります。

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂で **[P]** **[N]** 以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。

トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

仮眠するときは、エンジンを停止してください。

- ▶ 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

▶▶ 駐車する

⚠ 注意

駐車時はエンジンを停止する。

万一、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

アドバイス

車が完全に止まらないうちに[P]に入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。

車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

積雪時は、ワイパーアームを起してください。

雪の重みでアームの取り付け部が破損することがあります。

寒冷時に、パーキングブレーキをかけると、凍結することがあります。

パーキングブレーキをかけずに、石など輪留めをしてください。

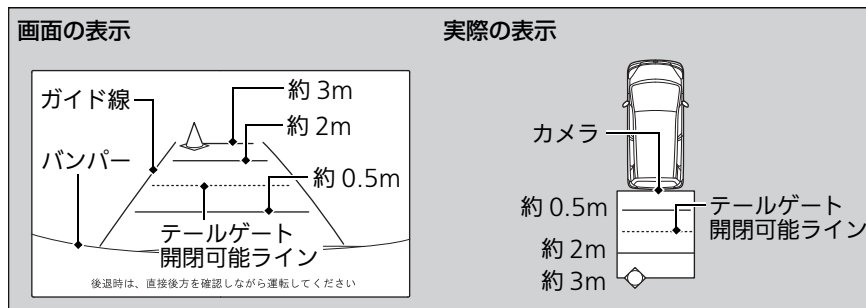
リヤカメラシステム*

リヤカメラシステムについて

リヤカメラシステムは、バックモニター付きオーディオ装置の画面に、車両後方の映像を表示させるシステムです。

セレクトレバーを **[R]** に入れると自動的に画面が切り換わります。

画面に表示される映像の範囲



リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

リヤカメラシステムについて



注意

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。

画面を見るときは、必要最小限にする

画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リヤカメラシステムの映像は、オーディオ画面よりも優先して表示されます。

カメラ画像について

状態	考えられる原因	対処のしかた
カメラの画像が見えにくい	• 夜間や雨の日、および暗い場所 • カメラが高温になっている場合 • 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んでいる場合※1	気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。
	• カメラのレンズに水滴や虫などが付いている場合 • カメラのレンズが汚れている場合	ぬれた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。

※1：強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象や、上下に光の筋ができるスミア現象が起きることがあります。

指定燃料について

■指定燃料

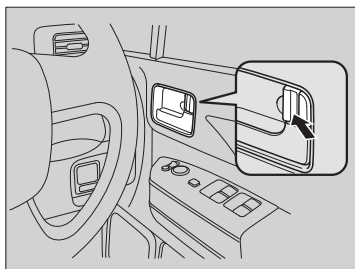
無鉛レギュラーガソリン

■タンク容量

2WD車 30 リットル

4WD車 31 リットル

給油のしかた



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
2. エンジンを停止させる。
3. ノブで運転席ドアを解錠する。
▶車の外側のフューエルリッドが解錠されます。

※指定燃料について

アドバイス

指定燃料以外の燃料(粗悪ガソリン、軽油、灯油等)を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。

以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

プレミアムガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

※給油のしかた

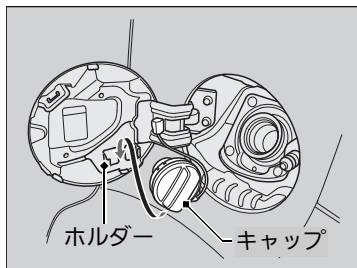
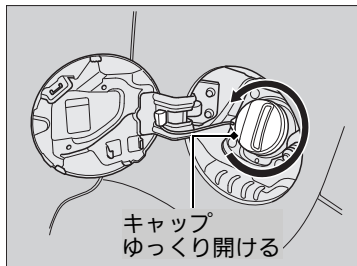
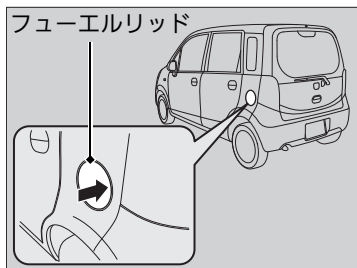
⚠ 警告

燃料補給時は火気厳禁。

燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に停止させる
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



4. フューエルリッドの右端を突き当たるまで押し、手を離す。

▶リッドが少し浮き上がります。

5. ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップを開ける。

6. キャップはホルダーにかける。
7. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。

▶満タンになると、給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

給油のしかた

警告

燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。

静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

注意

キャップはゆっくり開ける。

急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。

燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

燃料蒸気を吸わないでください。

燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。

8. 給油後、「カチッ」という音が 1 回以上するまでキャップを締め付ける。

▶ フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉めます。

給油のしかた



注意

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。

気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

キャップが確実に閉まっていることを確認する。

閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

Honda 純正以外のキャップを使わないください。

純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

取り扱い

ターボ装置は、排気ガスの圧力でタービンを回してエンジンに大量の空気を圧縮して送り込み、より大きな馬力を引き出す非常に精密に作られた装置です。ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

- **高速走行、登坂走行直後はすぐにエンジンを停止しない**
必ずアイドルリング運転を行い、ターボ装置を冷却します。
- **エンジン始動直後のエンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速はしない**
- **エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期を必ず守る**
タービンは毎分 10 万回転以上の高回転で回り、かつ 700℃ 以上の高温になります。その潤滑と冷却はエンジンオイルにより行われます。したがって、定められた距離または期間でエンジンオイル、オイルフィルターの交換を行わないと、劣化したエンジンオイルによりタービン軸受部の固着や異音の発生など、故障の原因になります。

※：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

ターボ車について

エンジン停止前のアイドルリング運転時間の目安は、下表の通りです。

運転状況	アイドルリング時間
市街地、郊外などの一般走行	必要なし
高速走行	約 1 分
登坂路の連続走行	約 2 分

エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期は、下表の通りです。

エンジンオイル	5,000km ごとまたは 6 か月ごと(どちらか早い方)
オイルフィルター	10,000km ごとまたは 1 年ごと(どちらか早い方)

推奨エンジンオイル P.167

高速走行や山道走行などの高負荷で走行したあと、エンジンを再始動すると高水温警告灯が点滅または点灯することがありますが、機能的に問題はありません。
約 1 分間アイドルリング運転を行うか、走行すると警告灯は消灯します。

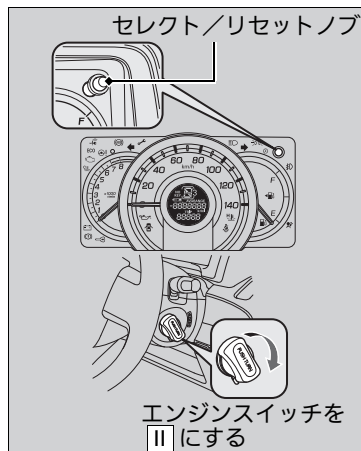
エンジンオイルメンテナンス表示灯



エンジンスイッチを **II** にしたときに、リセットしてからの走行距離に応じて、エンジンオイルの交換時期の目安を表示灯の点滅または点灯でお知らせします。

リセットしてからの走行距離	表示灯の状態
4,500km 未満	数秒点灯したあと、消灯
4,500km 以上 5,000km 未満	数秒点灯したあと、約 10 秒間点滅してから消灯点灯
5,000km 以上	▶ すみやかにエンジンオイルを交換してください。エンジンオイルを交換したあとは、表示灯をリセットしてください。

表示灯のリセット



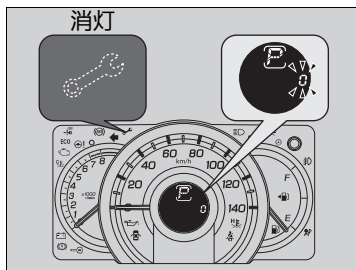
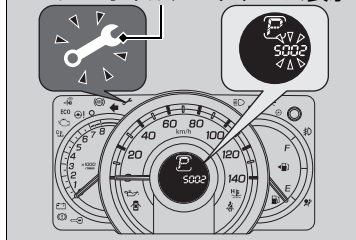
1. ライトスイッチが OFF のときに、セレクト/リセットノブを押したまま、エンジンスイッチを **II** にする。

表示灯のリセット

エンジンオイル交換後、走行距離をリセットするまで表示灯は点灯し続けます。

エンジンオイル交換直後にリセット操作を行わないと、次の交換時期の表示を正しくできません。

エンジンオイルメンテナンス表示



2. そのままセレクト / リセットノブを、エンジンオイルメンテナンス表示灯が点滅に切り換わるまで押し続ける。

▶同時にインフォメーションディスプレイの表示が前回リセットしてからの走行距離表示に切り換わり、点滅します。

3. エンジンオイルメンテナンス表示灯と走行距離表示が点滅を始めたら、セレクト / リセットノブから手を離す。

4. 再度、走行距離計が0になるまでセレクト / リセットノブを押す。

▶走行距離表示が0になると、エンジンオイルメンテナンス表示灯は消灯します。

5. セレクト / リセットノブから手を離す。

▶インフォメーションディスプレイが通常表示に戻ります。

アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
 - ▶ アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。
- また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。

車の改造

Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

- 適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりします。
- Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故を起こす場合があります。

無線装置などの取り付けの際には、必ず Honda 販売店にご相談ください。装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

車の改造

車の性能、品質を維持するために、Honda 車に最も適した Honda 純正部品をお使いください。

純正部品には下記のマークが付いています。

HONDA
GENUINE PARTS

お求め、装着に際しては、Honda 販売店にご相談ください。

メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。



メンテナンスの前に	
点検整備について	162
メンテナンスを安全に行うために	163
メンテナンスに関する注意事項	163
エンジンルーム内のメンテナンス	
エンジンルーム内のメンテナンス項目 ...	164
ボンネットを開ける	166
推奨エンジンオイル	167
ウィンドウォッシャー液の補給	167
電球の交換	168

ワイパーブレードドラバーの点検と整備 ...	179
タイヤの点検と整備	
タイヤの点検	181
タイヤのローテーション	183
冬期のタイヤ	184
キーレスエントリー発信器*/Honda スマートキー*	
キーレスエントリー発信器/Honda スマートキーの 取り扱いと電池交換	185
エアコンのお手入れ	
エアクリーンフィルター*	187

清掃	
日常のお手入れ	189
車内の清掃	189
車外の清掃	190

点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。

普段と違う点(音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど)に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

■点検整備の種類

■日常点検

長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

■定期点検

12か月および24か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

■その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

■点検整備について

作業に不慣れな場合や難しい場合は、Honda 販売店にご相談ください。

メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。

お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。

車についての安全事項

- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
▶エンジンを始動するときは必ず十分な換気を行ってください。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
▶部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
▶指示されたとき以外は、エンジンを始動しないでください。

メンテナンスに関する注意事項

メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

⚠メンテナンスを安全に行うために



警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。

走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。

必ず、この取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。

メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。必ず、この取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

エンジンルーム内のメンテナンス

エンジンルーム内のメンテナンス項目

■ライフ

ブレーキ液
リザーブタンク※

エンジンオイル
レベルゲージ※

エンジンオイル
注入口※

ウィンド
ウォッシャー液
注入口

バッテリー※

冷却水リザーブ
タンク※

ラジエーター
キャップ※

※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

■ライフ(ターボ)

ブレーキ液
リザーブタンク※

エンジンオイル
レベルゲージ※

エンジンオイル
注入口※

ウィンド
ウォッシャー液
注入口

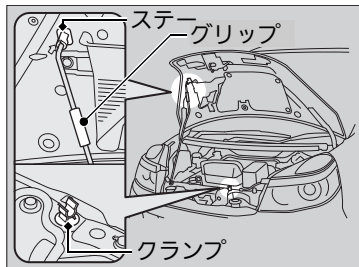
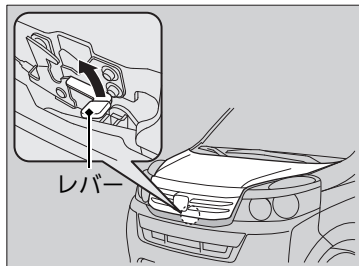
バッテリー※

冷却水リザーブ
タンク※

ラジエーター
キャップ※

※：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。

ボンネットを開ける



1. 車を止め、パーキングブレーキをかける。
2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。

▶ ボンネットが少し浮き上がります。

3. ボンネット中央のレバーを押しながらロック機構を解除し、ボンネットを開ける。

4. グリップを持ってステーをクランプから取り外し、ステーをボンネットにかける。

閉めるときは、ステーを外しクランプに納めてからボンネットを静かに下げて、約25cmの高さから手を離します。

▶▶ ボンネットを開ける



注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

アドバイス

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。

ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

推奨エンジンオイル

エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながる場合があります。



推奨エンジンオイル：

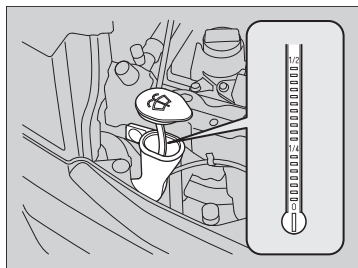
Honda 純正エンジンオイル

■ Honda 純正エンジンオイル P.226、227、
228、229

API SM もしくは SN 級以上かオイル缶に
API CERTIFICATION(エーピーアイサー
ティフィケーション)マークの入ったエン
ジンオイル

ウィンドウォッシャー液の補給

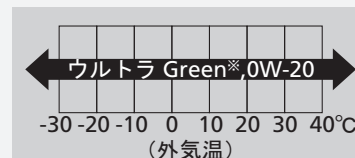
ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

■推奨エンジンオイル

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



ライフ



ライフ (ターボ)

※：最も省燃費性に優れた Honda 純正オイルです。Honda 販売店でお求めください

冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

■ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。

冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

電球の交換

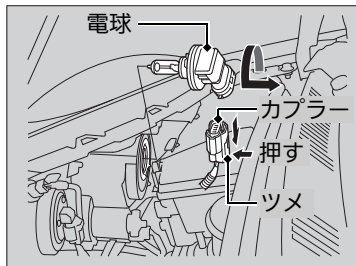
ヘッドライト電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ロービームヘッドライト	ハロゲンヘッドライト装備車	: 12V-55W
ロービームヘッドライト	ディスチャージヘッドライト装備車	: 12V-35W
ハイビームヘッドライト		: 12V-60W

ロービームヘッドライト

ハロゲンヘッドライト装備車



ディスチャージヘッドライト装備車

電球の点検、交換は、必ず Honda 販売店に依頼してください。

1. カプラーを外す。
▶カプラーはツメを押しながら外します。
2. 古い電球を左に回し、抜き取る。
3. 新しい電球を右に回して固定する。
4. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

ヘッドライト電球



注意

ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しています。

不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱うときは、熱が冷めてから行ってください。

また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が過熱し割れるおそれがあります。

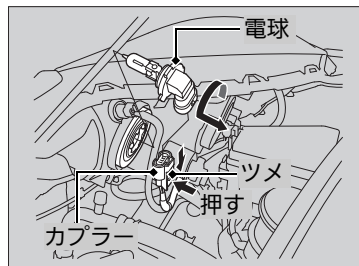
ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などによりレンズ内面が一時的に曇ることがありますが、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いたり、水がたまっていたりしている場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

ハロゲン球を扱うときは口金の部分を持ち、ガラスが肌や固いものに触れないようにしてください。

ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてください。

■ハイビームヘッドライト

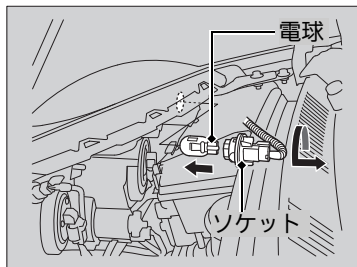


1. カプラーを外す。
▶カプラーはツメを押しながら外します。
2. 古い電球を左に回し、抜き取る。
3. 新しい電球を右に回して固定する。
4. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯：12V-21W(橙色)

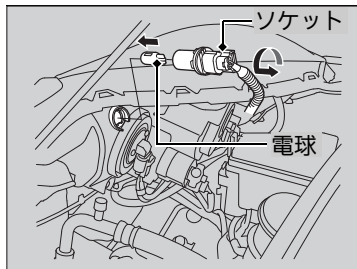


1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

車幅灯電球

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

車幅灯：12V-5W

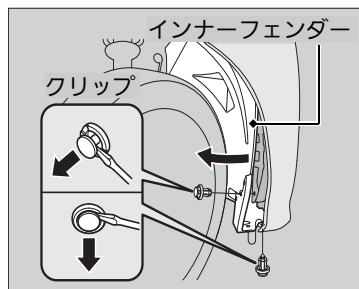


1. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
2. 新しい電球を差し込む。

フォグライト電球*

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

フォグライト：12V-35W



1. 交換する側と反対にハンドルをいっぱい
に切る。
2. クリップを抜き、インナーフェンダーを
めくる。

※フォグライト電球

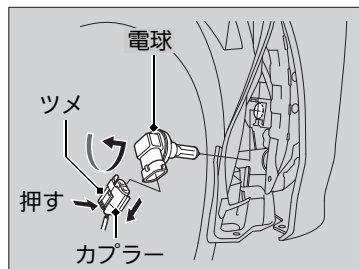
アドバイス

ハロゲン球は非常に熱くなります。取り扱い
ときは、熱が冷めてから行ってください。

また、ガラスに油、汗、傷がつくと、電球が
過熱し割れるおそれがあります。

ハロゲン球を扱うときは口金の部分を持ち、
ガラスが肌や固いものに触れないようにして
ください。

ガラスに汚れがついたときは、中性洗剤の薄
い水溶液を含ませたきれいな布で拭いてくだ
さい。



3. カプラーを外す。

▶カプラーはツメを押しながら外します。

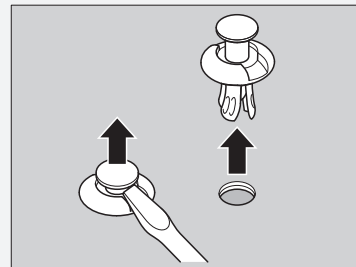
4. 古い電球を左に回し、抜き取る。

5. 新しい電球を右に回して固定する。

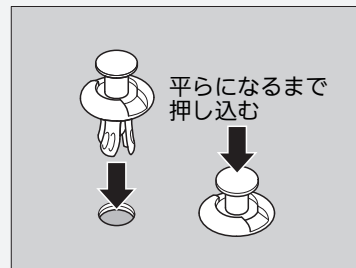
6. カプラーを押し込み、電球に取り付ける。

※フォグライト電球

クリップを外すときは、クリップの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。



側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

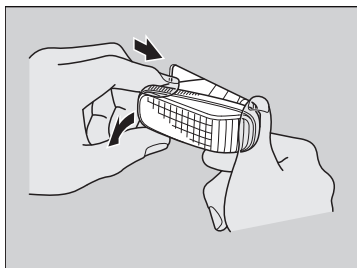
ドアミラーウィンカー装備車

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

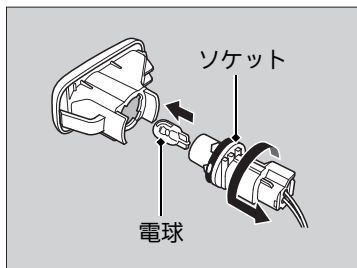
ドアミラーウィンカー非装備車

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯：12V-5W(橙色)



1. ランプ本体を後方にずらして取り外す。



2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。

3. 新しい電球を差し込む。

制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯、後退灯電球

DIVA

制動灯 / 尾灯はLEDを使用しています。点検、交換はHonda販売店に依頼してください。

DIVA、G、C

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

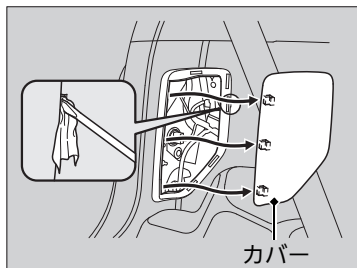
G、C

制動灯 / 尾灯 : 12V-21/5W

DIVA、G、C

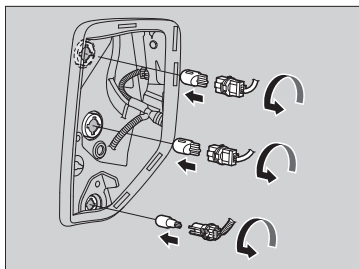
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯 : 12V-21W(橙色)

後退灯 : 12V-16W



1. カバーの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、カバーを取り外す。

▶ カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. ソケットを左に回して外し、古い電球を
抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

ハイマウントストップランプ電球

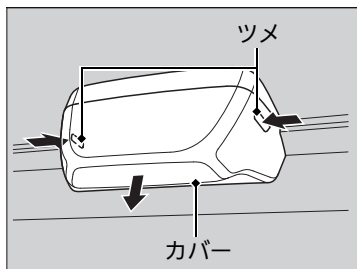
DIVA、G

ハイマウントストップランプはLEDを使用しています。点検、交換はHonda販売店に依頼してください。

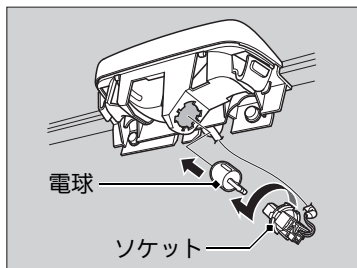
C

交換する場合は、下記の電球をご使用ください。

ハイマウントストップランプ：12V-21W



1. カバーのツメを押しながら、カバーを取り外す。

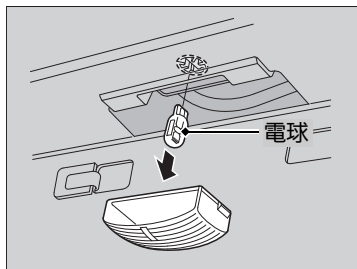
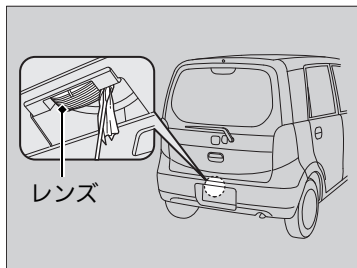


2. ソケットを左に回して外し、古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

番号灯電球

下記の電球をご使用ください。

番号灯：12V-5W



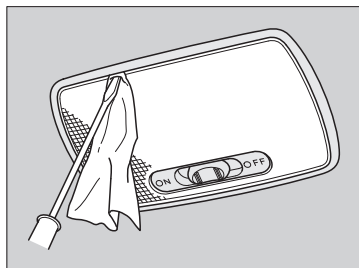
1. ドライバーを差し込んでレンズを外す。
▶ レンズが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。
2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

その他の電球

■ 室内灯電球

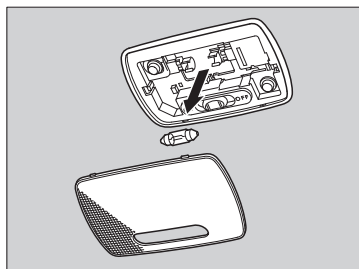
下記の電球をご使用ください。

室内灯：12V－8W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



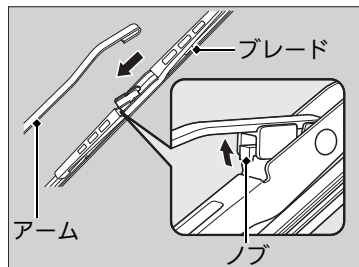
2. 古い電球を抜取る。
3. 新しい電球を差し込む。

ワイパーブレードラバーの点検と整備

ワイパーブレードラバーの点検

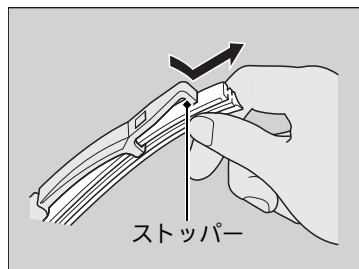
ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

■ワイパーブレードの取り外し(フロントワイパーのみ)



1. 運転席、助手席の順にワイパーアームを起こす。
2. ノブを押し上げながら、アームからブレードをスライドさせて外す。

■ワイパーブレードラバーの交換



1. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。

❖ワイパーブレードの取り外し(フロントワイパーのみ)

アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。

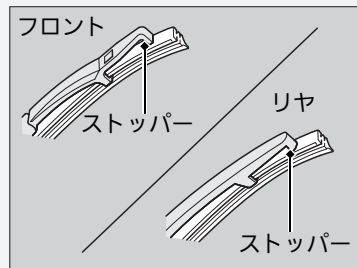
アドバイス

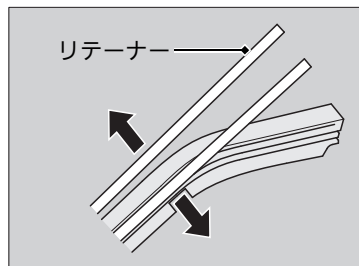
ブレードを外した状態でワイパーアームが倒れると、ガラスが損傷するおそれがあります。

ワイパーアームを戻すときは、助手席側、運転席側の順に戻してください。

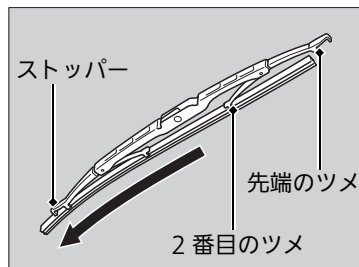
❖ワイパーブレードラバーの交換

フロントワイパーとリヤワイパー* ではストッパーの形状などが異なりますが、同じ手順でラバーを交換できます。

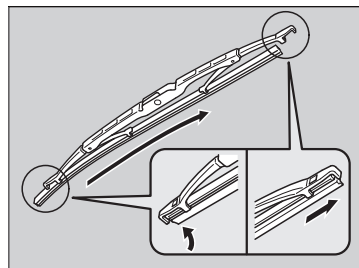




2. 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付ける。



3. ラバーをブレードの2番目のツメから差し込み、反対側のストッパーから約 2cm 引き出す。



4. ブレードの先端のツメにラバーを通して固定する。

▶ 正しく固定されているか確認してください。フロントワイパーは、その後ブレードをワイパーアームに取り付けます。

タイヤの点検

■タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができな
いばかりか乗り心地も損なわれます。

安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に
保ってください。

■日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナ
ンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
▶ つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
▶ 状況に応じて、タイヤを交換してください。

※タイヤの点検について



警告

**摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でない
タイヤを使用しない。**

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害
や死亡に至る事故につながるおそれがあり
ます。

**必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用
する。**

不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害
や死亡に至る事故につながるおそれがあり
ます。

■空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。

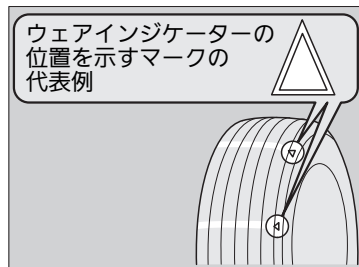
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

🔧 仕様 P.226、227、228、229

■損傷、異物、磨耗の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？
▶ 異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？
▶ 裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか？



ウェアインジケーター(摩耗限界表示)

ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。

接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

※タイヤの点検について

タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。

必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています

この取扱説明書が手元がない場合は、車のラベルをご覧ください。

タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。

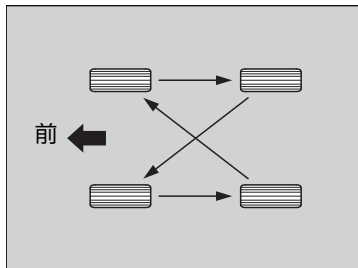
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、ABS、4WD などが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

タイヤのローテーション

5,000km 走行したごとにタイヤローテーションをしてください。

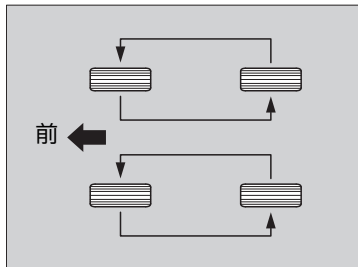
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

■回転指示マークがないタイヤの場合



左図のように、タイヤをローテーションさせます。

■回転指示マークがあるタイヤの場合

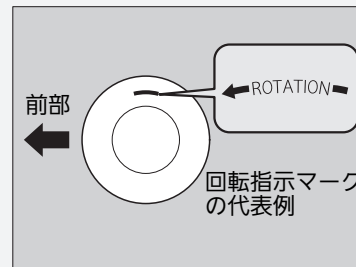


左図のように、タイヤをローテーションさせます。

※タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、**タイヤ回転指示マーク**があります。

下図のように回転指示マークが前へ向くように取り付けてください。



締め付けトルク

108 N・m (11kgf・m)

冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。

また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。

装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

■スノータイヤ

- 四輪とも同じ種類のタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

■タイヤチェーン

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

※冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。

チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

タイヤチェーンは、2WD 車、4WD 車ともに前輪に装着します。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。

なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

キーレスエントリー発信器 /Honda スマートキーの 取り扱いと電池交換

取り扱いについて

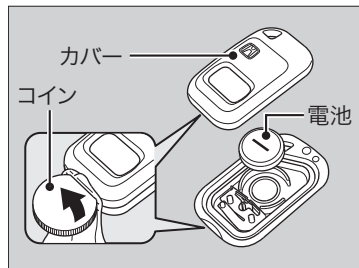
キーレスエントリー発信器/Honda スマートキーの取扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

電池交換のしかた

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。Honda スマートキーは、ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

■キーレスエントリー発信器



ボタン電池 CR1616

1. カバーを外す。
▶ カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。
2. ⊕ と ⊖ を間違えないよう、電池を交換する。

※取り扱いについて

キーレスエントリー発信器 /Honda スマートキーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

※電池交換のしかた

⚠ 注意

電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

飲み込むと傷害を受けるおそれがあります。

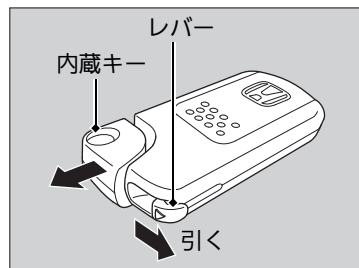
電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda 販売店で交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。

確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

■Honda スマートキー



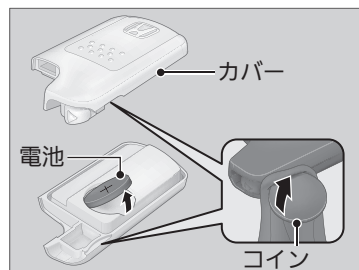
ボタン電池 CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。

2. カバーを外す。

▶カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。

3. ⊕ と ⊖ を間違えないよう、電池を交換する。

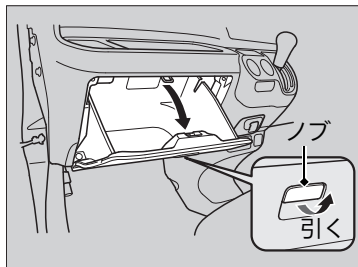


エアクリンフィルター*

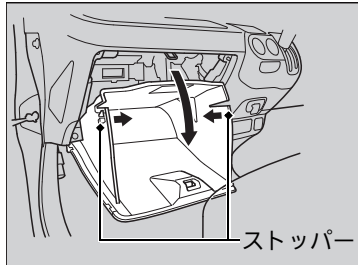
■エアクリンフィルターの交換時期

エアクリンフィルターは、通常 1 年または 15,000km ごとに交換してください。粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

■エアクリンフィルターの交換



1. グローブボックスを開ける。



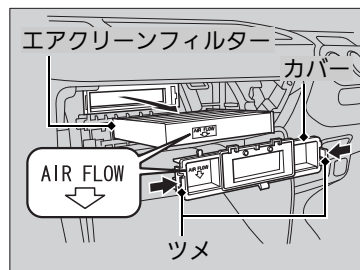
2. グローブボックスの両側に付いているストッパーを内側に押し込み、グローブボックスを下ろす。

■エアクリンフィルター

芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

アレルフリー高性能脱臭フィルターは、空気中の花粉・粉じんを集じんし、アレルゲンを処理、排気ガス臭も低減します。



3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースのカバーを外す。
4. エアクリーンフィルターケースからエアクリーンフィルターを取り出す。
5. 新品と交換する。
▶「AIR FLOW」マークの矢印が、同じ方向(下向き)になるように取り付けます。

日常のお手入れ

走行後のお手入れ

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。

飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。

以下の場合、必ず洗車をしてください。

- ・凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- ・海岸地帯を走行したとき
- ・コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

車内の清掃

内装の清掃は、掃除機で塵や埃を取り除いてから汚れを落としてください。ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

❖洗車について

凍結防止剤を散布した道路や、海岸地帯を走行したときの洗車は、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

❖車内の清掃

室内に水をかけないでください。

オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。

故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda 販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。

ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。

車外の清掃

洗車は、十分に水をかけながら、下回り、足回りの汚れを落とします。塗装面は、屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム革のような柔らかいもので洗います。

汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い、水で完全に洗剤を落としてから水が乾かないうちに拭き取ります。

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納する。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わない。
- マイクロアンテナ装備車は、アンテナを取り外す。
- マニュアルアンテナ装備車は、アンテナを格納する。

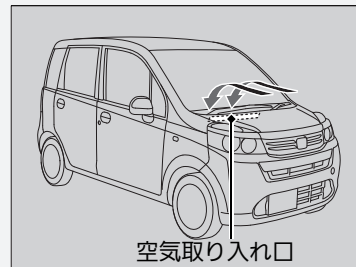
■ 高圧洗浄機を使うとき

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す。
- ドアガラスやドアまわりなど開閉部分は、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内に水が入ることがあります。
- エンジンルームには水をかけない。

※ 車外の清掃

故意に空気取り入れ口や、エンジンルームに水をかけないでください。

故障の原因になります。



■ワックスをかけるとき

ワックスは、月に1回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面温度が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

■バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

※ワックスをかけるとき

アドバイス

みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

ワックスは Honda 純正ケミカル用品をお使いください。

※バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda 販売店にご相談ください。

不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

■ガラスのお手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■はっ水ガラス* について

前席ウィンドー(ドアガラス)にははっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

■アルミホイール* のお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。

※ガラスのお手入れ

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。

傷付けないう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。

- 泥などの汚れがひどいときには、開閉をなるべく行わない
- みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、溶剤等は使わない
- 金属製のもので霜取りなどを行わない
- 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす

※アルミホイールのお手入れ

この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換は、Honda 販売店にご相談ください。

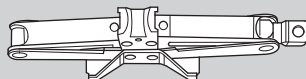
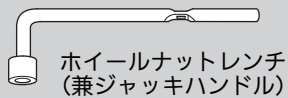
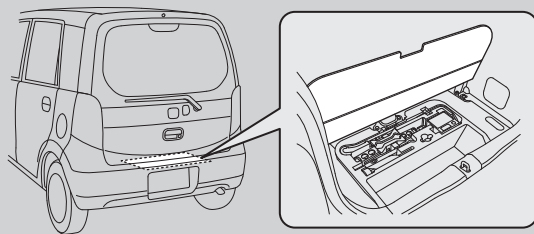
硬いブラシやコンパウンド(研磨剤)の入った洗剤などは使わないでください。変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあります。

万一の場合には

この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。

工具、発炎筒.....	194	オーバーヒート.....	212
パンクしたとき.....	196	警告灯の点灯 / 点滅.....	213
ジャッキの取り扱い		ヒューズ	
ジャッキのかけかた.....	204	ヒューズの設置場所.....	216
エンジンが始動しない		ヒューズの点検と交換.....	219
エンジンの状態の確認.....	206	けん引.....	220
キー・内蔵キー*の差し込みかた.....	207	フューエルリッドが解錠できないとき..	223
ジャンプスタート.....	209	テールゲートが開かないとき.....	224
セレクトレバーが動かない.....	211		

工具の種類



ジャッキ



ジャッキハンドルバー



アイボルト
(けん引用)

工具の種類

工具類はカーゴスペース内に収納されています。

発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

📖 発炎筒 P.2

📖 発炎筒

⚠ 警告

ガソリンなどの燃えやすい物のそばで使わない。

火災や爆発のおそれがあります。

⚠ 注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

パンクしたとき

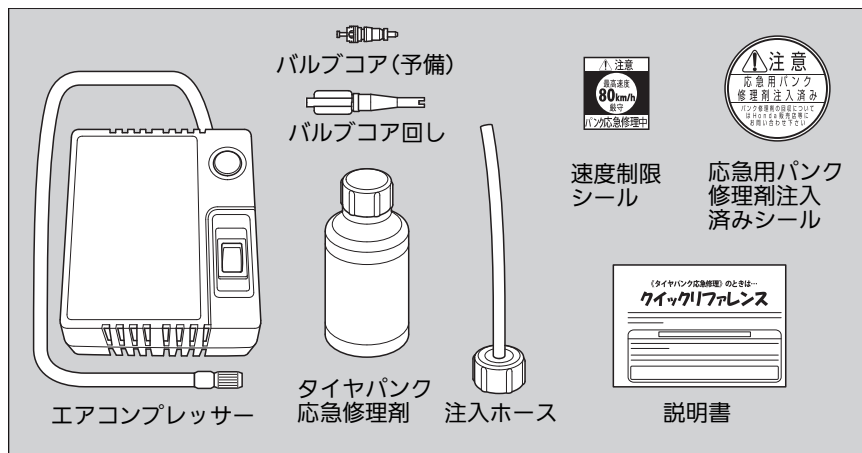
パンクしたタイヤの応急修理

運転中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかりと握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。その後、特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理をします。

走行中、パンクに気がついたときは

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. セレクトレバーを **P** に入れる。
3. パーキングブレーキをかける。
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、エンジンスイッチを **0** にする。

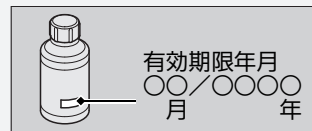
タイヤ修理の準備



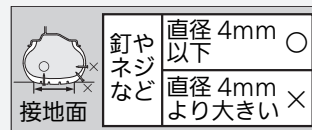
▶パンクしたタイヤの応急修理

以下のような場合、**タイヤパンク応急修理キット**は使用できません。Honda 販売店またはロードサービスにご連絡ください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき



- タイヤが2本以上パンクしているとき
- 約4mm以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき

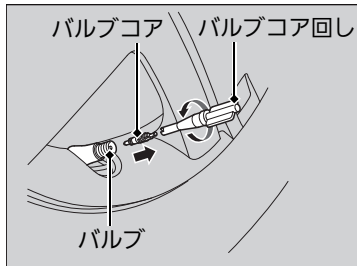
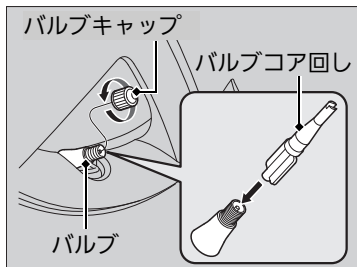
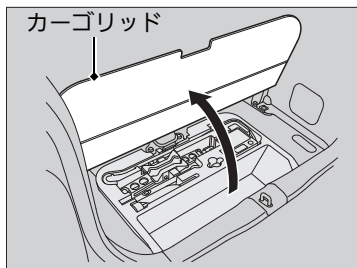


- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。

抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急処理が不可能になる場合があります。

応急修理剤の注入



1. カーゴリッドを開けて、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。

2. バルブからバルブキャップを取り外す。

3. バルブコア回しの突起部分をバルブに押し当てて、タイヤの空気を完全に抜く。

4. バルブコア回しで、バルブコアを回して外す。

▶外したバルブコアは、汚れないようきれいなところに保管します。

応急修理剤の注入

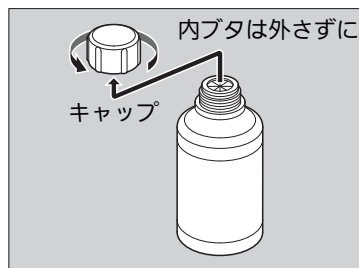
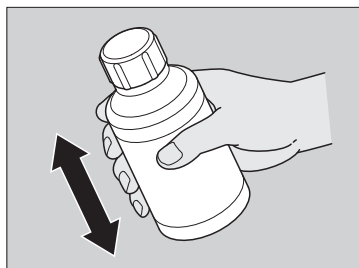
⚠ 注意

タイヤの空気は完全に抜く。

タイヤに空気が残っていると、バルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。



5. 応急修理剤のボトルをよく振る。

6. 応急修理剤のキャップを外す。

▶内ブタは取り外さないでください。

7. 応急修理剤の内ブタを付けたままの状態
で、ボトルに注入ホースを取り付ける。

▶注入ホースをねじ込むと、内ブタが破
れます。

☒ 応急修理剤の注入

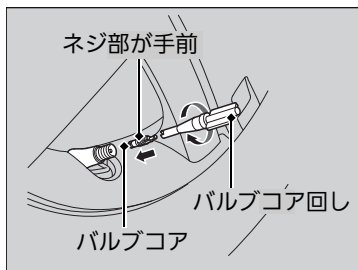
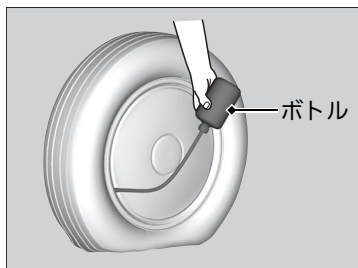
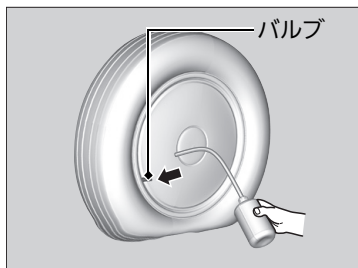
⚠ 注意

応急修理剤の取り扱いに注意する。

- 誤って飲用した場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり皮膚に付いた場合は、水でよく洗い流してください。異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。
- お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

注入ホースを取り付けたあと、応急修理剤のボトルを振らない。

修理剤が注入ホースから飛び出るおそれがあります。



8. 注入ホースをバルブに差し込む。

9. 応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、ボトル内の修理剤を全てタイヤの中に注入する。

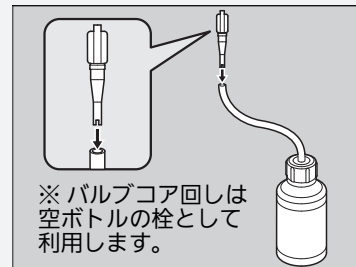
▶全ての修理剤がタイヤの中に入るよう、手でボトルを何回も圧迫してください。

10. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜く。

11. バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しで回し、しっかりねじ込む。

❏ 応急修理剤の注入

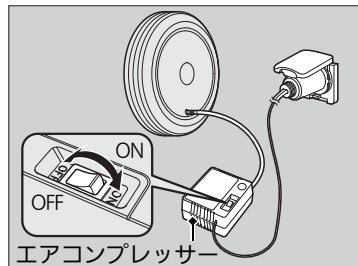
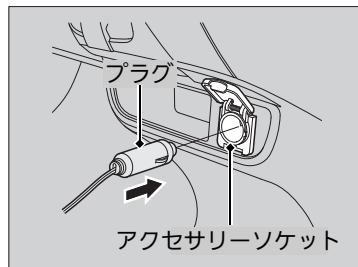
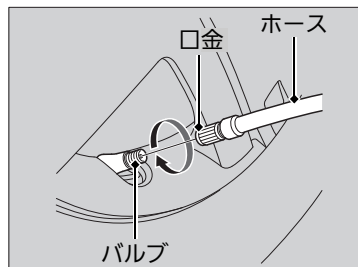
注入が終わった空ボトルから修理剤がもれないよう、バルブコア回しで注入ホースに栓をしてください。



注入後の空ボトルは、タイヤ修理時に使用済み応急修理剤の回収に使用します。

捨てずに、Honda 販売店か専門修理工場までお持ちください。

■エアの注入



1. エアコンプレッサーを準備する。
2. バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。

3. エアコンプレッサーの電源コードのプラグを、アクセサリソケットに差し込む。
4. エンジンスイッチを **I** にする。

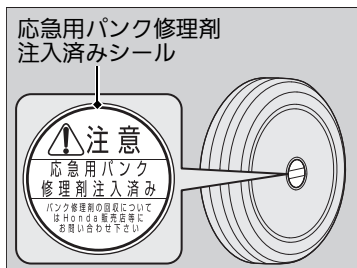
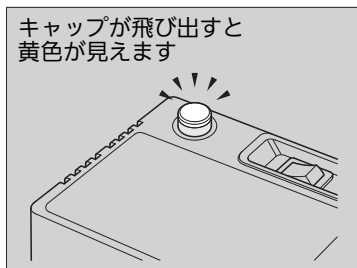
5. エアコンプレッサーのスイッチをONにして、空気を入れる。

■エアの注入

エアコンプレッサーの電源をONにすると、振動して音が聞こえますが、故障ではありません。

備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

- エアコンプレッサーの電源は自動車用12V専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。



6. エアコンプレッサーのキャップの飛び出しを確認する
 - ▶ 空気の注入が終了すると、キャップが飛び出し、「ピー」と鳴ります。
 - 指定空気圧 P.226、227、228、229
 - ▶ キャップの黄色部が見えていることを確認します。
7. エアコンプレッサーのスイッチを OFF にする。
8. タイヤパンク応急修理キットを格納する。
9. 修理が完了したタイヤに、応急用パンク修理剤注入済みシールを貼る。
 - ▶ タイヤのホイールの平らな部分に貼ってください。

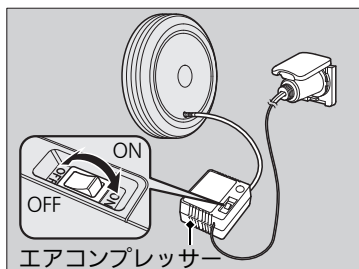
❏エアの注入

10 分以内にキャップが飛び出さない場合は、応急修理剤による応急修理はできません。Honda 販売店やロードサービスに連絡してください。

点検走行

応急修理剤および空気の注入後も、しばらくの間はパンク穴から空気が漏れています。法定速度を守って注意深く運転しながら空気圧を点検し、応急修理を完了させます。

なお、応急修理は特殊な薬剤でタイヤの内側から損傷を一時的に補修したものです。応急修理完了後も慎重に運転し、できるだけ早く Honda 販売店または専門修理工場で、タイヤの修理、交換を行ってください。



1. 点検走行を開始する。
▶法定速度を守ってください。高速道路では 80km/h 以下を厳守してください。
2. 10分または5km走行したあと安全な場所に車を停める。
3. 再度エアコンプレッサーを接続する。

点検走行



注意

走行中異常を感じたら、ただちに運転を中止する。

応急修理剤での補修が不完全な場合、空気圧が低下して安定性を損なうおそれがあります。運転をやめ、Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

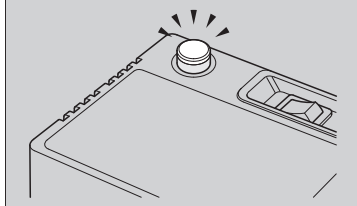
空気圧点検時は、最小空気圧に注意する。

空気圧が最小空気圧※より低くなっていたら、応急修理剤では修理できません。Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。

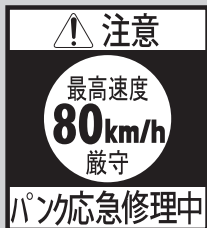
※ 最小空気圧 = 130kPa (1.3kgf/cm²)

走行前に、エアコンプレッサー、空ボトルなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

キャップが飛び出すと
黄色が見えます



4. エアコンプレッサーのスイッチをONにして、キャップの飛び出しを確認する。
 - ▶ 空気の注入が終了すると、キャップが飛び出し、「ピー」と鳴ります。
 - ▶ 1分以内にキャップが飛び出し、キャップの黄色部が現れれば、応急修理は完了です。
 - ▶ 1分以内にキャップが飛び出ない場合は、運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。
5. エアコンプレッサーのスイッチを OFF にして、格納する。
6. 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。



点検走行

注意

ハンドルのパッドにシールを貼らない。

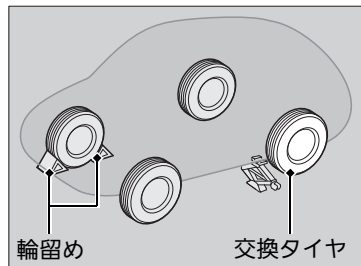
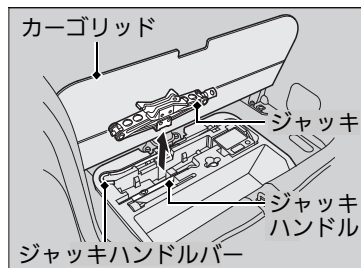
SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。

警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。

安全運転の妨げとなります。

ジャッキの取り扱い

ジャッキのかけかた



1. カーゴリッドを開けて、ジャッキ、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドルを取り出す。
2. パーキングブレーキをかける。
3. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪留めをする。
4. 交換するタイヤに最も近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。

※ジャッキの取り扱い

⚠ 警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。

車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

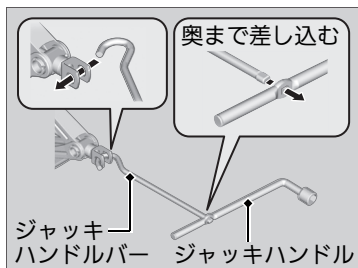
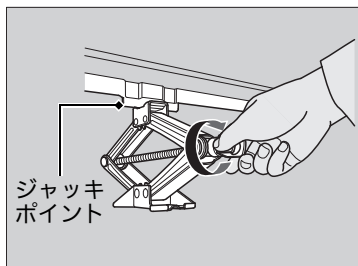
⚠ 注意

ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。

- エンジンをつけたままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にもものを入れたりしない

この車に搭載されているジャッキをお使いください。

他のジャッキでは支えられる重量(呼称重)が不足したり、形状が合わないことがあります。



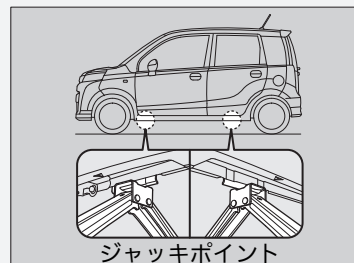
5. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分に矢印の方向に回す。

▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。

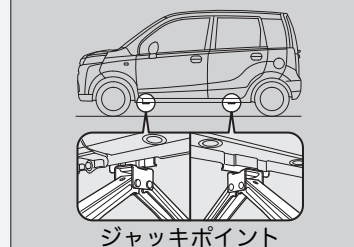
6. タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

※ ジャッキのかけかた

ジャッキをかける位置は、下記の通りです。



サイドスポイラー装備車



サイドスポイラー非装備車

エンジンが始動しない

エンジンの状態の確認

エンジンが始動しない場合、スターターの状態を確認してください。

■エンジンの状態の確認

すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。

■ジャンプスタートの方法 P.209

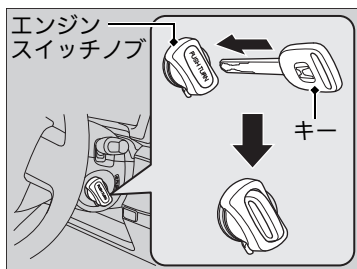
スターターの状態	確認項目
スターターが全く回らない！ スターターの回転が非常に遅い！ バッテリーがあがっていることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	Honda スマートキーシステム装備車 Honda スマートキー電池消耗警告灯が点灯しているとき ■内蔵キーの差し込みかた P.208 室内灯などの明るさを確認する 室内灯などを点灯し、明るさを確認します。 - 室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合 - 室内灯などの明るさに問題がない場合 ■ヒューズの点検と交換 P.219
スターターは正常に回るが … ヒューズに問題があることなどが考えられます。右記の項目をチェックして適切な対応をしてください。	エンジン始動の手順を実行する もう一度、正しいエンジン始動操作をしてみてください。 ■エンジンの始動 P.140 イモビライザーシステム表示灯を確認する イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、エンジンの始動ができません。 ■イモビライザーシステム P.75 燃料の量を点検する 燃料が入っているか確認してください。 ■燃料計 P.55 ヒューズを点検する 全てのヒューズを確認してください。 ■ヒューズの点検と交換 P.219

以上の確認をしてもエンジンが始動しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

キー・内蔵キー*の差し込みかた

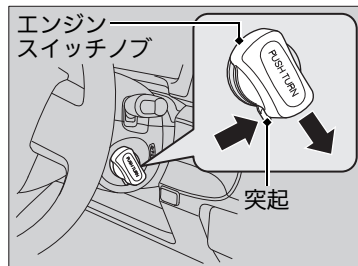
Honda スマートキーによるエンジンスイッチの操作や始動ができない場合、キーまたは内蔵キーを使ってください。

■キーの差し込みかた

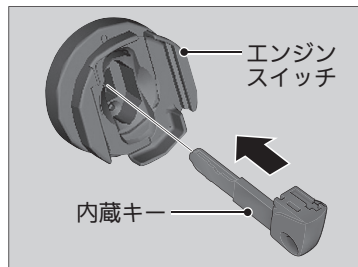


エンジンスイッチノブにキーを差し込みます。

■内蔵キーの差し込みかた



1. エンジンスイッチノブを外す。
▶ ノブの突起を押しながらスライドさせて外します。



2. エンジンスイッチに内蔵キーを差し込む。

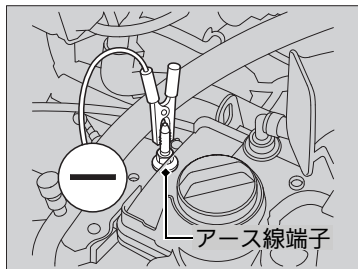
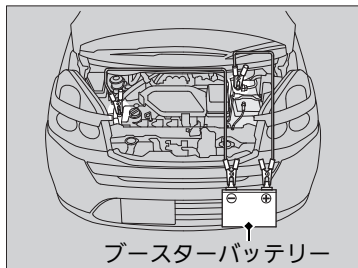
※内蔵キーの差し込みかた

エンジンスイッチノブを取り付けたまま無理に内蔵キーを差し込むと、内蔵キーが抜けなくなります。

ジャンプスタートの方法

処置のしかた

まず、ボンネットを開け、バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。



1. 自車と救援車のエンジンスイッチを **0** にする。
2. ブースターケーブルを、自車のバッテリーの **+** 端子に接続する。
3. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの **+** 端子に接続する。
▶ 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
4. もう1本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの **-** 端子に接続する。
5. ケーブルの反対側を、自車のエンジンのアース端子に接続する。
6. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
7. 自車のエンジンを始動する。

ジャンプスタートの方法

警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。

ジャンプスタートの操作を間違えると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

タバコの火、火花、炎をバッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

アドバイス

気温が極端に低い場所にバッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。

バッテリー液が凍結したバッテリーでジャンプスタートすると、バッテリーが壊れることがあります。

寒冷時は、バッテリーの性能が低下します。

エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。

ケーブルをエンジンのアース以外の端子に接続しないでください。

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。

バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

■エンジン始動後の作業

自車のエンジンが始動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンのアース端子からケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊖端子から外す。
3. 自車のバッテリーの⊕端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子から外す。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

■エンジン始動後の作業

⚠警告

バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。

バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店でバッテリーのメンテナンスを受けてください。

バッテリー液の取り扱いに注意する。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。

- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

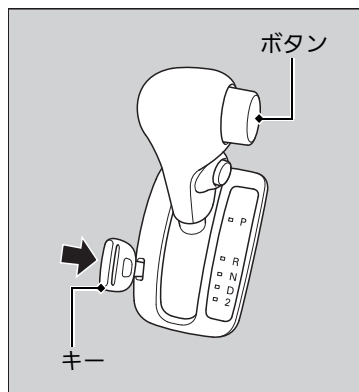
応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。

セレクトレバーが動かない

セレクトレバーが、**P** の位置でロックされて動かなくなったら、下記の方法で解除してください。

■ ロックを解除する



1. パーキングブレーキをかける。
2. エンジンスイッチからキーを抜く。
▶ Honda スマートキー装備車はエンジンスイッチを **0** (プッシュオフ) にします。
3. シフトロック解除穴にキーを差し込む。
▶ Honda スマートキー装備車は内蔵キーを差し込みます。
4. キーを押しながらセレクトレバーのボタンを押し、セレクトレバーを **N** に入れる。
▶ ロックが解除されました。Honda 販売店で、早めに点検を受けてください。

オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯が点灯したり、エンジンの力が急に落ちる
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

■最初にすること

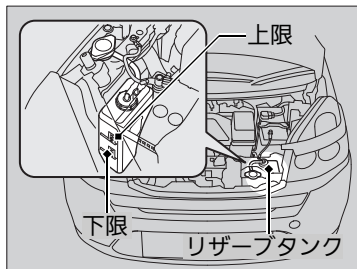
1. ただちに車を安全な場所に停める。

▶セレクトレバーを **[P]** に入れ、パーキングブレーキをかけます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。

2. 蒸気が出ていない場合：エンジンをかけたままボンネットを開ける。

蒸気が出ている場合：エンジンを止め、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

■次にすること



1. 冷却ファンの作動を確認し、高水温警告灯が消灯してからエンジンを止める。

▶冷却ファンが作動していない場合は、すぐにエンジンを止めます。

2. エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。

▶冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

■最後にすること

- 十分にエンジンが冷えたら、エンジンを始動し高水温警告灯を確認する。警告灯が消灯している場合は、運転を再開します。点灯しているときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

※オーバーヒートしたときの対処方法

⚠警告

オーバーヒートしたエンジンは、冷えるまでボンネットを開けない。

ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。

冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス

高水温警告灯が点灯した状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda 販売店に修理を依頼してください。

油圧警告灯が点灯した



■点灯の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると点灯します。

■点灯したらすぐのこと

1. ただちに車を安全な場所に停車する。
2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

■車を停車してからすること

1. エンジンを停止し、1 分間ほど放置する。
2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
▶必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
3. エンジンを始動し、油圧警告灯を確認する。
▶**消灯した**：運転を再開してください。
▶**10 秒以内に消灯しない**：エンジンを停止して、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

充電警告灯が点灯した



■点灯の理由

バッテリーが充電されていないと点灯します。

■点灯したらすること

電気の消費を減らすため、エアコン、リヤデフロスターなどを OFF にして、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

※油圧警告灯が点灯した

アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

※充電警告灯が点灯した

一時的に停車する場合は、エンジンを停止しないでください。
エンジンを始動すると、バッテリーが急速に放電します。

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した



■点灯 / 点滅の理由

エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

■点灯したときは

高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。

※PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

アドバイス

PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

エンジン再始動後再び点滅するときは、50km/h 以下の速度で最寄りの Honda 販売店まで走行し点検を受けてください。

ブレーキ警告灯が点灯した



■点灯の理由

- ブレーキフルードが減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

■走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキフルード量を確認する。

※ブレーキ警告灯が点灯した

ただちに、Honda 販売店に修理を依頼してください。

ブレーキフルードが減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。

ABS 警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。

ただちに、Honda 販売店に修理を依頼してください。

EPS 警告灯が点灯した



■点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと点灯し、ハンドルが重くなる場合があります。

■点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、エンジンを再始動する

その後も走行中に点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

※EPS 警告灯が点灯した

アドバイス

停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけて保持するなどしてシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。

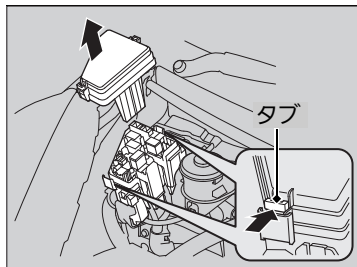
システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

ヒューズ

ヒューズの設置場所

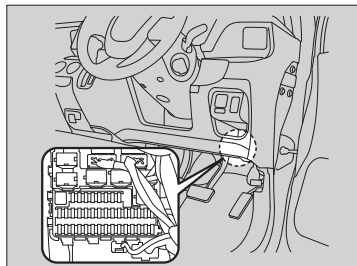
電気装置が作動しない場合、エンジンスイッチを **0** にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、2つのヒューズボックスに入っています。

■エンジンルーム内のヒューズボックス



エンジンルーム内の運転席側に付いている、ブレーキ液リザーブタンクの隣にあります。タブを押して開けてください。

■室内運転席側のヒューズボックス



アクセルペダルの上にあります。

■エンジンルーム内のヒューズボックス

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とフタの表示で、該当するヒューズの位置を確認してください。

■室内運転席側のヒューズボックス

ステアリングコラムの下に貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とラベルの表示で、該当するヒューズの位置を確認してください。

エンジンルーム内のヒューズボックス

容量に()がついているヒューズは、装備がない場合でもヒューズが入っている場合があります。

表示	装備	容量
1 	バッテリー	70A
2 	イグニッションメイン	50A
3 	ABS モーター	(40A)
4 	ABS	(20A)
5 	ホーン / 制動灯	10A
6 	非常点滅表示灯	10A
7 	EPS	40A
8 	冷却ファン	30A
9 	ヘッドライト (ハイビーム)	(20A)
10 	MG クラッチ	7.5A
11 	—	(7.5A)
12 	フォグライト	(10A)
13 	バックアップ / 室内灯	10A

室内運転席側のヒューズボックス

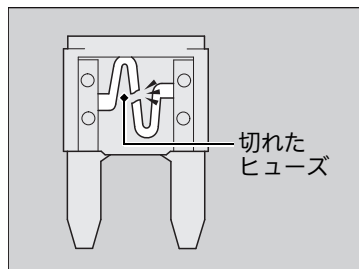
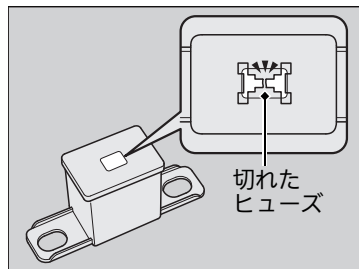
容量に()がついているヒューズは、装備がない場合でもヒューズが入っている場合があります。

表示	装備	容量
1 	—	7.5A
2 	SRS エアバッグシステム	10A
3 	ABS/EPS	7.5A
4 	メーター	7.5A
5 	発電機	7.5A
6 	VB SOL	7.5A
7 	フロントワイパー / ウォッシャー	20A
8 	イグニッションコイル	15A
9 	イグニッションコイル	15A
10 	リヤワイパー	10A
11 	フューエルポンプ	15A
12 	ドアロック(解錠)	15A
13 	ドアロック(解錠)	15A
14 	ドアロック(施錠)	15A
15 	ドアロック(施錠)	15A

表示	装備	容量
16 	後退灯	7.5A
17 —	—	—
18 	ヒートッドドアミラー	(10A)
19 	右側ヘッドライト	15A
20 —	—	—
21 	LAF センサー	10A
22 	車幅灯 / 尾灯	10A
23 —	—	—
24 	左側ヘッドライト	15A
25 	PGM-FI	15A
26 —	—	—
27 	運転席パワーウィンドー	20A
28 	助手席パワーウィンドー	15A
29 	後席右側パワーウィンドー	15A
30 	後席左側パワーウィンドー	15A
31 	ヒーターモーター	30A
32 	アクセサリソケット	20A
33 	アクセサリ	7.5A

	表示	装備	容量
34	—	—	—
35		リヤデフロスター	15A
36	—	—	—
37		エアコン	7.5A
38		ドアミラー	(7.5A)
39		ドアロック	30A

ヒューズの点検と交換



1. エンジンスイッチを **0** にし、ヘッドライトとすべてのアクセサリを OFF にする。
2. ヒューズボックスのフタを取り外す。
3. エンジンルーム内の大きいヒューズを点検する。
▶切れているヒューズがあったら、プラスドライバーでネジを外し、新しいものと交換してください。
4. エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。
▶切れているヒューズがあったら、新しいものと交換してください。

※ヒューズの点検と交換

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。
交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

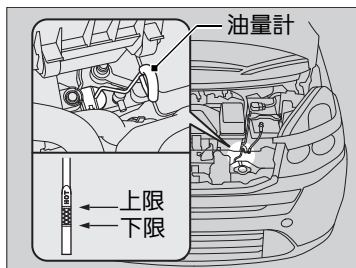
規定容量は P.217 ～ P.218 の一覧で確認してください。

非常時のけん引

けん引は、専門業者に依頼して 2WD 車は四輪または前輪、4WD 車は四輪を持ち上げて行ってください。

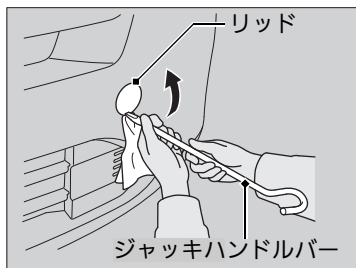
やむをえずけん引される場合

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合、次の方法で行ってください。



1. トランスミッションフルードの量が、油量計の目盛りの上限と下限の間にあることを確認する。

▶ 下限より下がっている場合は、四輪または前輪を接地させてのけん引は行わないでください。



2. カーゴリッドを開け、ジャッキハンドルバーとアイボルトを取り出す。
3. ジャッキハンドルバーの先でリッドを開ける。

▶ バンパーが傷付かないよう、ジャッキハンドルバーの先に布などを巻き付けてください。

※非常時のけん引

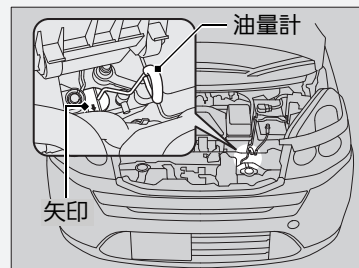
アドバイス

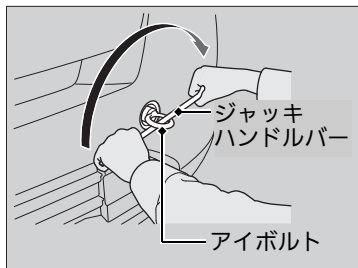
バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。

バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。

車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、2WD 車は四輪または前輪、4WD 車は四輪を持ち上げてけん引してください。

オイル量を点検した後は、油量計のゴム部にある矢印が前方を向くように差し込んでください。





4. アイボルトがガタつかない程度まで手で締め付けてから、ジャッキハンドルバーで確実に締め付ける。

※非常時のけん引

アドバイス

アイボルト以外のところにロープをかけないでください。

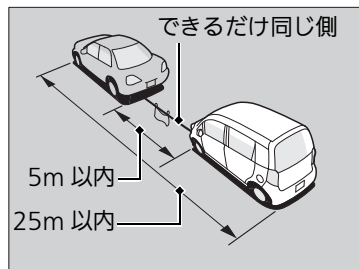
車体が破損、変形する場合があります。

アドバイス

エンジンが停止している状態でのけん引は、以下のことに注意してください。

- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

長い下り坂では、ブレーキの温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがありますので、レッカー車にけん引してもらってください。

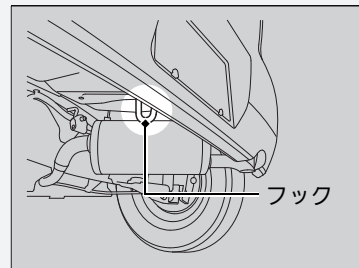


5. ロープをアイボルトに掛け、ロープ中央部に白い布(0.3m 平方以上)を付ける。
6. エンジンをかけてセレクトレバーを **[D]** にし、約 5 秒間保持する。
▶ エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを **[I]** または **[II]** にします。
7. セレクトレバーを **[N]** にする。
8. パーキングブレーキを解除する。
9. 速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引する。
▶ けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

▼非常時のけん引

車両後方についているフックを他車のけん引や緊急時の脱出に使用することはできません。

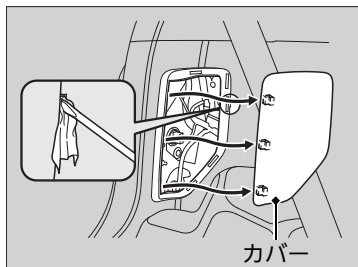
フックが破損するおそれがあります。後方からけん引する必要がある場合は、Honda 販売店やロードサービスに連絡してください。



フューエルリッドが解錠できないとき

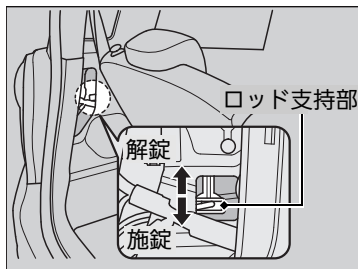
解錠できないときの対処方法

万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。



1. カーゴスペース左側にあるカバーを、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶カバーが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. アクチュエーターのロッド支持部を押し上げる。

▶ロッド支持部を押すと解錠し、元の位置に戻すと施錠します。

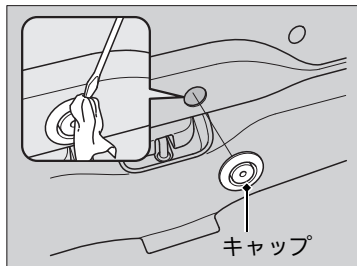
解錠できないときの対処方法

応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

テールゲートが開かないとき

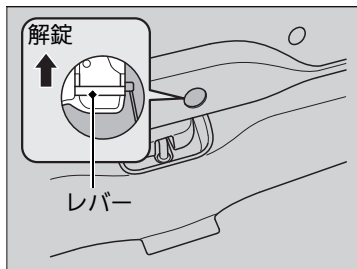
開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. テールゲートのキャップに、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。

▶キャップが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。



2. レバーを上には動かし、テールゲートを解錠する。
3. テールゲートを開ける。

■ テールゲートの開閉 P.73

開かないときの対処方法

応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。

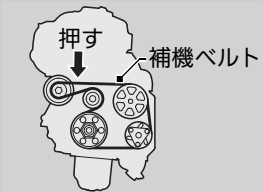
仕様：C	226
仕様：G	227
仕様：DIVA	228
仕様：DIVA(ターボ)	229

仕様：C

仕様

名称	ライフ
排気量	658cm ³
車体形状	4ドアハッチバック
乗車定員	4名

調節

		
点火プラグ	NGK	BKR6E-8S ^{※1}
	DENSO	K20PR-U8S ^{※1}
電極のすき間	基準値	0.70.8mm

※1：プラグギャップ(電極のすき間)が基準値をこえた場合は交換してください。交換時期の目安は40,000kmです。

確認

ブレーキペダル	遊び	1.0-6.5mm
	床板とのすき間	116mm以上 { 約 196N (20kgf) の力 }
	カーペットとのすき間(参考値)	95mm以上 { 約 196N (20kgf) の力 }
	パーキングブレーキ	5～6ノッチ { 約 294N (30kgf) の力 }

燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	30ℓ (2WD車)
	31ℓ (4WD車)

バッテリー

容量/タイプ	24AH(5)/28B17R ^{※2}
	28AH(5)/38B19R ^{※3}

※2：2WD車
※3：4WD車

ウォッシャー液

タンク容量	1.5ℓ
-------	------

電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-55W ^{※4}
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60W ^{※4}
前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯	12V-5W(橙色)
制動灯/尾灯	12V-21/5W
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	12V-21W
番号灯	12V-5W
室内灯	12V-8W

※4：ハロゲンバルブ

エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda 純正ウルトラ HGO-μ
規定量	0.46ℓ (交換時)

ブレーキフルード

指定液	Honda 純正ウルトラブレーキフルード DOT3 または DOT4
-----	------------------------------------

トランスミッションフルード

指定液	Honda 純正ウルトラ ATF-Z1	
規定量	交換時	1.9 ℓ (2WD 車)
		2.4 ℓ (4WD 車)

推奨エンジンオイル

Honda 純正 エンジンオイル	ウルトラ Green ^{※5}	
	ウルトラ LEO SN	API SN 級 SAE 0W-20
規定量	オイル交換時	2.6ℓ
	オイル、オイル フィルター同時 交換時	2.9ℓ

※5：最も省燃費性に優れたオイルです。

冷却水

指定液	Honda 純正ウルトラ e グラント
規定濃度	50%
規定量	3.2ℓ (交換時：リザーブタンク 0.35ℓ 含む)

タイヤ

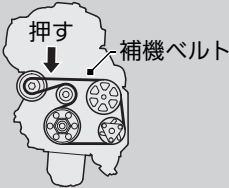
サイズ	155/65R13 73S
空気圧 (kPa[kgf/cm ²])	前輪 210[2.1] / 後輪 200[2.0]
リムサイズ	スチールホイール 13×4.00B

仕様：G

■仕様

名称	ライフ
排気量	658cm ³
車体形状	4ドアハッチバック
乗車定員	4名

■調節

ベルトの たわみ量		
	補機ベルト	10.0-10.5mm { 約98N(10kgf)の力 }
点火プラグ	NGK	BKR6E-8S ^{※1}
	DENSO	K20PR-U8S ^{※1}
電極のすき間	基準値	0.7-0.8mm

※1：プラグギャップ(電極のすき間)が基準値をこえた場合は交換してください。交換時期の目安は40,000kmです。

■確認

ブレーキペダル	遊び	1.0-6.5mm
	床板とのすき間	116mm以上 { 約196N (20kgf)の力 }
	カーペットとの すき間(参考値)	95mm以上 { 約196N (20kgf)の力 }
パーキング ブレーキ	踏みしろ	5～6ノッチ { 約294N (30kgf)の力 }

■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	30ℓ(2WD車) 31ℓ(4WD車)

■バッテリー

容量/タイプ	24AH(5)/28B17R ^{※2} 28AH(5)/38B19R ^{※3}
--------	--

※2：助手席リフトアップシート車(2WD車)

※3：G、助手席リフトアップシート車(4WD車)

■ウォッシャー液

タンク容量	1.5ℓ
-------	------

■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-55W ^{※4}
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60W ^{※4}
前面向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
車幅灯	12V-5W
側面向指示器/ 側面非常点滅表示灯	12V-5W(橙色)
制動灯/尾灯	12V-21/5W
後面向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
室内灯	12V-8W

※4：ハロゲンバルブ

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda 純正ウルトラ HGO-u
規定量	0.46ℓ(交換時)

■ブレーキフルード

指定液	Honda 純正ウルトラブレーキフルード DOT3 または DOT4
-----	---------------------------------------

■トランスミッションフルード

指定液	Honda 純正ウルトラ ATF-Z1
規定量	交換時 1.9ℓ(2WD車) 2.4ℓ(4WD車)

■推奨エンジンオイル

Honda 純正 エンジンオイル	ウルトラ Green ^{※5}	
	ウルトラ LEO SN	API SN 級 SAE 0W-20
規定量	オイル交換時	2.6ℓ
	オイル、オイル フィルター同時 交換時	2.9ℓ

※5：最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda 純正ウルトラ e クーラント
規定濃度	50%
規定量	3.2ℓ (交換時：リザーブタンク 0.35ℓ含む)

■タイヤ

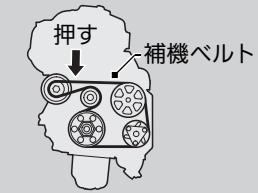
サイズ	155/65R13 73S
空気圧(kPa[kgf/ cm ²])	前輪 210[2.1]/後輪 200[2.0]
リムサイズ	スチールホイール 13×4.00B

仕様：DIVA

■仕様

名称	ライフ
排気量	658cm ³
車体形状	4ドアハッチバック
乗車定員	4名

■調節

ベルトの たわみ量		
点火プラグ	NGK	BKR6E-8S ^{※1}
	DENSO	K20PR-U8S ^{※1}
電極のすき間	基準値	0.7-0.8mm

※1：プラグギャップ(電極のすき間)が基準値をこえた場合は交換してください。交換時期の目安は40,000kmです。

■確認

ブレーキペダル	遊び	1.0-6.5mm
	床板とのすき間	116mm以上 { 約 196N (20kgf) の力 }
	カーペットとのすき間(参考値)	95mm以上 { 約 196N (20kgf) の力 }
	パーキングブレーキ	5〜6ノッチ { 約 294N (30kgf) の力 }

■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	30ℓ (2WD車)
	31ℓ (4WD車)

■バッテリー

容量/タイプ	32AH(5)/44B19R
--------	----------------

■ウォッシャー液

タンク容量	1.5ℓ
-------	------

■電球

ヘッドライト(ロービーム)	12V-35W ^{※2}
ヘッドライト(ハイビーム)	12V-60W ^{※3}
フォグライト	12V-35W ^{※3}
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯/尾灯	LED
後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯	12V-21W(橙色)
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
室内灯	12V-8W

※2：ディスチャージヘッドライト

※3：ハロゲンバルブ

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

■デファレンシャルオイル 4WD車のみ

指定液	Honda純正ウルトラHGO-μ
規定量	0.46ℓ(交換時)

■ブレーキフルード

指定液	Honda純正ウルトラブレーキフルード DOT3またはDOT4
-----	------------------------------------

■トランスミッションフルード

指定液	Honda純正ウルトラ ATF-Z1	
規定量	交換時	1.9 ℓ (2WD車)
		2.4 ℓ (4WD車)

■推奨エンジンオイル

Honda純正 エンジンオイル	ウルトラ Green ^{※4}	
	ウルトラ LEO SN	API SN 級 SAE 0W-20
規定量	オイル交換時	2.6ℓ
	オイル、オイル フィルター同時 交換時	2.9ℓ

※4：最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda純正ウルトラeクーラント
規定濃度	50%
規定量	3.2ℓ
	(交換時：リザーブタンク 0.35ℓ含む)

■タイヤ

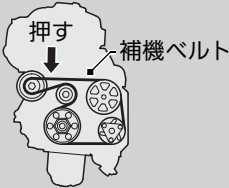
サイズ	165/55R14 72V
空気圧(kPa[kgf/ cm ²])	前輪 230[2.3]/後輪 200[2.0]
リムサイズ	アルミホイール 14×4 1/2J

仕様：DIVA(ターボ)

■仕様

名称	ライフ
排気量	658cm ³
車体形状	4ドアハッチバック
乗車定員	4名

■調節

ベルトの たわみ量		
	補機ベルト	10.0-10.5mm { 約 98N (10kgf) の力 }
点火プラグ	NGK	IFR6CS ^{※1}
	DENSO	SK20PR-N9S ^{※1}
電極のすき間	基準値	0.8-0.9mm

※1：イリジウムプラグ
交換時期はメンテナンスノートをご覧ください。

■確認

ブレーキペダル	遊び	1.0-6.5mm
	床板とのすき間	117mm 以上 { 約 196N (20kgf) の力 }
	カーペットとの すき間 (参考値)	96mm 以上 { 約 196N (20kgf) の力 }
パーキング ブレーキ	踏みしろ	5～6 ノッチ { 約 294N (30kgf) の力 }

■燃料

燃料種類	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	30 ℓ (2WD 車) 31 ℓ (4WD 車)

■バッテリー

容量 / タイプ	32AH (5) / 44B19R
----------	-------------------

■ウォッシャー液

タンク容量	1.5 ℓ
-------	-------

■電球

ヘッドライト (ロービーム)	12V-35W ^{※2}
ヘッドライト (ハイビーム)	12V-60W ^{※3}
フォグライト	12V-35W ^{※3}
前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯	12V-21W (橙色)
車幅灯	12V-5W
側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯	LED
制動灯 / 尾灯	LED
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯	12V-21W (橙色)
後退灯	12V-16W
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	12V-5W
室内灯	12V-8W

※2：ディスチャージヘッドライト

※3：ハロゲンバルブ

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式
-----	----

■デファレンシャルオイル 4WD 車のみ

指定液	Honda 純正ウルトラ HGO-Ⅱ
規定量	0.46 ℓ (交換時)

■ブレーキフルード

指定液	Honda 純正ウルトラブレーキフルード DOT3 または DOT4
-----	---------------------------------------

■トランスミッションフルード

指定液	Honda 純正ウルトラ ATF-Z1
規定量	交換時 1.9 ℓ (2WD 車) 2.4 ℓ (4WD 車)

■推奨エンジンオイル

Honda 純正 エンジンオイル	ウルトラ LEO SN ^{※4}	API SN 級 SAE 0W-20
	ウルトラ LTD SN	API SN 級 SAE 5W-30
	ウルトラ GOLD SN	API SN 級 SAE 5W-40
	ウルトラ MILD SN	API SN 級 SAE 10W-30
規定量	オイル交換時	2.6 ℓ
	オイル、オイルフィ ルター同時 交換時	2.9 ℓ

※4：最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda 純正ウルトラ e クーラント
規定濃度	50%
規定量	3.5 ℓ (交換時：リザーブタンク 0.35 ℓ 含む)

■タイヤ

サイズ	165/55R14 72V
空気圧 (kPa [kgf/ cm ²])	前輪 230[2.3] / 後輪 200[2.0]
リムサイズ	アルミホイール 14×4 1/2J

数字

4WD(四輪駆動機構) 146

A

A/C(エアコン) 102

ABS(アンチロックブレーキシステム) 149

ABS警告灯 49

AT(オートマチックトランスミッション) .. 143

AVG(平均燃費表示) 58

AV入力端子 128

D

D3スイッチ 144

E

ECO(エコ)表示灯 53

EPS警告灯 50, 215

H

Hondaスマートキー 64, 67

Hondaスマートキーシステム警告灯 49

Hondaスマートキー持ち去り警告 81

エンジンスイッチ 80

電池交換のしかた 186

I

ISOFIX 37

M

MIST 84

P

PGM-FI警告灯 48, 214

R

RANGE(航続可能距離表示) 58

S

SRSエアバッグ 29

エアバッグシステム警告灯 32, 50

W

W(ワット)数 226, 227, 228, 229

ア

アームレスト 96

アイボルト 194, 221

アクアクリンミラー 91

アクセサリー 160

アクセサリーソケット 99

安全に関する表示 17

安全のための確認事項 21

アンチロックブレーキシステム(ABS) 149

ABS警告灯 49, 149

アンテナ 113

マイクロアンテナ 113

マニユアルアンテナ 113

イ

一酸化炭素について 46

イモビライザーシステム 75

イモビライザーシステム表示灯 52

イルミネーションコントロール 87

インフォメーションディスプレイ 56

オドメーター 58

外気温表示 59

トリップメーター 58

表示の切り換えかた 56

平均燃費表示(AVG) 58

ウ

ウィンカースイッチ(方向指示器) 82

ウィンドーの開閉 77

運転

エンジンの始動 140

シフト操作 144

ブレーキ操作 147

エ

エアコン	102
エアグリーンフィルター	187
エアコンの使いかた	103, 105
デフロスター	104, 109
モード切り換え	103, 105
エアコンの使いかた	103, 105
エアコンの切りかた	103, 105
温度調節	103, 105
外部についた霜や氷の 除去のしかた	104, 109
室内の温度の下げかた	103, 107
室内の湿度の下げかた	104
窓の曇りや霜の取りかた	104, 109
エアバッグ	29
SRSエアバッグ	29
エアバッグシステム警告灯/表示灯	32
エアバッグのお手入れ	33
エアバッグの種類	29
エンジンオイル	167
エンジンオイルメンテナンス 表示灯	54, 158
推奨エンジン オイル	167, 226, 227, 228, 229
油圧警告灯	48, 213
エンジンスイッチ	79, 80
エンジンスイッチ警告ブザー	81

エンジンの始動	140
エンジンが始動しない	206
ジャンプスタート	209
エンジンルーム内のメンテナンス	164
ウィンドウォッシャー液の補給	167
エンジンルーム内のメンテナンス項目	164
推奨エンジン オイル	167, 226, 227, 228, 229
ボンネットを開ける	166

オ

オーディオ装置	112
オートマチック車のシフト操作	144
セレクトレバー	144
セレクトレバーが動かない	211
オーバーヒート	212
追越合図(パッシング)	83
応急修理剤(タイヤパンク)	196
お子さまの安全	34
大きなお子さまの安全	44
お子さまの安全を守るために	34
ジュニアシート	45
助手席にお子さまを乗せる場合	45
乳児のチャイルドシート	35
乳幼児の安全	35
幼児のチャイルドシート	36
オドメーター	58

カ

外気温表示	59
鍵(かぎ)	64
カスタマイズ機能	60
ガソリン	154, 226, 227, 228, 229
カップホルダー	98

キ

キー

Hondaスマートキー	64, 67
キーが $\boxed{0}$ から $\boxed{1}$ に回らない	15
キーが $\boxed{1}$ から $\boxed{0}$ に回らない	15
キー閉じ込み防止装置	71
キーナンバータグ	66
キーの種類と機能	64
キーレスエントリー	68
キーレスエントリーでドアが開かない	16
キーレスエントリー発信器	66
後席ドアが開かない	15
電池交換のしかた	185
内蔵キー	65
キー閉じ込み防止装置	71
キーナンバータグ	66
キーレスエントリー	68
電池交換のしかた	185
給油	154
給油のしかた	154
指定燃料	154

燃料計.....	55
燃料残量警告灯.....	49

ク

空気圧.....	226, 227, 228, 229
グラブレード.....	3
クリープ現象.....	143
車の改造.....	160
グローブボックス.....	98

ケ

計器.....	47
警告灯.....	48
ABS警告灯.....	49
EPS警告灯.....	50, 215
Hondaスマートキーシステム警告灯.....	49
Hondaスマートキー電池消耗警告灯.....	50
PGM-FI警告灯.....	48, 214
エアバッグシステム警告灯.....	50
高水温警告灯.....	50
シートベルト非着用警告灯.....	49
充電警告灯.....	48, 213
ドア/テールゲート開閉警告灯.....	50
トランスミッション警告表示.....	49
燃料残量警告灯.....	49
ブレーキ警告灯.....	48, 214
油圧警告灯.....	48, 213
けん引.....	220

コ

交換

後退灯電球.....	174
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯電球.....	174
室内灯電球.....	178
車幅灯電球.....	170
制動灯/尾灯電球.....	174
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球.....	170
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯電球.....	173
ハイマウントストップランプ電球.....	176
番号灯電球.....	177
フォグライト電球.....	171
ヘッドライト電球.....	168
ワイパーブレードラバーの点検.....	179
工具.....	194
高水温警告灯.....	50
航続可能距離表示.....	58
コンビニフック.....	101

サ

サービス診断記録装置.....	17
データの開示について.....	18
サンバイザー.....	3

シ

シートの調節.....	92
アームレスト.....	96
フロントシート.....	92
ヘッドレスト.....	95
リヤシート.....	94
シートベルト.....	23
シートベルトの着用.....	26
シートベルトの点検.....	28
シートベルト非着用警告灯.....	49
シートベルトプリテンショナー.....	25
シートベルトリマインダー.....	24
妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた.....	27
時刻の設定.....	63
室内装備品.....	98
室内灯.....	97
シフト操作.....	144
車外の清掃.....	190
ジャッキ.....	194, 204
ジャッキハンドルバー.....	194, 204
ジャッキハンドル (ホイールナットレンチ).....	194, 204
車内の清掃.....	189
車幅灯.....	170
ジャンプスタート.....	209
充電警告灯.....	48, 213
仕様.....	226, 227, 228, 229

ス

スイッチ操作

イルミネーションコントロール	87
エンジンスイッチ	79, 80
フォグライトスイッチ	83
ヘッドライトレベリングダイヤル	86
方向指示器(ウィンカースイッチ)	82
ライトスイッチ	83
リヤデフロスタースイッチ	88
ワイパー/ウォッシャー	84
ステアリング	9, 89
スノータイヤ	184
スパークプラグ	226, 227, 228, 229
スピードメーター	7, 55

セ

清掃	189
制動灯	174
セキュリティシステム	75
イモビライザーシステム	75
セキュリティアラームシステム	75
セレクトポジション	144
セレクトポジション表示灯	145
セレクトレバー	
セレクトレバーが動かない	211
セレクトレバーの操作	144

ソ

側面方向指示器/側面非常点滅表示灯	173
-------------------	-----

タ

タイヤ	181
ウェアインジケーター	182
指定空気圧	226, 227, 228, 229
タイヤの点検	181
タイヤのローテーション	183
タイヤパンク応急修理キット	196
冬期のタイヤ	184
パンク	196
タイヤチェーン	184
タコメーター	55

チ

チェーン	184
チャイルドシート	34
ジュニアシート	45
乳児のチャイルドシート	35
幼児のチャイルドシート	36
チャイルドブルーフ	72
駐停車操作	150

テ

テールゲートの開閉	73
テールゲートが開かないとき	224
ドア/テールゲート開閉警告灯	21, 50
低水温表示灯	7, 51
デフロスター	104, 109
リヤデフロスタースイッチ	88
点火プラグ	226, 227, 228, 229
電池交換	185

ト

ドアの施錠と解錠	64
キー閉じ込み防止装置	71
キーナンバータグ	66
キーの種類と機能	64
キーレスエントリー	68
キーレスエントリーでドアが開かない	16
キーレスエントリー発信器	66
後席ドアが開かない	15
車外でのドアの施錠/解錠	68
車内での施錠/解錠	72
チャイルドブルーフ	72
ドア/テールゲート開閉警告灯	7, 50
ドアミラー	90
冬期のタイヤ	184
スノータイヤ	184
タイヤチェーン	184
時計	63

トップテザーアンカレッジ	43
トップテザーストラップ	43
トラブルシューティング	
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	16
エンジンが始動しない	206
オーバーヒートした	212
キーが[0]から[1]に回らない	15
キーが[1]から[0]に回らない	15
キーレスエントリーでドアが開かない	16
警告灯が点灯/点滅した	213
けん引してもらいたい	220
後席ドアが開かない	15
ジャンプスタートしたい	209
セレクトレバーが動かない	211
走行するとブザーが鳴る	16
ハイオクガソリンは使える?	16
パンクした	196
ヒューズが切れた	216
ブレーキを踏むと振動する	15
トランスミッション警告表示	49
トランスミッション	
フルード	226, 227, 228, 229
トリップメーター	58

ナ

内蔵キー	65, 207
------	---------

ネ

燃料	154, 226, 227, 228, 229
燃料計	55
燃料残量警告灯	49

ハ

パーキングブレーキ	147
排気ガスの危険性	46
ハイビーム	8, 83
電球の交換	168
ハイビーム表示灯	51
ハザードスイッチ	表紙ウラ
発炎筒	194
バックモニター+AM/FMチューナー付CDプレーヤー	114
CDプレーヤーの使いかた	123
各部の名称	114
基本操作	116
その他の設定	131
ポータブルオーディオやビデオ機器などの接続	128
ラジオの使いかた	119
バッシング	83
バッテリー	
ジャンプスタート	209
充電警告灯	48, 213
容量	226, 227, 228, 229
バニティミラー	3

パワーウィンドーの開閉	77
バンク	196
ハンドル	89
ハンドルの位置調整レバー	89
ハンドルロック	79, 80
汎用型ISOFIXチャイルドシート	39

ヒ

ヒータードアミラー	88
非常点滅表示灯スイッチ	表紙ウラ
尾灯	174
ヒューズ	216
ヒューズの設置場所	216
ヒューズの点検と交換	219
表示灯	51
イモビライザーシステム表示灯	52
エコ(ECO)表示灯	53
エンジンオイルメンテナンス表示灯	54
セキュリティアラームシステム	
作動表示灯	52
セレクトポジション表示灯	145
低水温表示灯	51
ハイビーム表示灯	51
フォグライト点灯表示灯	51
方向指示器表示灯	51
ライト点灯表示灯	51

フ

ブースターケーブル	209
フォグライト	
電球の交換	171
フォグライトスイッチ	83
フォグライト点灯表示灯	51
ブザー	
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る	16
走行するとブザーが鳴る	16
フューエルリッドが解除できないとき	223
フューエルリッドの開けかた	154
ブレーキシステム	147
ABS(アンチロックブレーキシステム)	149
パーキングブレーキ	147
フットブレーキ	148
ブレーキ警告灯	48, 214
ブレーキを踏むと振動する	15
ブレーキフルード	226, 227, 228, 229
ブレーキ警告灯	48, 214
フロントシート	92
フロントシートアームレスト	96
フロントシートヘッドレスト	92, 95

ヘ

平均燃費表示	58
ヘッドライト	8, 83
追越合図(パッシング)	8, 83
電球の交換(ロー/ハイビーム)	168

ハイビーム	8, 83
ハイビーム表示灯	7, 51
ヘッドライトレベリングダイヤル	86
ライト点灯表示灯	7, 51
ロービーム	8, 83
ヘッドレスト	
フロントシート	92, 95
リヤシート	95

ホ

ホーンスイッチ	1
ホイールナットレンチ (ジャッキハンドル)	194, 204
方向指示器(ウィンカースイッチ)	82
方向指示器表示灯	51
ボンネット内のメンテナンス	
冷却水の点検と補給	212

マ

マイクロアンテナ	113
マニュアルアンテナ	113

ミ

ミラー	90
ドアミラー	90
パニティミラー	3
ルームミラー	90

メ

メーター	55
インフォメーションディスプレイ	56
スピードメーター	55
タコメーター	55
燃料計	55
メンテナンス	161
Hondaスマートキー	186
エンジンルーム内のメンテナンス	164
キーレスエントリー発信器	185
清掃	189
タイヤの点検と整備	181
メンテナンスに関する注意事項	163
メンテナンスを安全に行うために	163
ライト類の点検と整備	168
ワイパーブレードラバーの点検と整備	179

モ

モード切り換え(エアコン)	103, 105
---------------	----------

ユ

ユーティリティボックス	100
油圧警告灯	48, 213

ヨ

四輪駆動機構(4WD)	146
-------------	-----

ラ

ライトスイッチ	83
追越合図(パッシング)	83
ハイビーム	83
ハイビーム表示灯	51
ライト点灯表示灯	51
ロービーム	83
ライト類の点検と整備	168
後退灯電球	174
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯 電球	174
室内灯電球	178
車幅灯電球	170
制動灯/尾灯電球	174
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯 電球	170
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯 電球	173
ハイマウントストップランプ電球	176
番号灯電球	177
フォグライト電球	171
ヘッドライト電球	168
ラジエーター	212

リ

リザーブタンク	212
リムサイズ	226, 227, 228, 229
リヤカメラシステム	152

リヤデフロスタースイッチ	88
--------------------	----

ル

ルームミラー	90
--------------	----

レ

冷却水	212, 226, 227, 228, 229
オーバーヒート	212
ラジエーターに補給	212
リザーブタンクに補給	212

ロ

ロービーム	83
電球の交換	168
ロアアンカレッジ	42

ワ

ワイパー/ウォッシャー	84
ワイパーブレードラバー	179

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客 様相談センター
でもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010^{イフレアイオ}

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、
あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談
ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、車両番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離 ③ ご購入年月日 ④ 販売店名